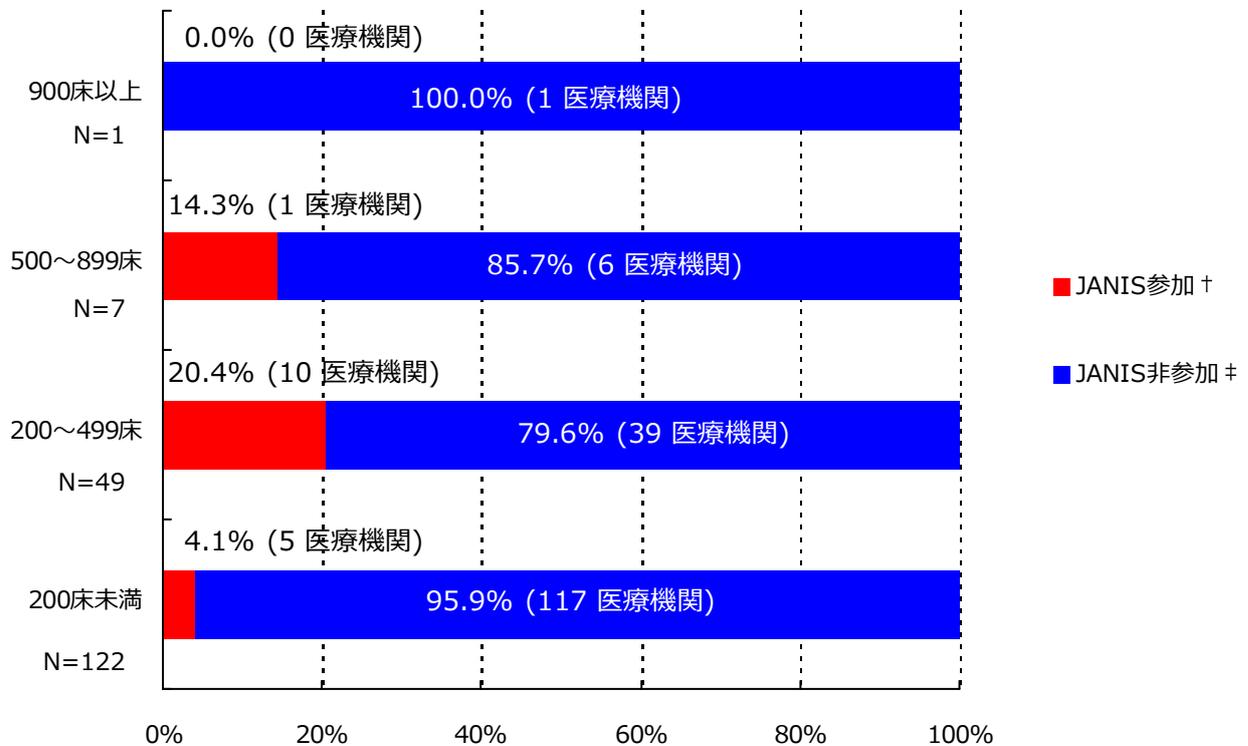


1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	0 (0%)
500～899床	7	1 (14.3%)
200～499床	49	10 (20.4%)
200床未満	122	5 (4.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	179	16 (8.9%)

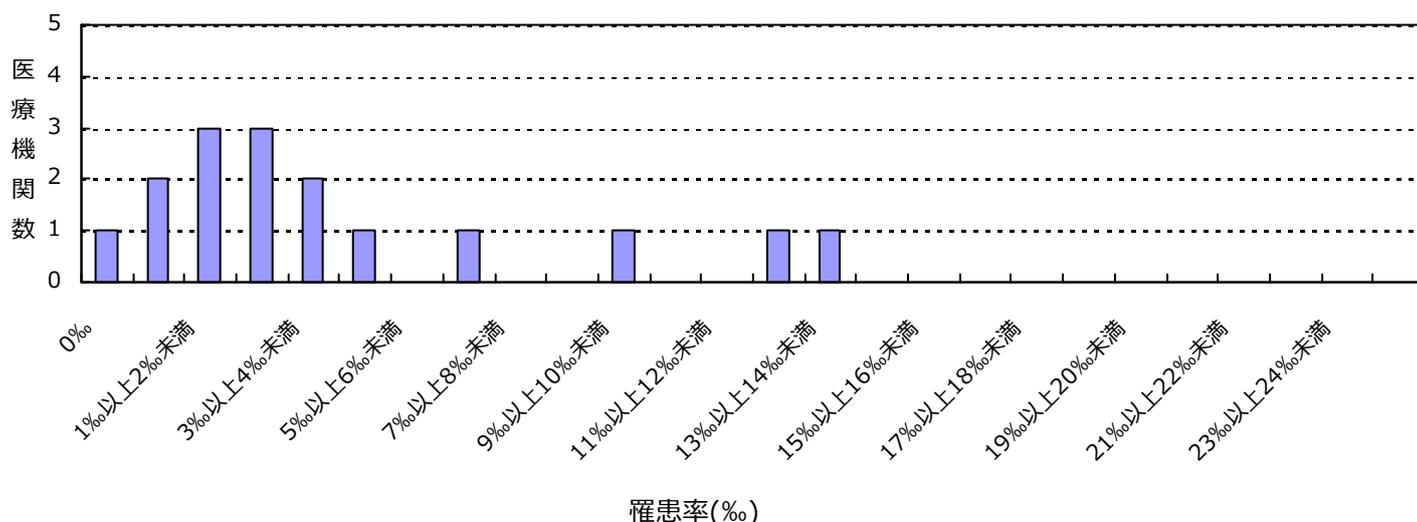
¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	74,428	4	202	2.71%	0.00 2.71 13.94

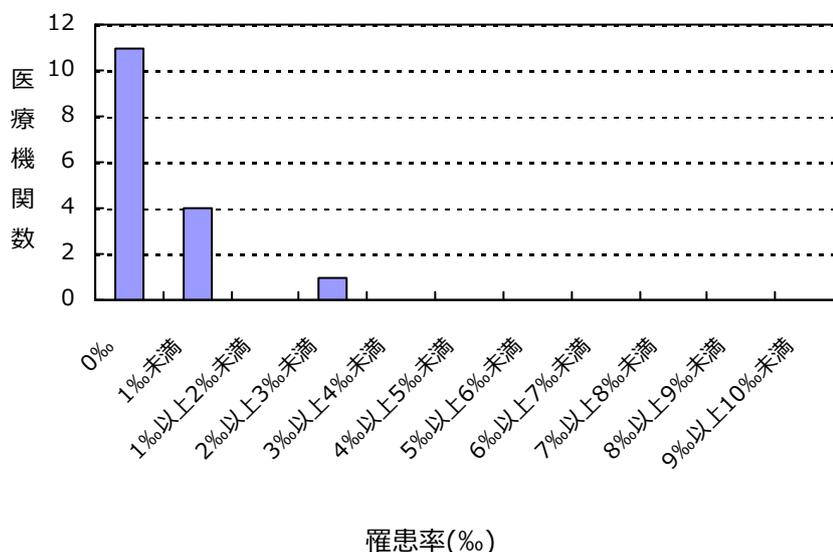
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	74,428	0	11	0.15%	0.00 0.00 2.20

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(茨城県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

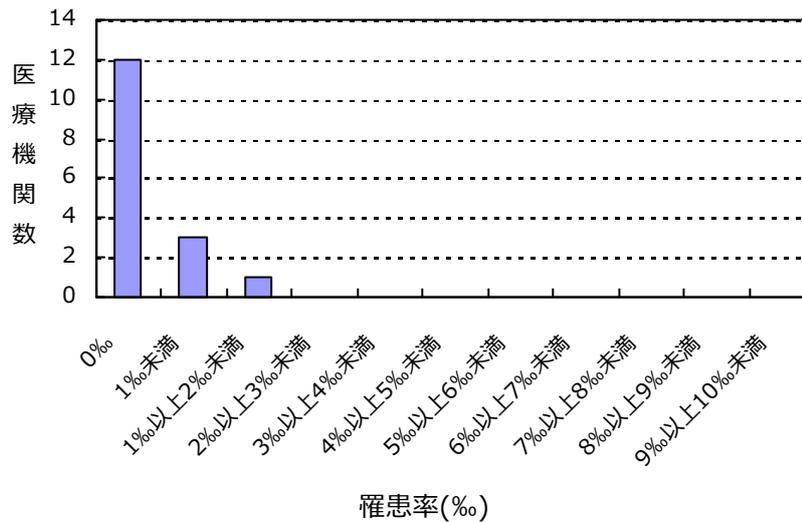


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	74,428	0	4	0.05%	0.00 0.00 1.16

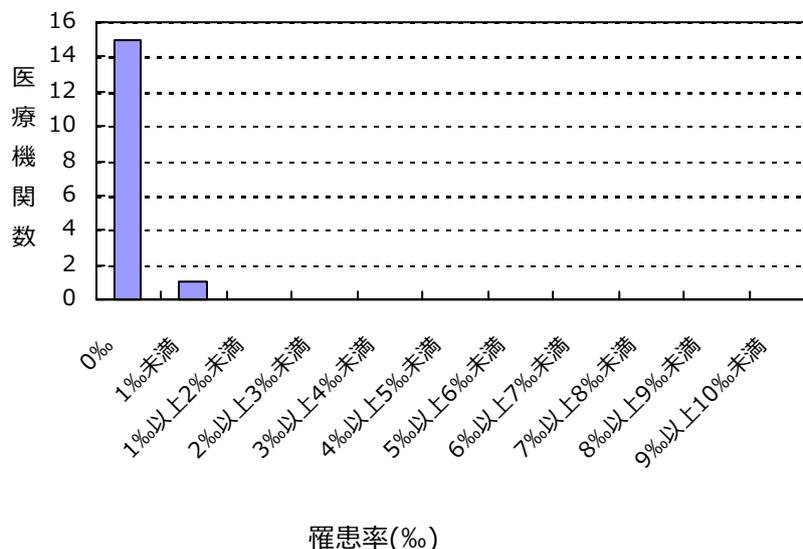
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	74,428	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.38

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(茨城県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

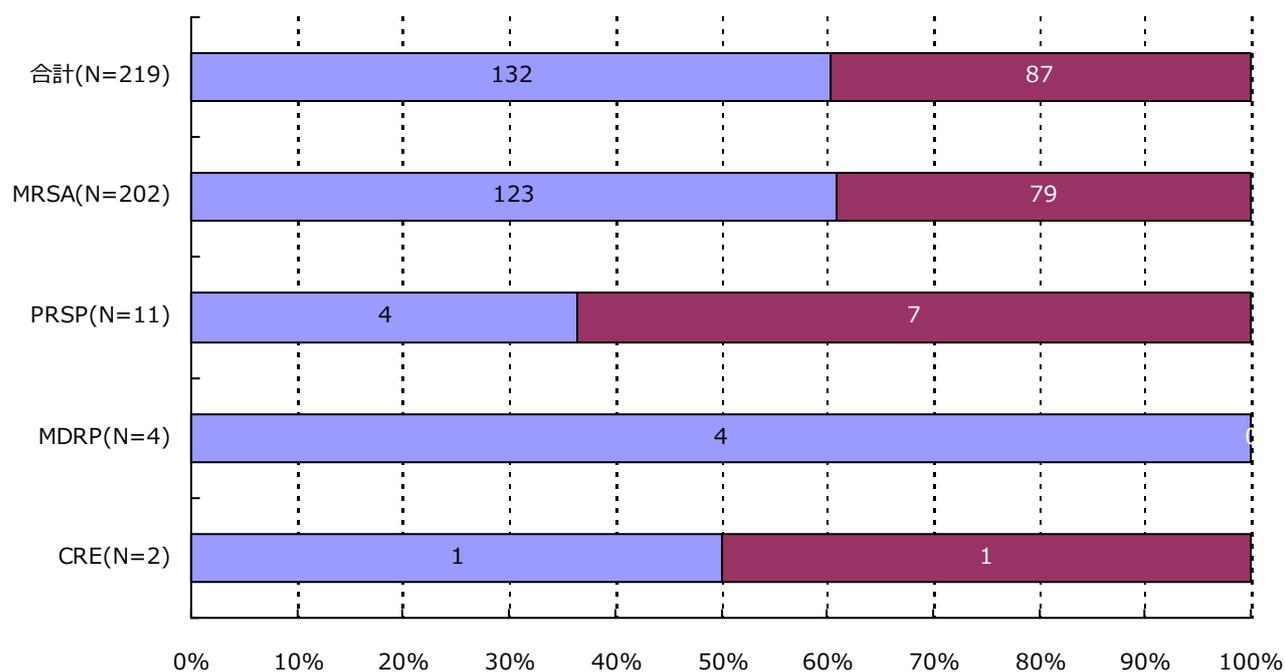
(茨城県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

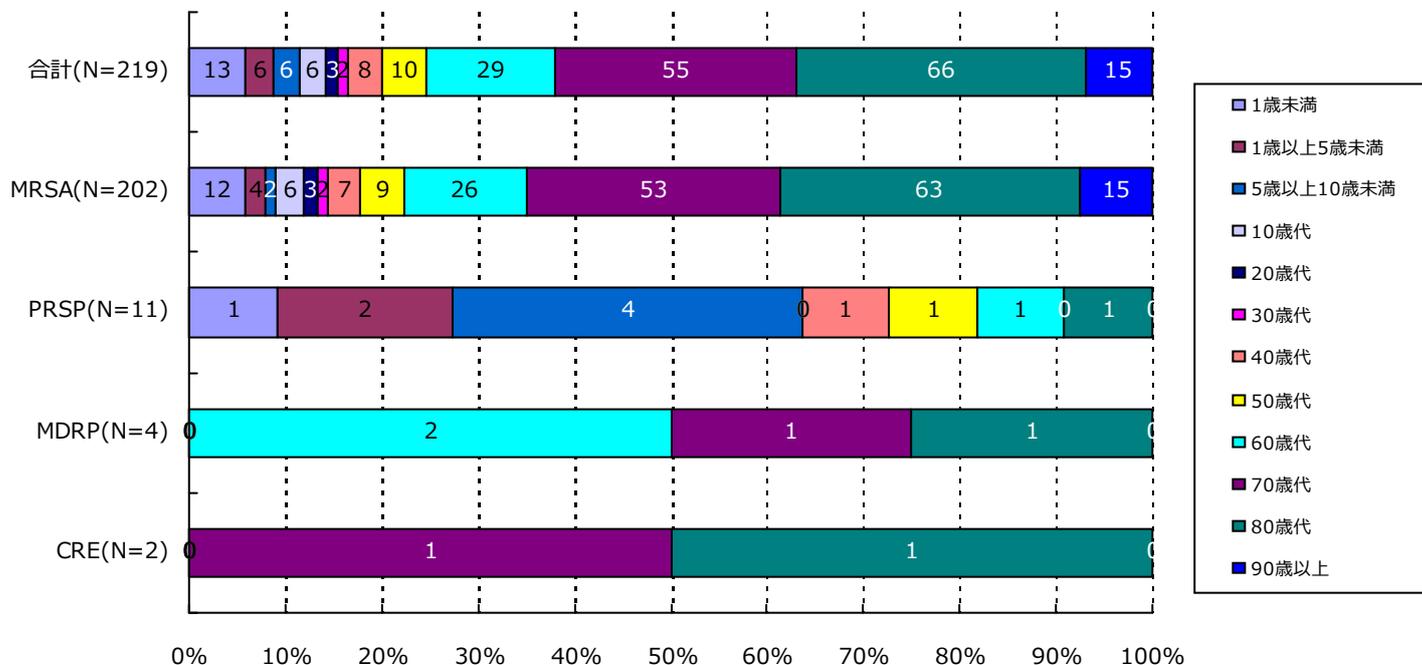


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



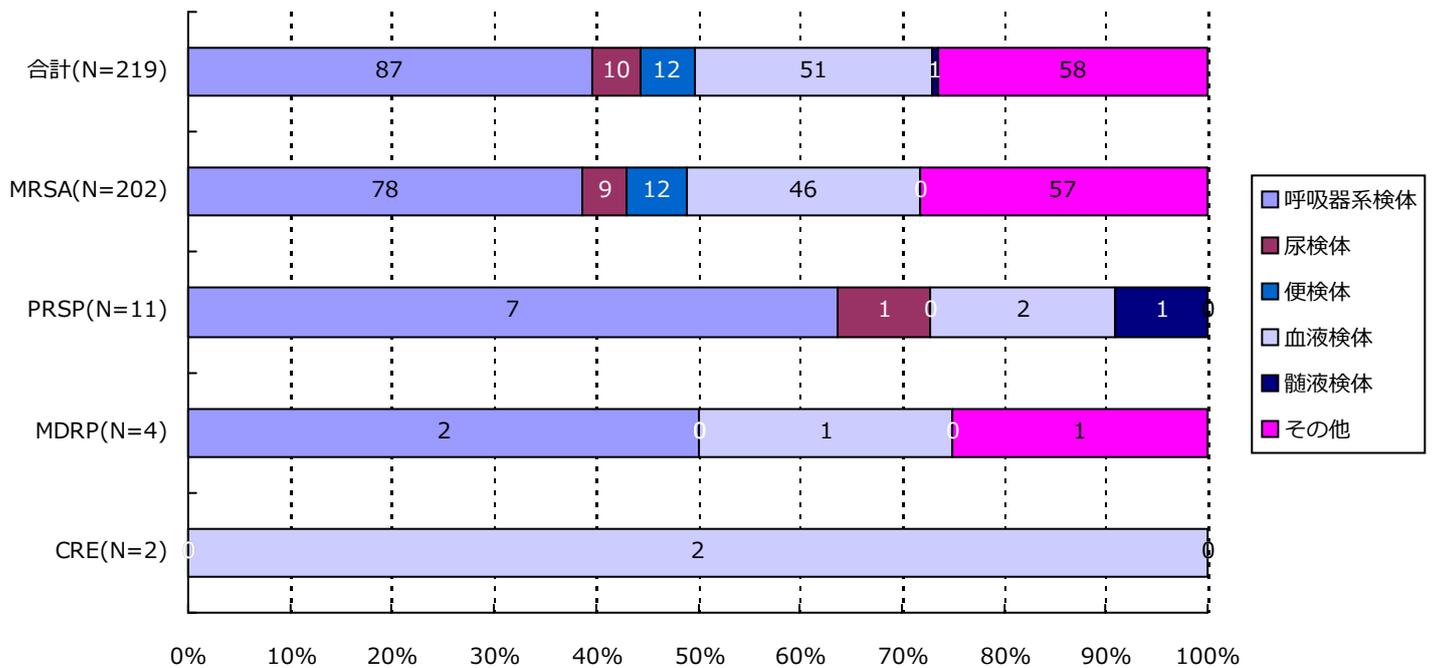
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	132 (60.3%)	123 (60.9%)	0 (-)	0 (-)	4 (36.4%)	4 (100.0%)	0 (-)	1 (50.0%)
女	87 (39.7%)	79 (39.1%)	0 (-)	0 (-)	7 (63.6%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	219	202	0	0	11	4	0	2

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	13(5.9%)	12(5.9%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	6(2.7%)	4(2.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	6(2.7%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	6(2.7%)	6(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(1.4%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.9%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	8(3.7%)	7(3.5%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	10(4.6%)	9(4.5%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	29(13.2%)	26(12.9%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	2(50.0%)	0(-)	0(-)
70歳代	55(25.1%)	53(26.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	66(30.1%)	63(31.2%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	1(25.0%)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	15(6.8%)	15(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	219	202	0	0	11	4	0	2

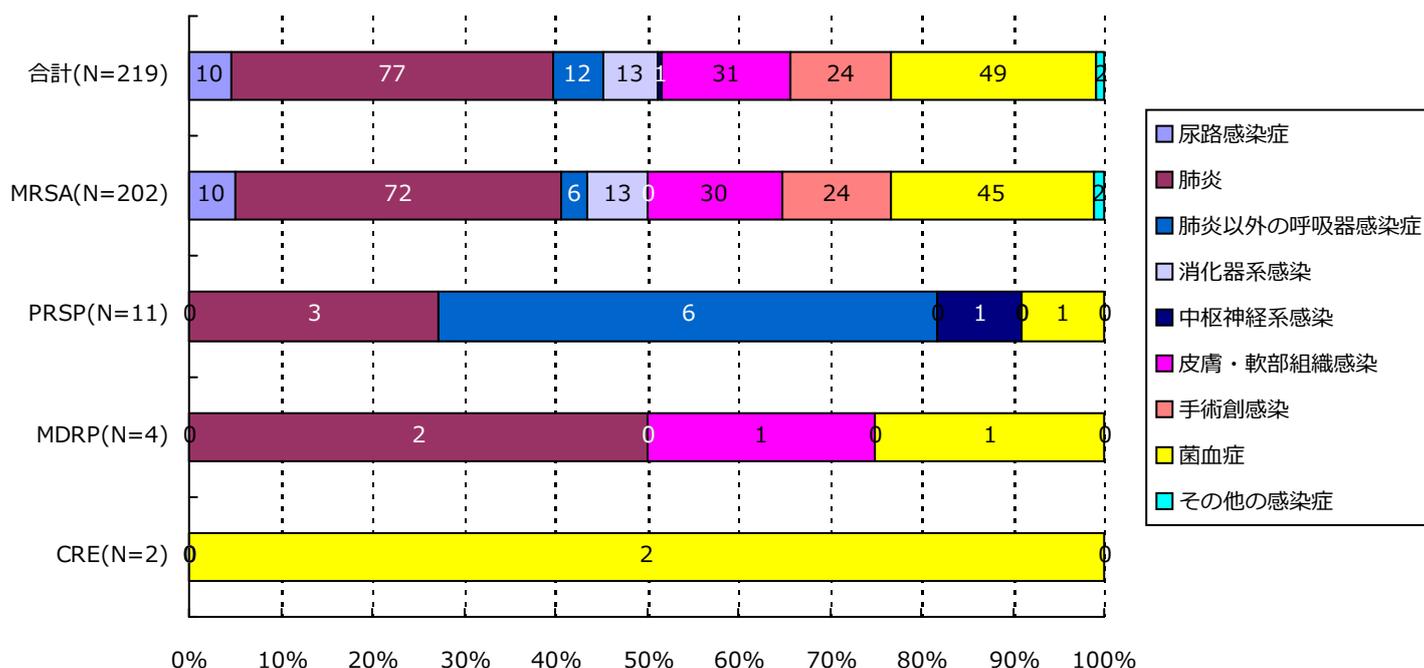
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	87(39.7%)	78(38.6%)	0(-)	0(-)	7(63.6%)	2(50.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	10(4.6%)	9(4.5%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	12(5.5%)	12(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	51(23.3%)	46(22.8%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)	1(25.0%)	0(-)	2(100.0%)
髄液検体	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	58(26.5%)	57(28.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)
合計	219	202	0	0	11	4	0	2

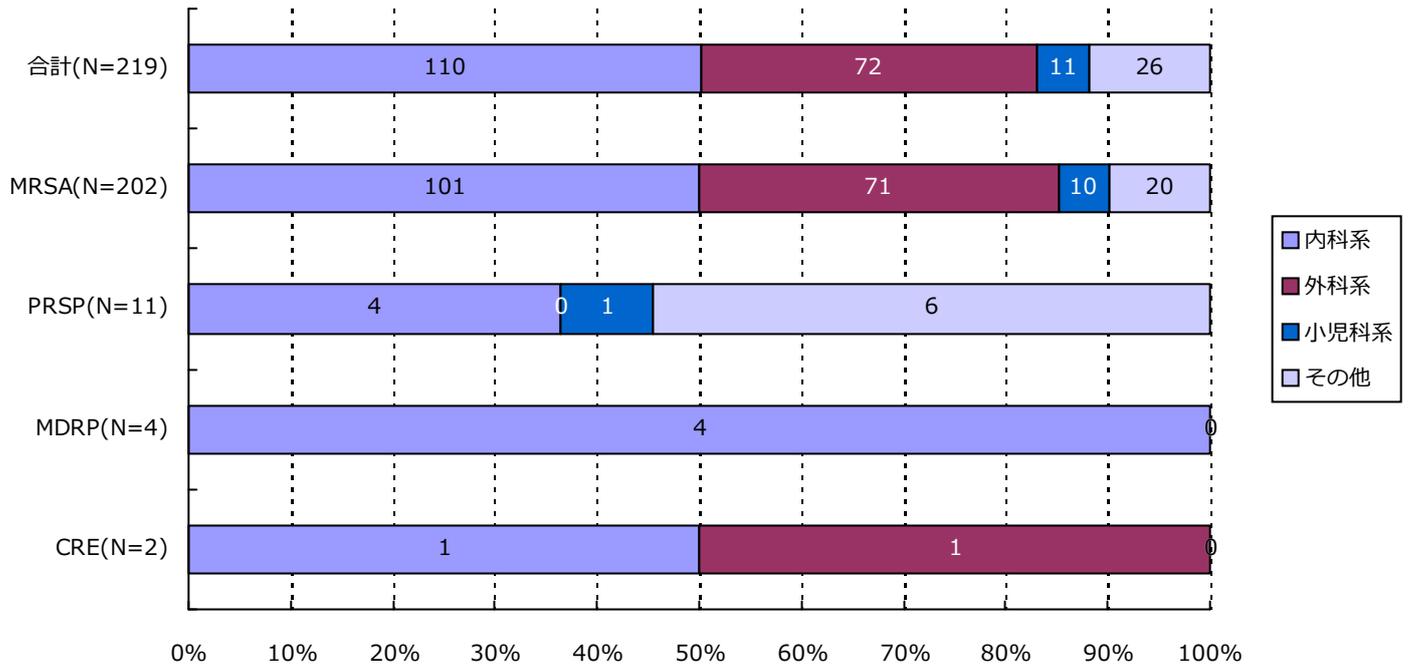
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	10(4.6%)	10(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	77(35.2%)	72(35.6%)	0(-)	0(-)	3(27.3%)	2(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	12(5.5%)	6(3.0%)	0(-)	0(-)	6(54.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	13(5.9%)	13(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	31(14.2%)	30(14.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)
手術創	24(11.0%)	24(11.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	49(22.4%)	45(22.3%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	1(25.0%)	0(-)	2(100.0%)
その他	2(0.9%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	219	202	0	0	11	4	0	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	110(50.2%)	101(50.0%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)	4(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
外科系	72(32.9%)	71(35.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	11(5.0%)	10(5.0%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	26(11.9%)	20(9.9%)	0(-)	0(-)	6(54.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	219	202	0	0	11	4	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

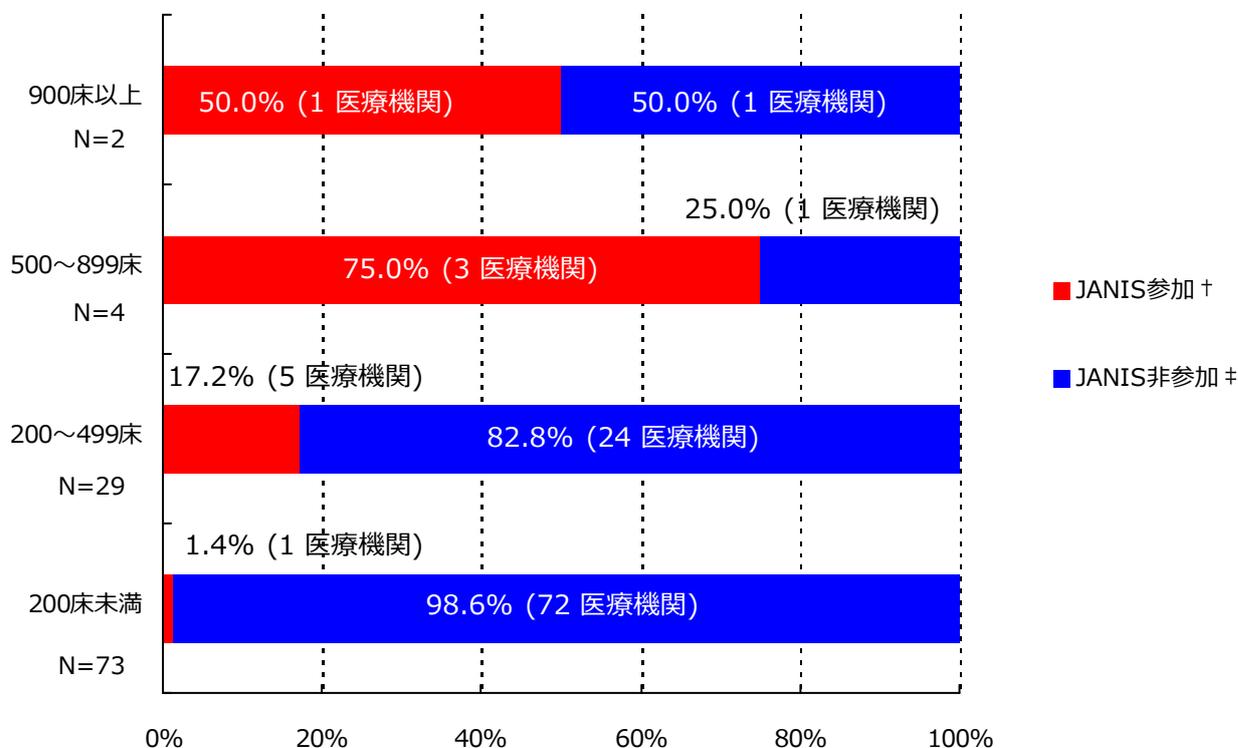
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFEX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFEX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFEX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFEX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFEX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFEX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	29	5 (17.2%)
200床未満	73	1 (1.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	108	10 (9.3%)

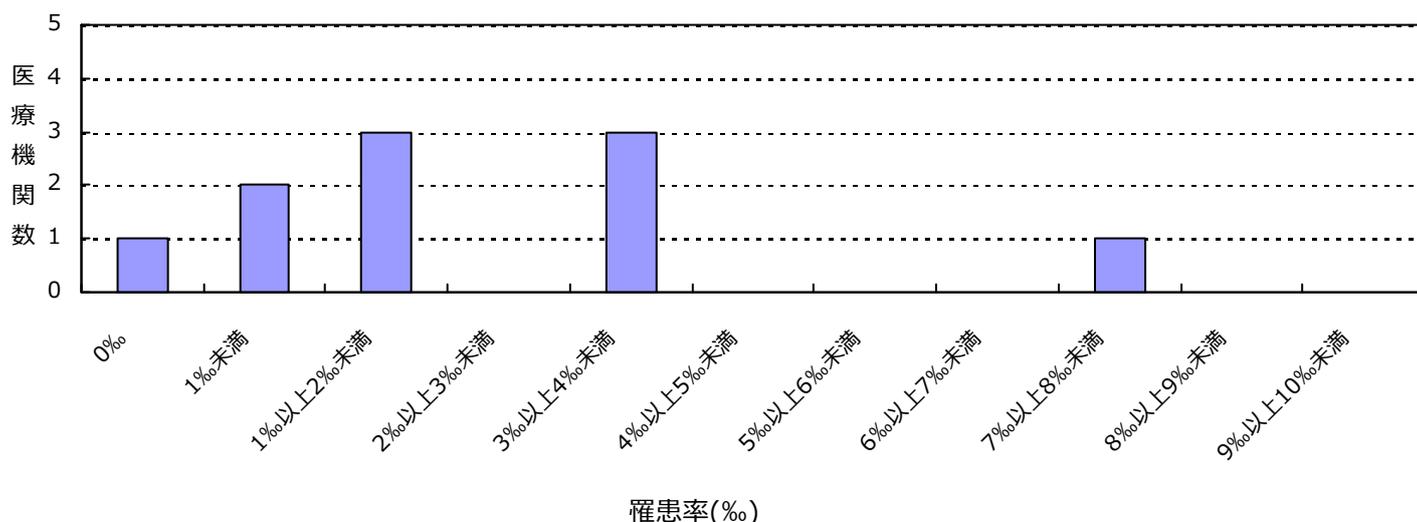
¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	98,990	7	234	2.36%	0.00 1.77 7.22

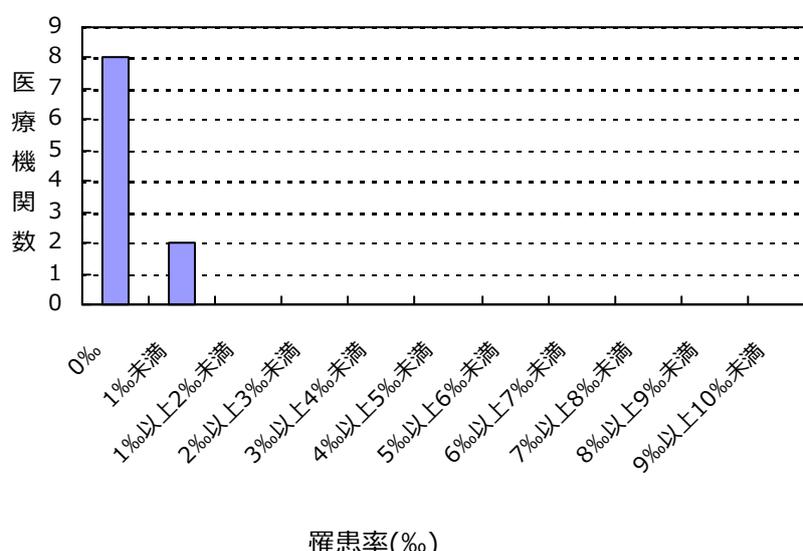
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	98,990	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.30

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(栃木県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

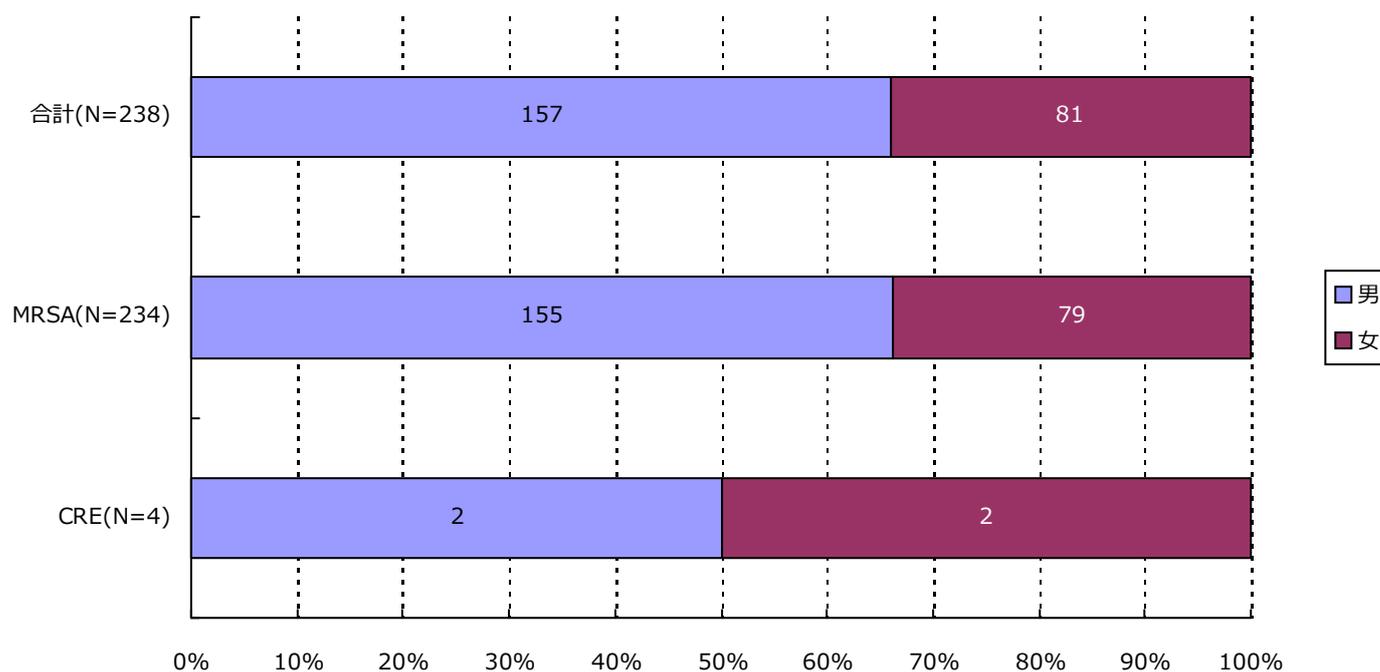
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

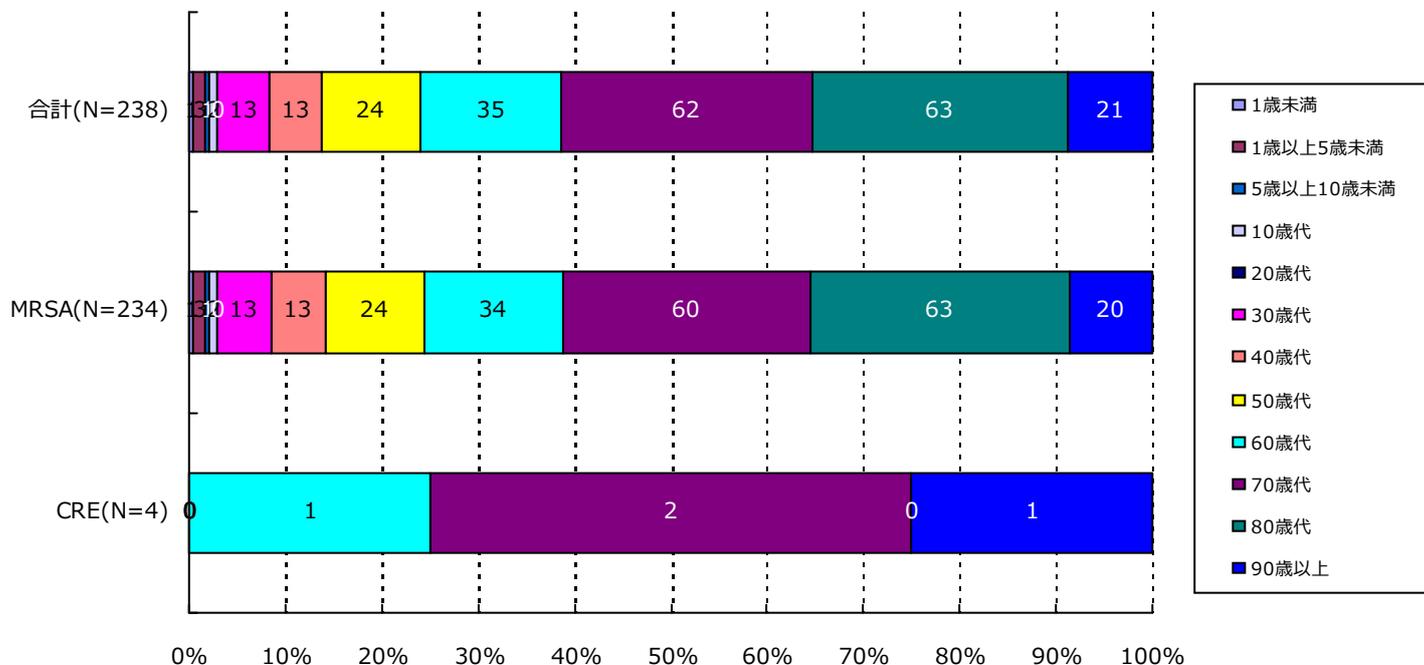
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	157 (66.0%)	155 (66.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)
女	81 (34.0%)	79 (33.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)
合計	238	234	0	0	0	0	0	4

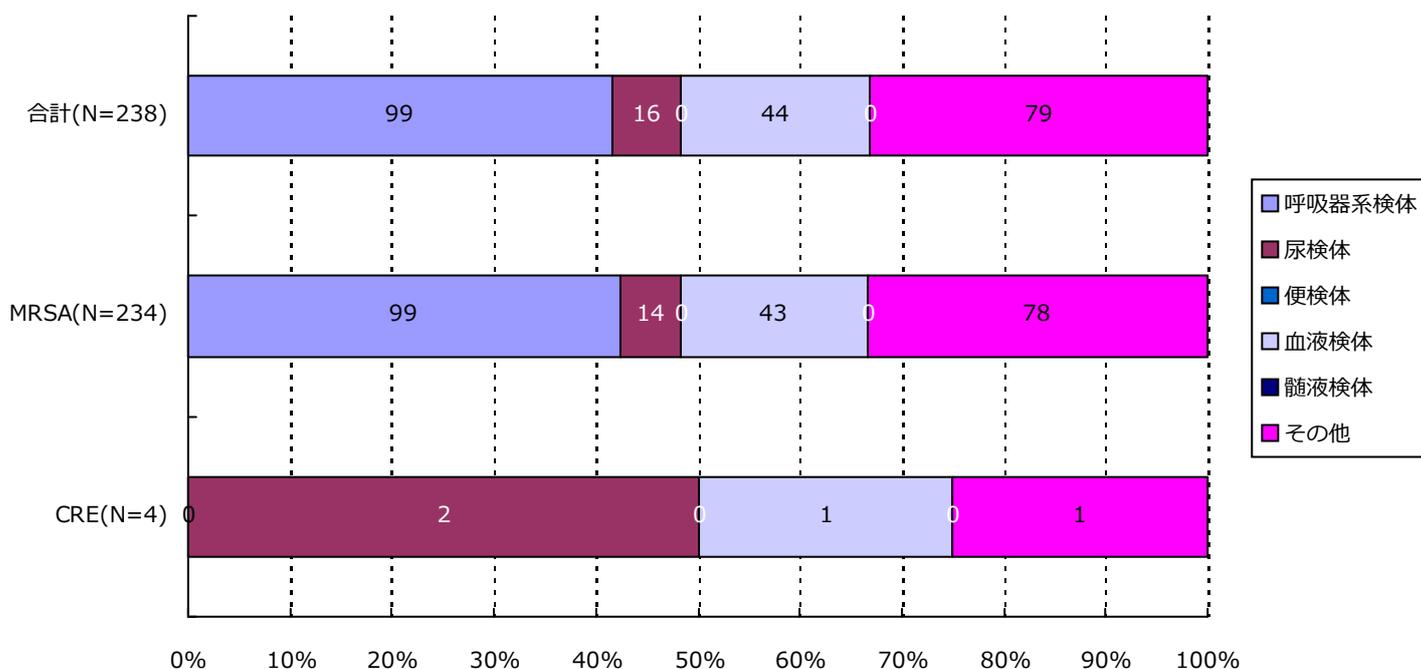


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(1.3%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.8%)	2(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	13(5.5%)	13(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	13(5.5%)	13(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	24(10.1%)	24(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	35(14.7%)	34(14.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
70歳代	62(26.1%)	60(25.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
80歳代	63(26.5%)	63(26.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	21(8.8%)	20(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	238	234	0	0	0	0	0	4

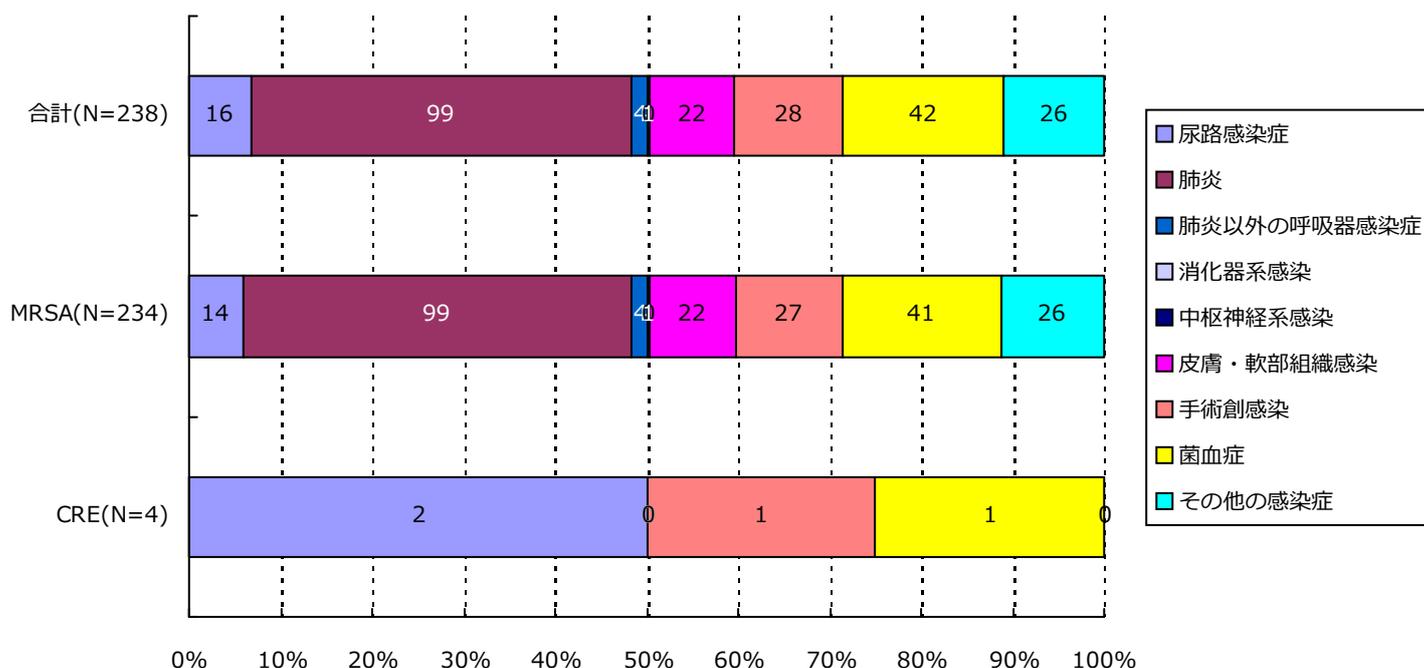
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	99(41.6%)	99(42.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	16(6.7%)	14(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	44(18.5%)	43(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	79(33.2%)	78(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	238	234	0	0	0	0	0	4

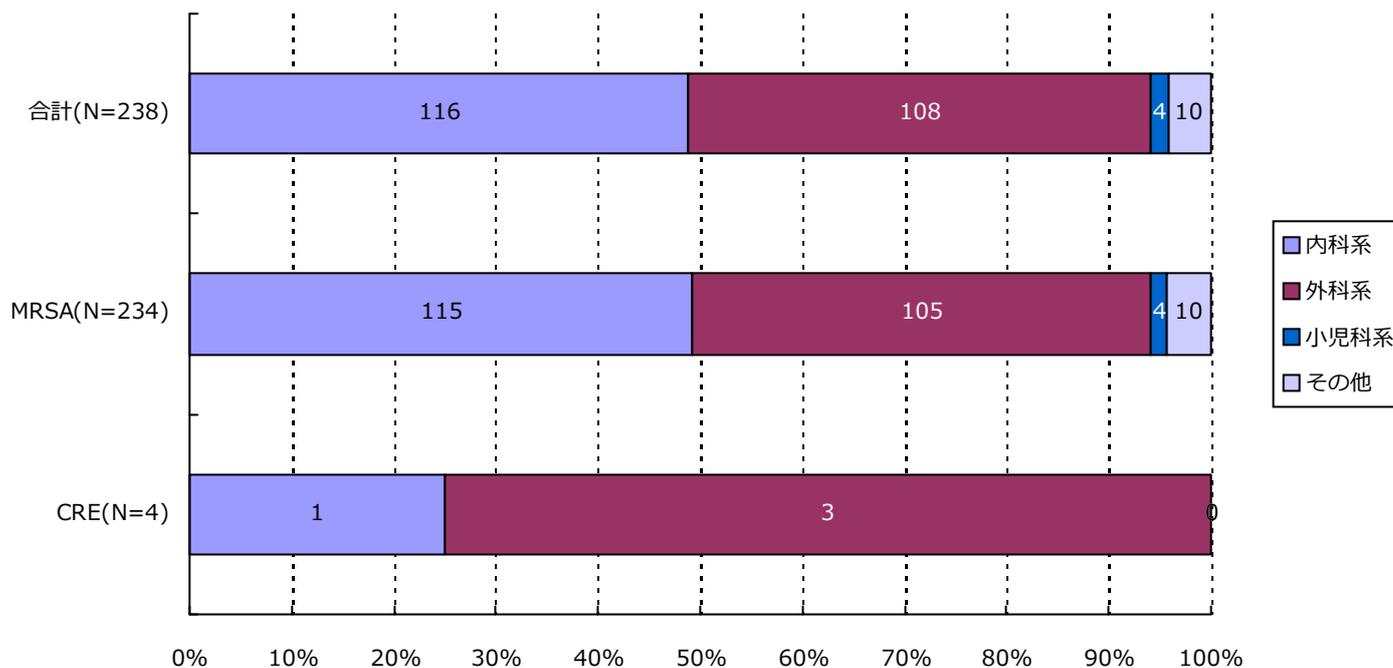
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(6.7%)	14(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
肺炎	99(41.6%)	99(42.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	4(1.7%)	4(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	22(9.2%)	22(9.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	28(11.8%)	27(11.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
菌血症	42(17.6%)	41(17.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
その他	26(10.9%)	26(11.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	238	234	0	0	0	0	0	4

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	116(48.7%)	115(49.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
外科系	108(45.4%)	105(44.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
小児科系	4(1.7%)	4(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(4.2%)	10(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	238	234	0	0	0	0	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

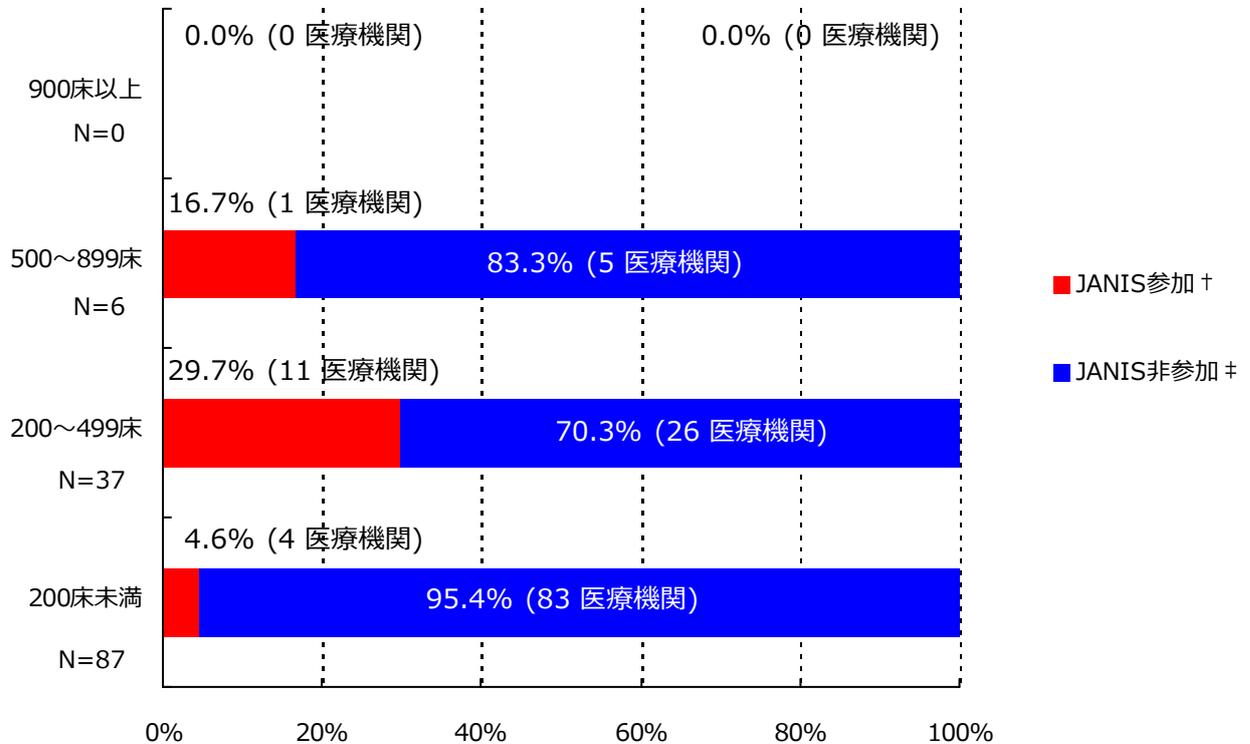
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	6	1 (16.7%)
200～499床	37	11 (29.7%)
200床未満	87	4 (4.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	130	16 (12.3%)

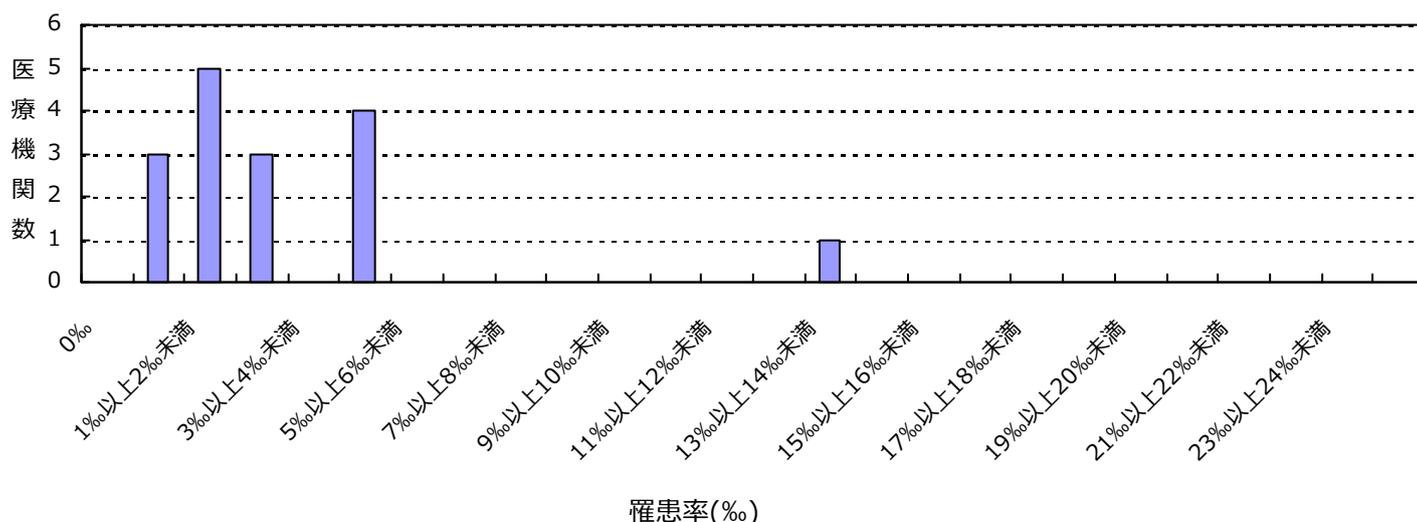
¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	112,380	6	291	2.59%	0.41 2.13 13.26

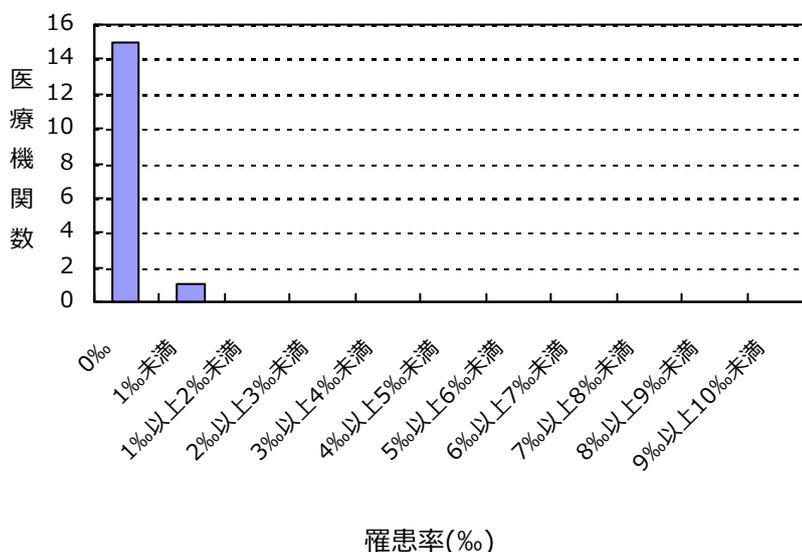
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	112,380	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.15

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(群馬県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

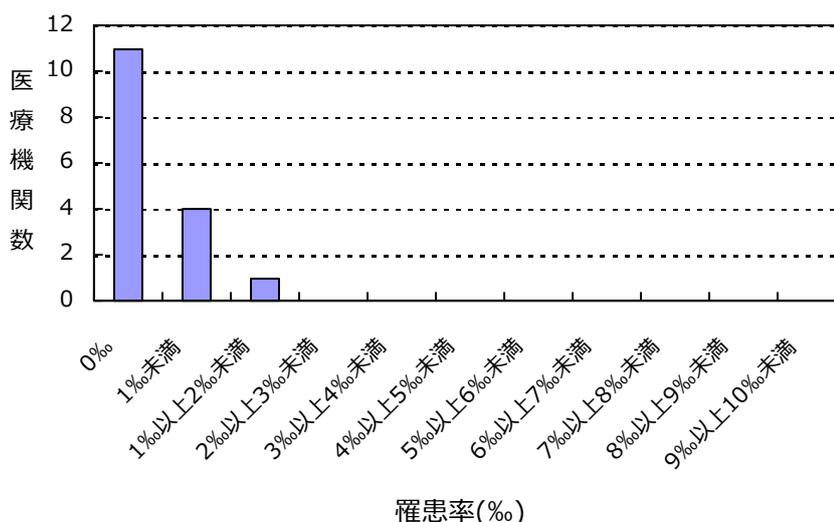


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	112,380	0	21	0.19%	0.00 0.00 1.56

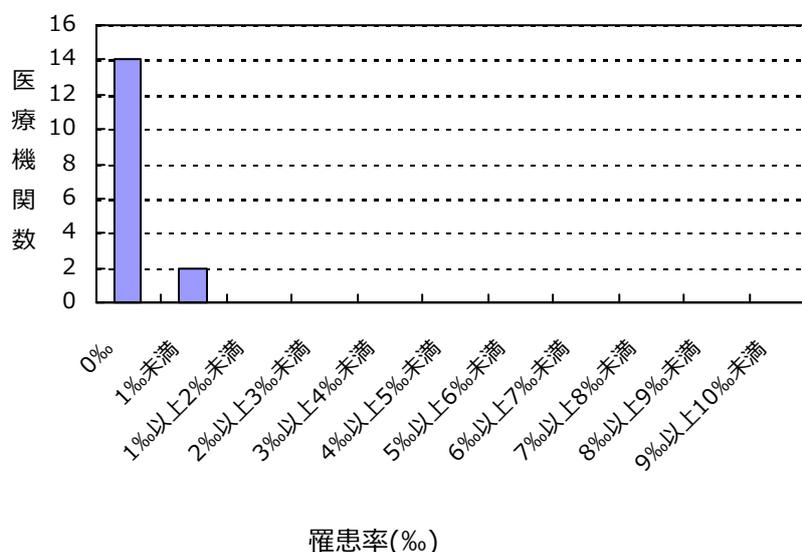
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	112,380	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.15

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(群馬県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

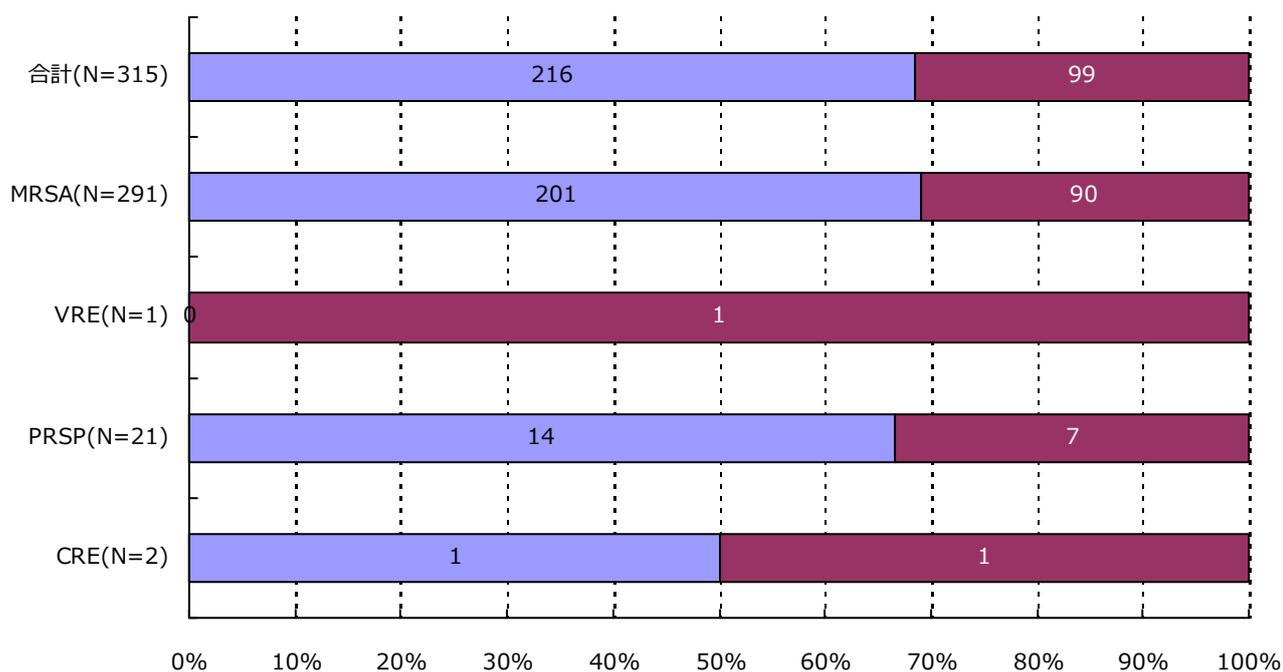
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

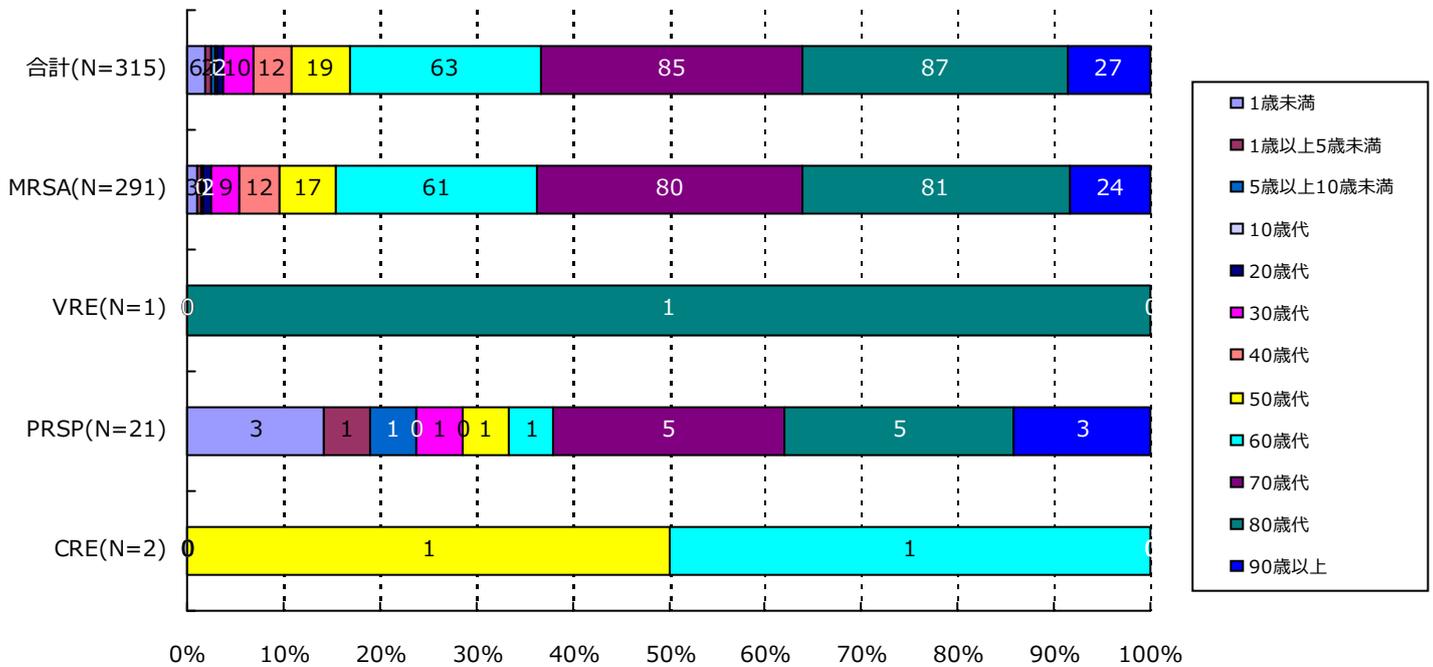
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	216 (68.6%)	201 (69.1%)	0 (-)	0 (-)	14 (66.7%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
女	99 (31.4%)	90 (30.9%)	0 (-)	1 (100.0%)	7 (33.3%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	315	291	0	1	21	0	0	2

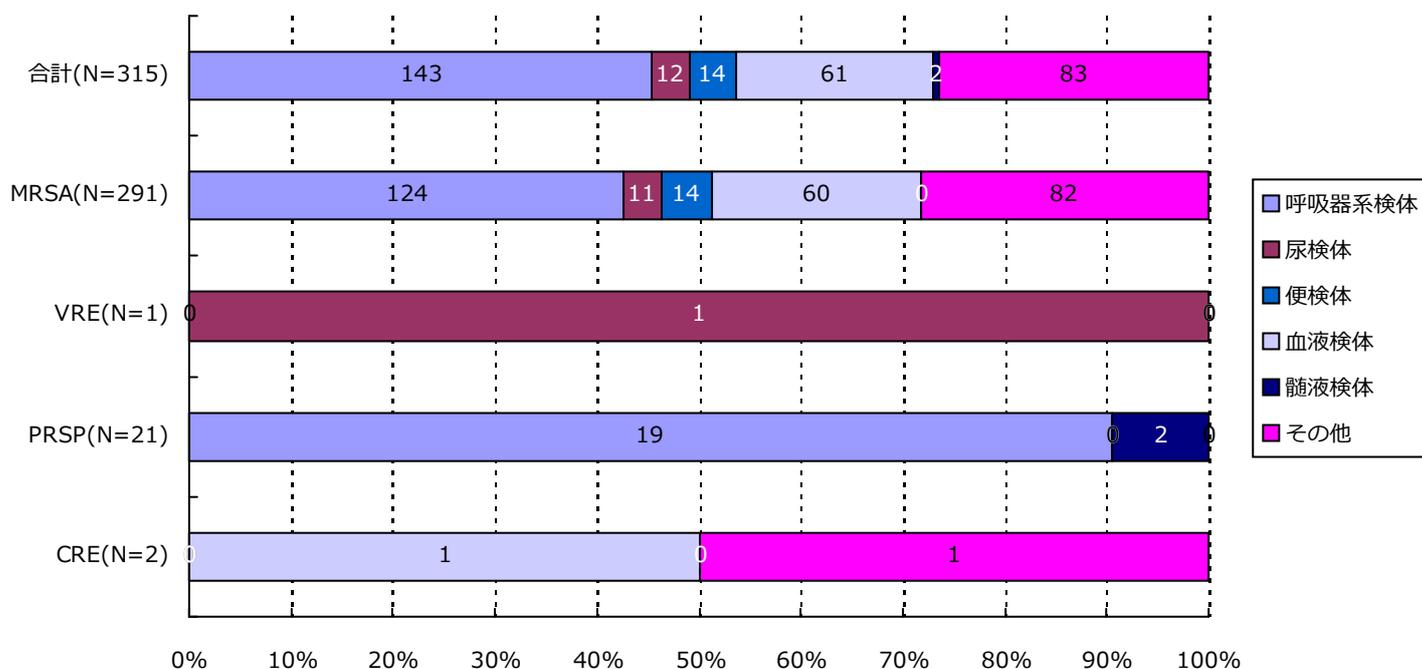


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(1.9%)	3(1.0%)	0(-)	0(-)	3(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(0.6%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	10(3.2%)	9(3.1%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	12(3.8%)	12(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	19(6.0%)	17(5.8%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
60歳代	63(20.0%)	61(21.0%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
70歳代	85(27.0%)	80(27.5%)	0(-)	0(-)	5(23.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	87(27.6%)	81(27.8%)	0(-)	1(100.0%)	5(23.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	27(8.6%)	24(8.2%)	0(-)	0(-)	3(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	315	291	0	1	21	0	0	2

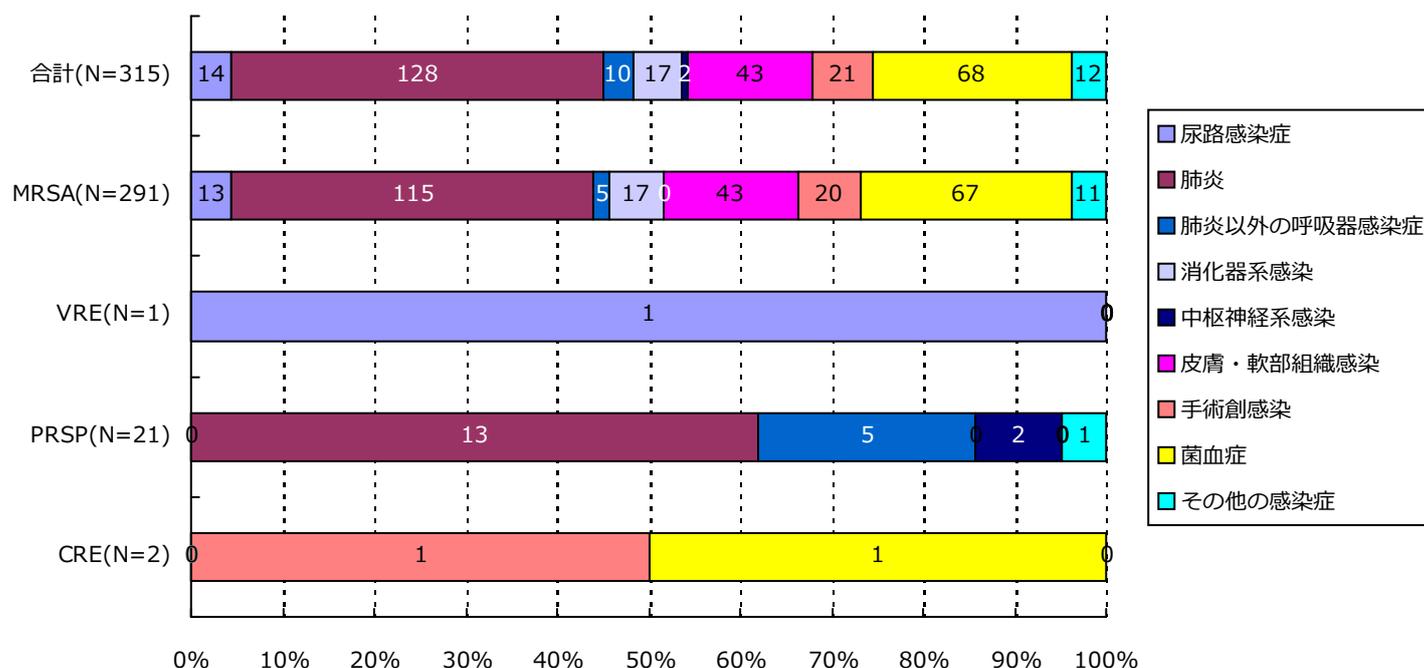
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	143(45.4%)	124(42.6%)	0(-)	0(-)	19(90.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	12(3.8%)	11(3.8%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	14(4.4%)	14(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	61(19.4%)	60(20.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
髄液検体	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	83(26.3%)	82(28.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	315	291	0	1	21	0	0	2

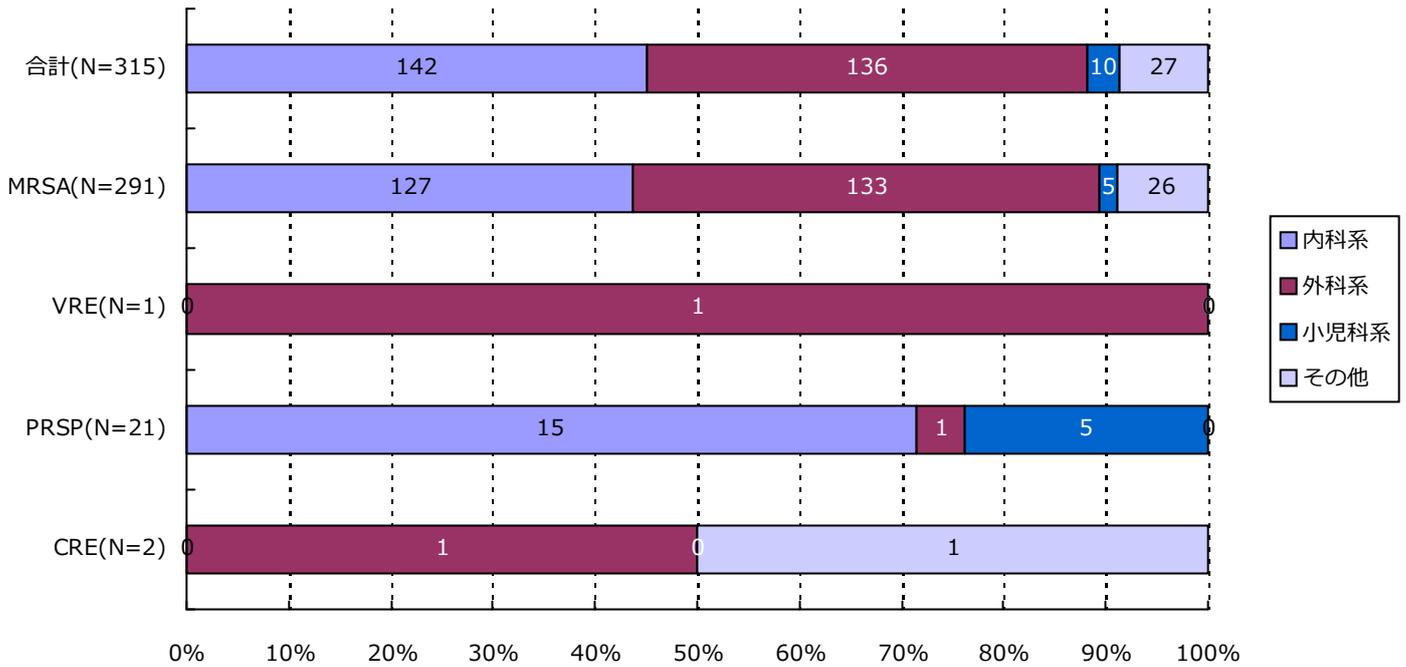
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	14(4.4%)	13(4.5%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	128(40.6%)	115(39.5%)	0(-)	0(-)	13(61.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	10(3.2%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	5(23.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	17(5.4%)	17(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	43(13.7%)	43(14.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	21(6.7%)	20(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
菌血症	68(21.6%)	67(23.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
その他	12(3.8%)	11(3.8%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	315	291	0	1	21	0	0	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	142(45.1%)	127(43.6%)	0(-)	0(-)	15(71.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	136(43.2%)	133(45.7%)	0(-)	1(100.0%)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	10(3.2%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	5(23.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	27(8.6%)	26(8.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	315	291	0	1	21	0	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆膵外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

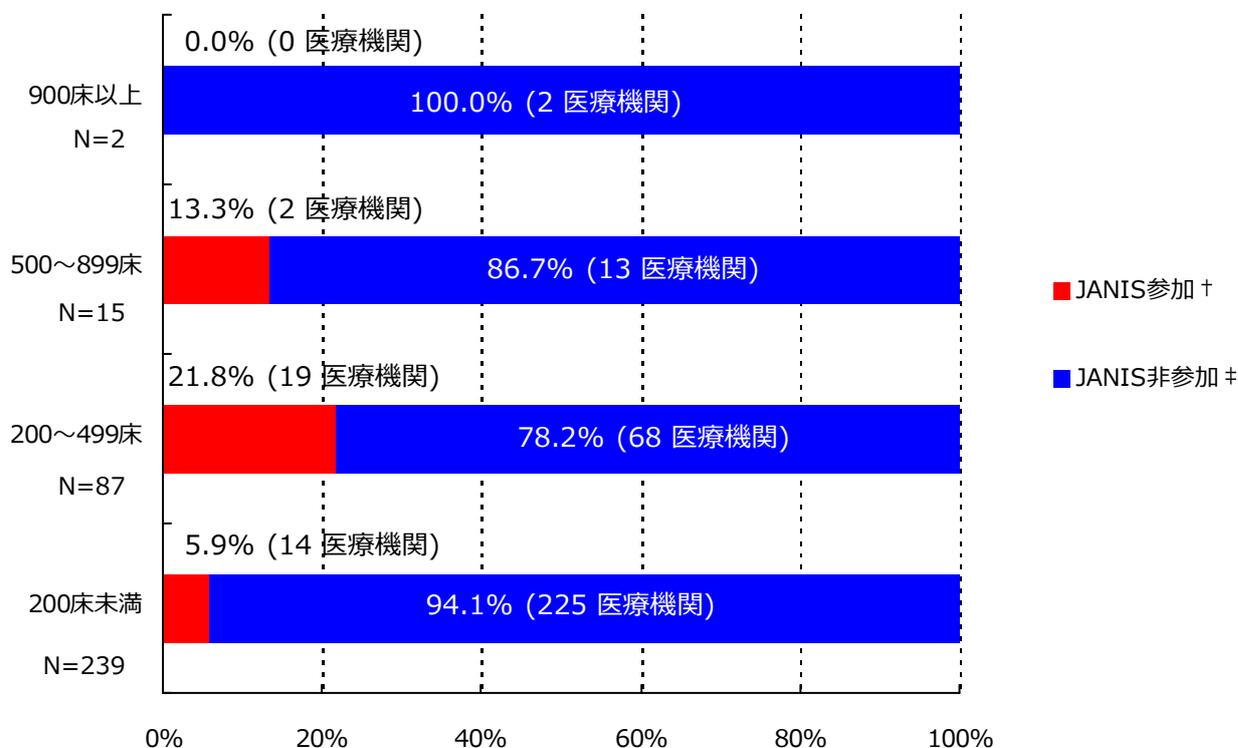
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠

[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(35医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0%)
500～899床	15	2 (13.3%)
200～499床	87	19 (21.8%)
200床未満	239	14 (5.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	343	35 (10.2%)

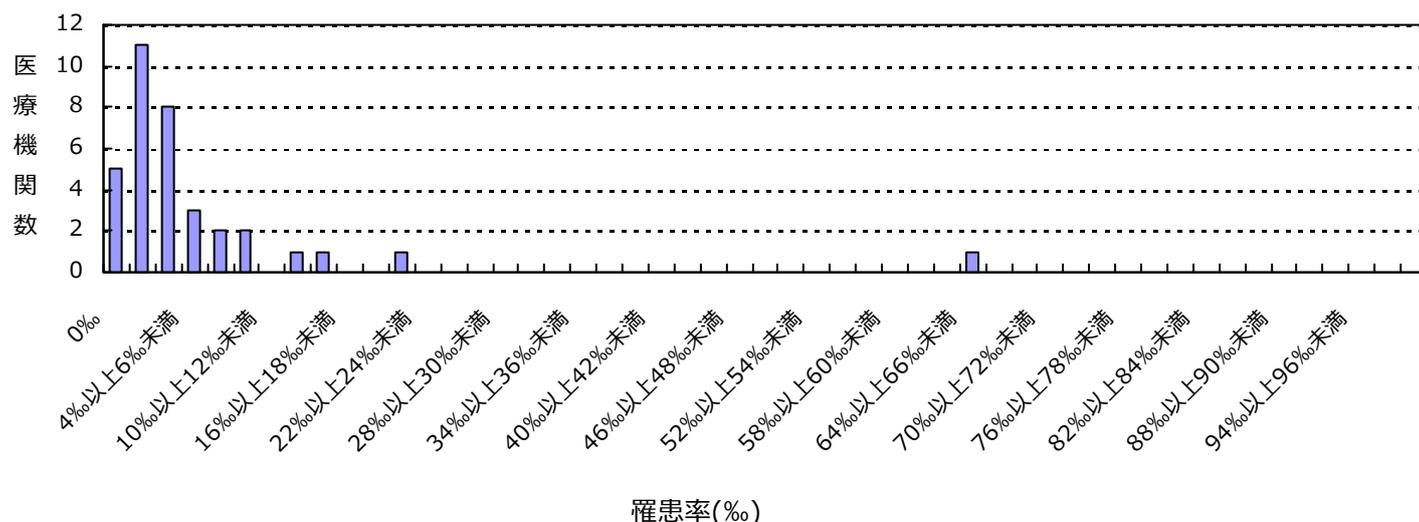
¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	163,477	15	539	3.30%	0.00 2.14 65.99

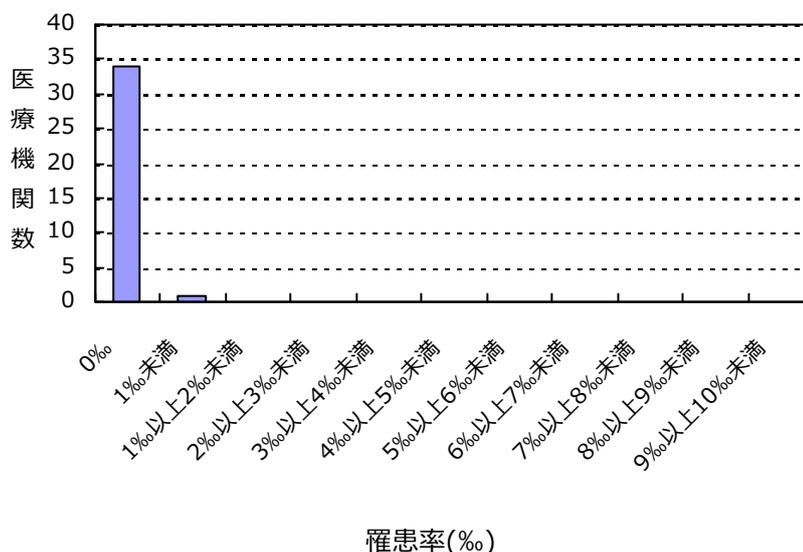
集計対象医療機関の罹患率(N=35)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	163,477	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.11

集計対象医療機関の罹患率(N=35)



(埼玉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

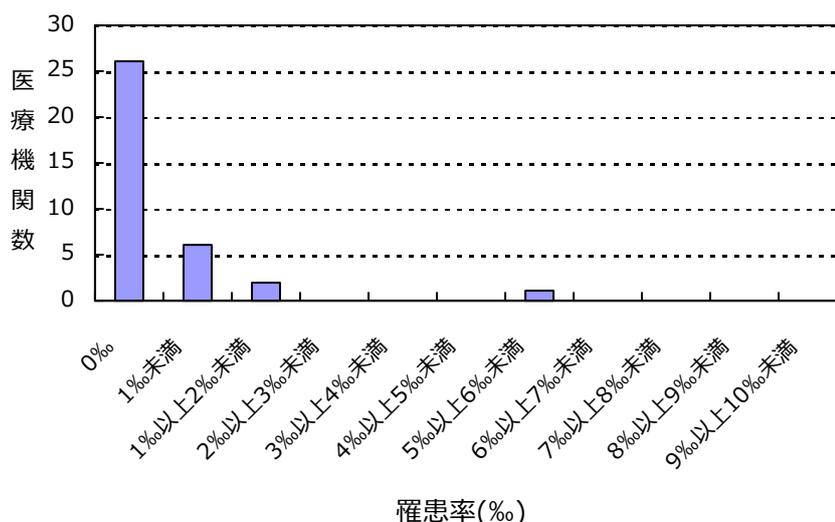


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	163,477	1	45	0.28%	0.00 0.00 5.00

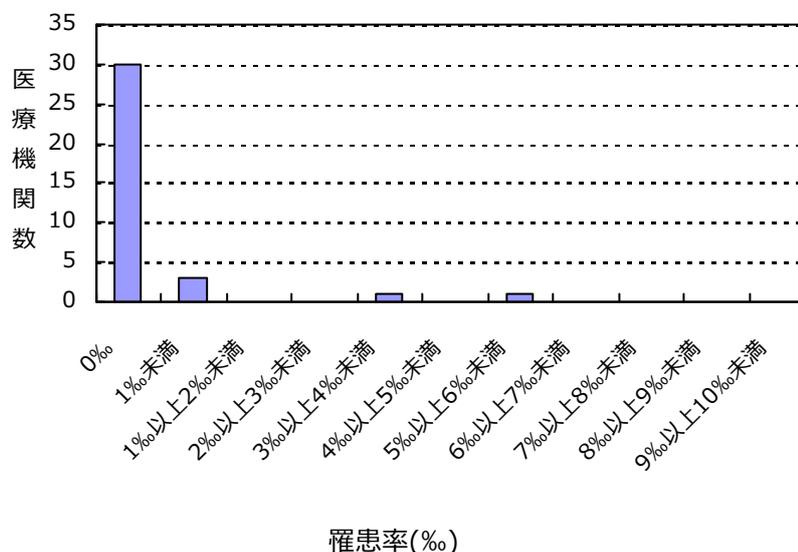
集計対象医療機関の罹患率(N=35)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	163,477	1	7	0.04%	0.00 0.00 5.00

集計対象医療機関の罹患率(N=35)



(埼玉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

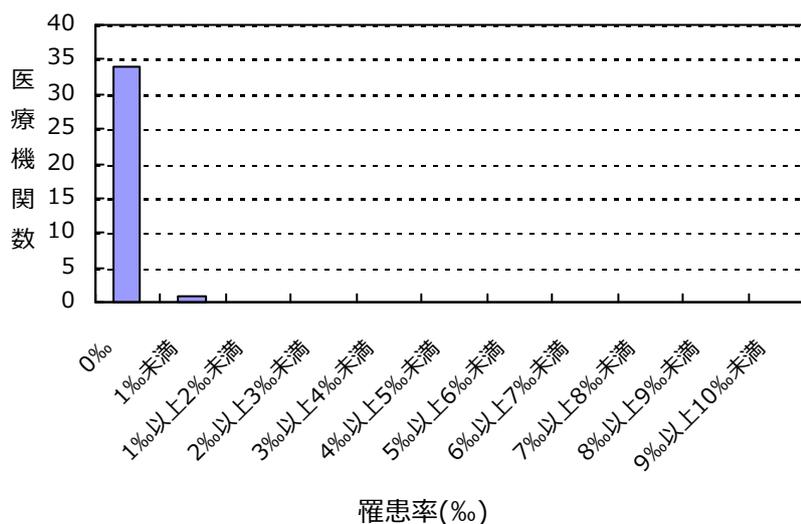


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRA	163,477	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08

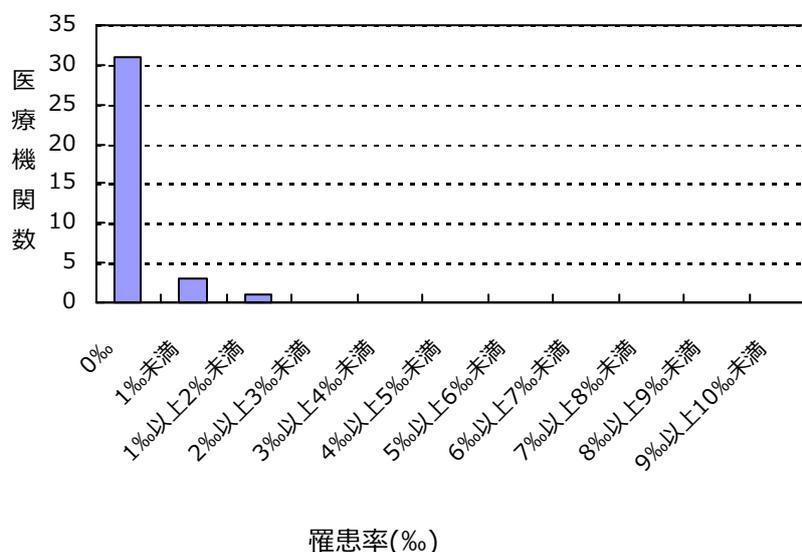
集計対象医療機関の罹患率(N=35)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	163,477	0	8	0.05%	0.00 0.00 1.05

集計対象医療機関の罹患率(N=35)



(埼玉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

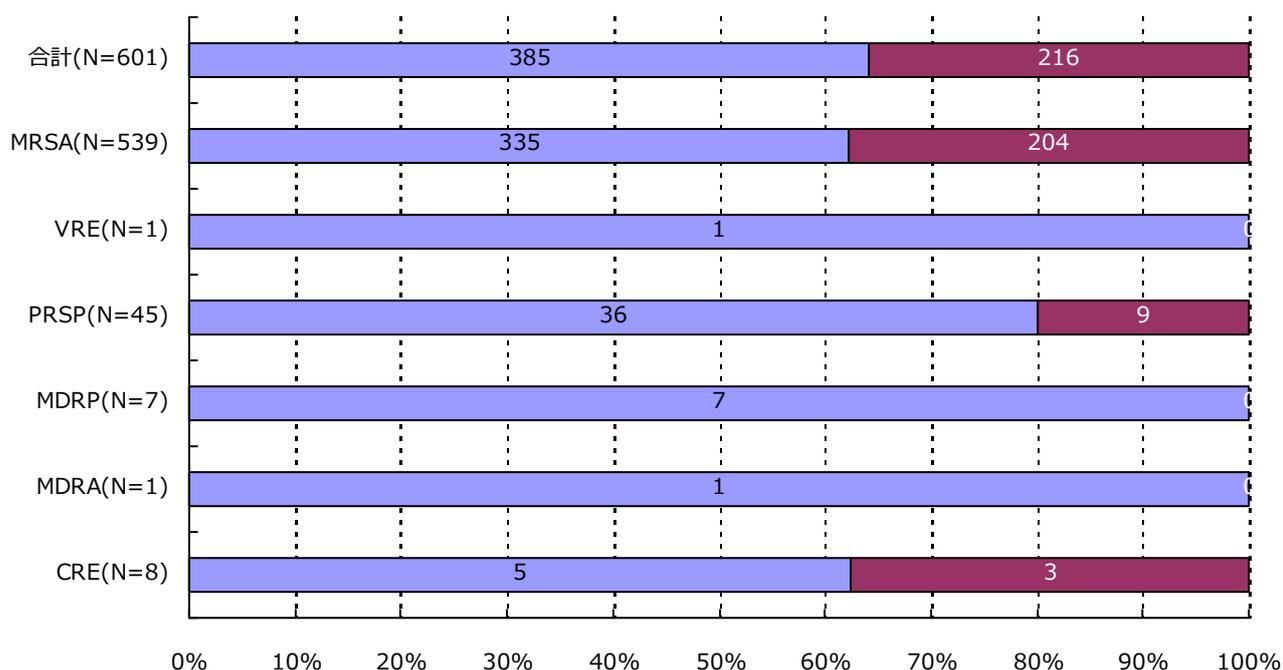
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

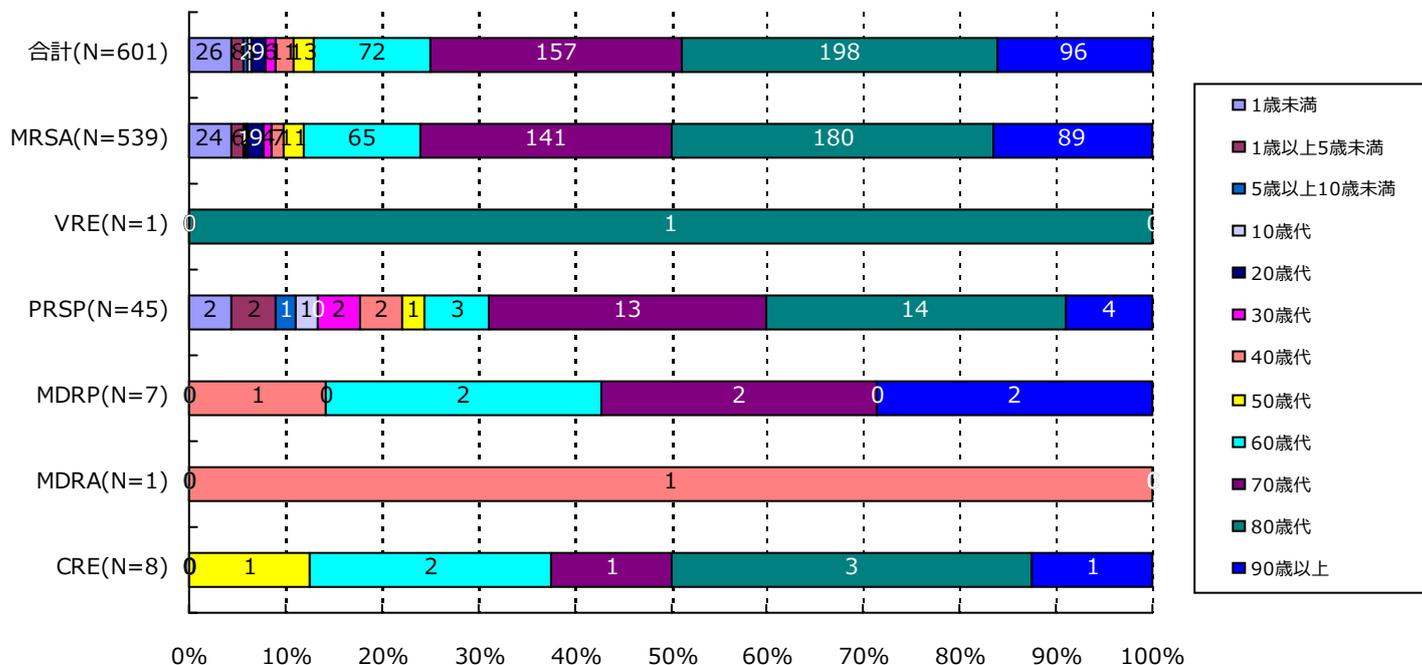
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	385 (64.1%)	335 (62.2%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (80.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	5 (62.5%)
女	216 (35.9%)	204 (37.8%)	0 (-)	0 (-)	9 (20.0%)	0 (-)	0 (-)	3 (37.5%)
合計	601	539	0	1	45	7	1	8

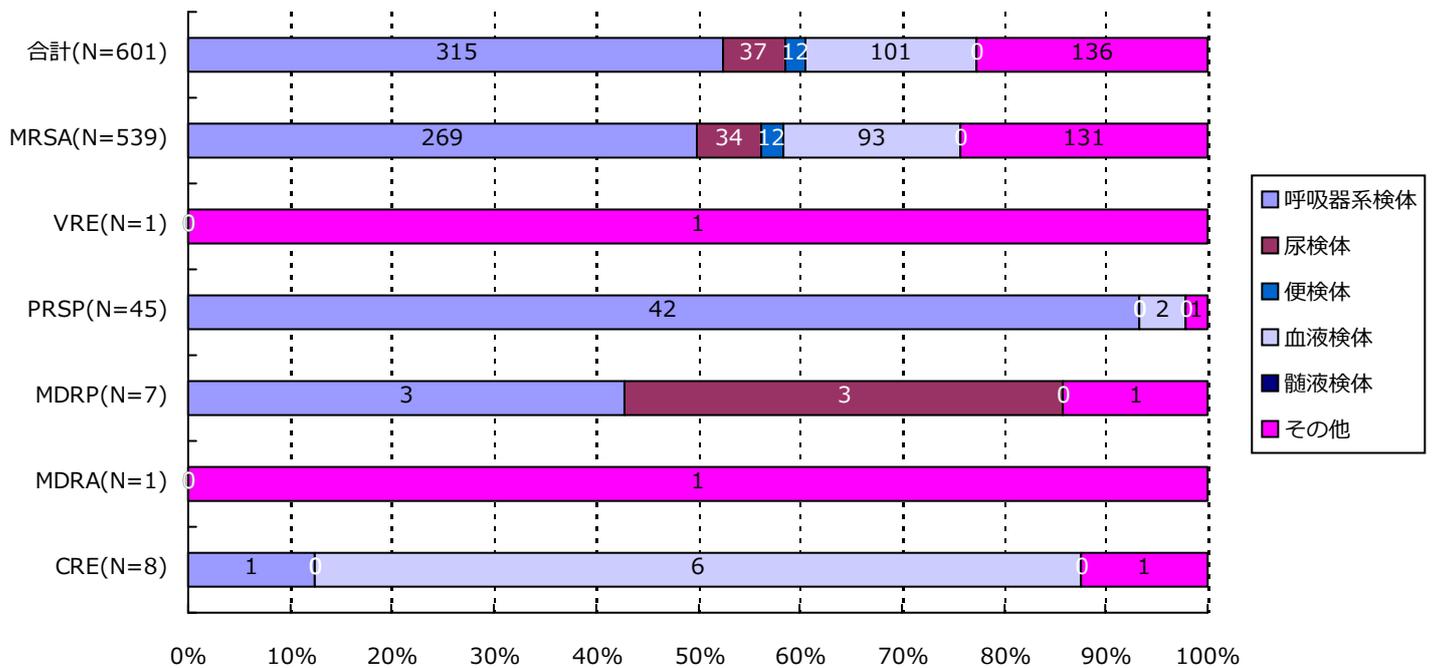


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	26(4.3%)	24(4.5%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	8(1.3%)	6(1.1%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.3%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(0.5%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	9(1.5%)	9(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(1.0%)	4(0.7%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(1.8%)	7(1.3%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	1(14.3%)	1(100.0%)	0(-)
50歳代	13(2.2%)	11(2.0%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)
60歳代	72(12.0%)	65(12.1%)	0(-)	0(-)	3(6.7%)	2(28.6%)	0(-)	2(25.0%)
70歳代	157(26.1%)	141(26.2%)	0(-)	0(-)	13(28.9%)	2(28.6%)	0(-)	1(12.5%)
80歳代	198(32.9%)	180(33.4%)	0(-)	1(100.0%)	14(31.1%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)
90歳以上	96(16.0%)	89(16.5%)	0(-)	0(-)	4(8.9%)	2(28.6%)	0(-)	1(12.5%)
合計	601	539	0	1	45	7	1	8

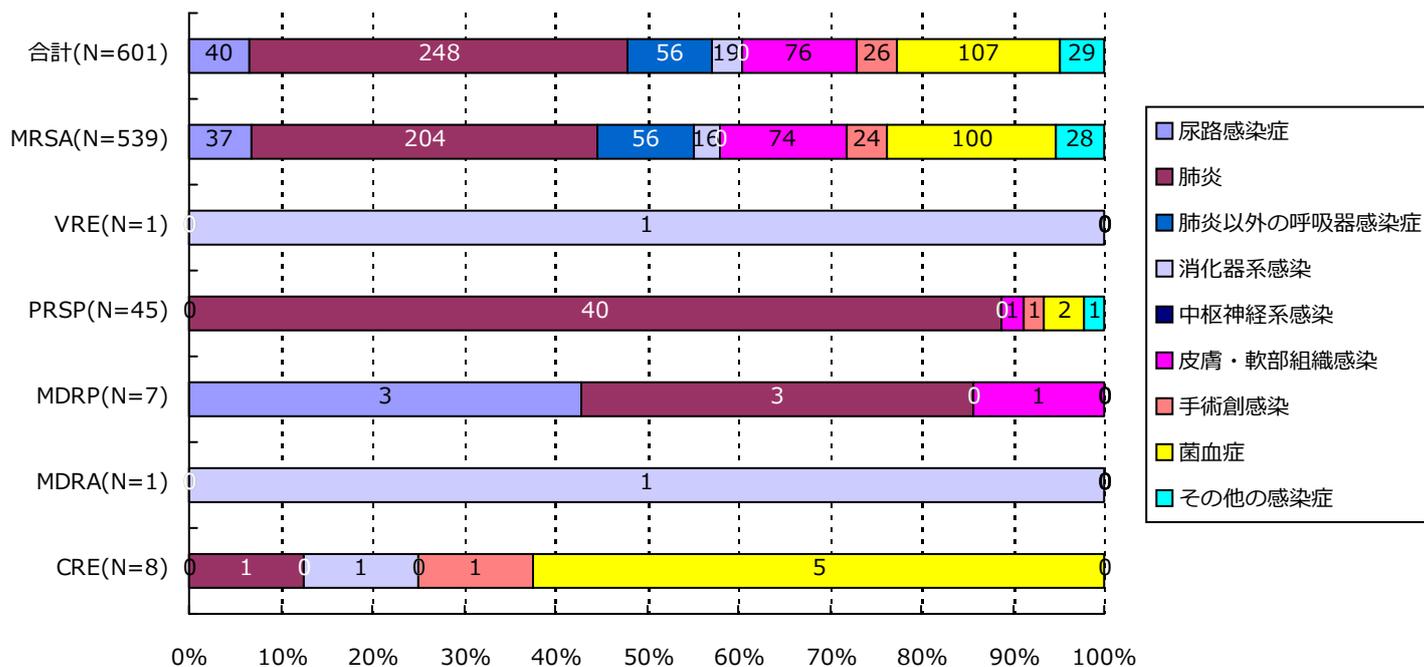
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	315(52.4%)	269(49.9%)	0(-)	0(-)	42(93.3%)	3(42.9%)	0(-)	1(12.5%)
尿検体	37(6.2%)	34(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	0(-)
便検体	12(2.0%)	12(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	101(16.8%)	93(17.3%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	136(22.6%)	131(24.3%)	0(-)	1(100.0%)	1(2.2%)	1(14.3%)	1(100.0%)	1(12.5%)
合計	601	539	0	1	45	7	1	8

*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	40(6.7%)	37(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	0(-)
肺炎	248(41.3%)	204(37.8%)	0(-)	0(-)	40(88.9%)	3(42.9%)	0(-)	1(12.5%)
肺炎以外	56(9.3%)	56(10.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(3.2%)	16(3.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(12.5%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	76(12.6%)	74(13.7%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	1(14.3%)	0(-)	0(-)
手術創	26(4.3%)	24(4.5%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)
菌血症	107(17.8%)	100(18.6%)	0(-)	0(-)	2(4.4%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)
その他	29(4.8%)	28(5.2%)	0(-)	0(-)	1(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	601	539	0	1	45	7	1	8

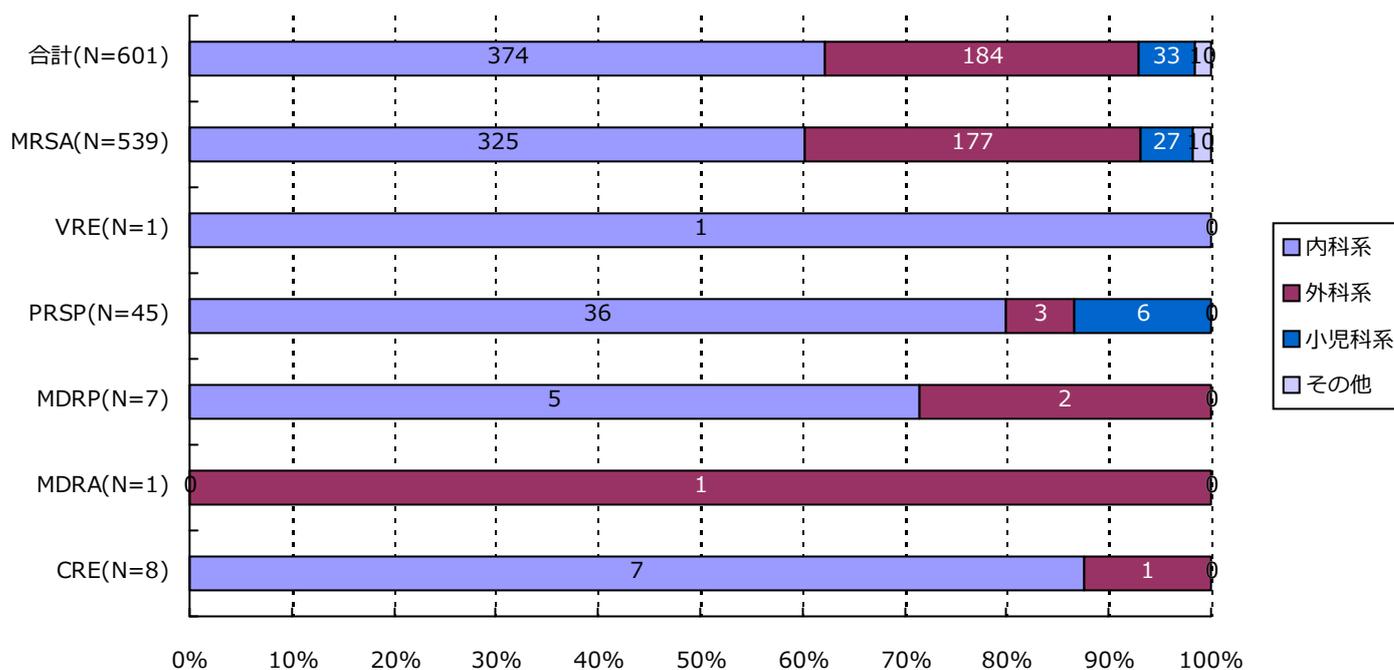
(埼玉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	374(62.2%)	325(60.3%)	0(-)	1(100.0%)	36(80.0%)	5(71.4%)	0(-)	7(87.5%)
外科系	184(30.6%)	177(32.8%)	0(-)	0(-)	3(6.7%)	2(28.6%)	1(100.0%)	1(12.5%)
小児科系	33(5.5%)	27(5.0%)	0(-)	0(-)	6(13.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(1.7%)	10(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	601	539	0	1	45	7	1	8

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

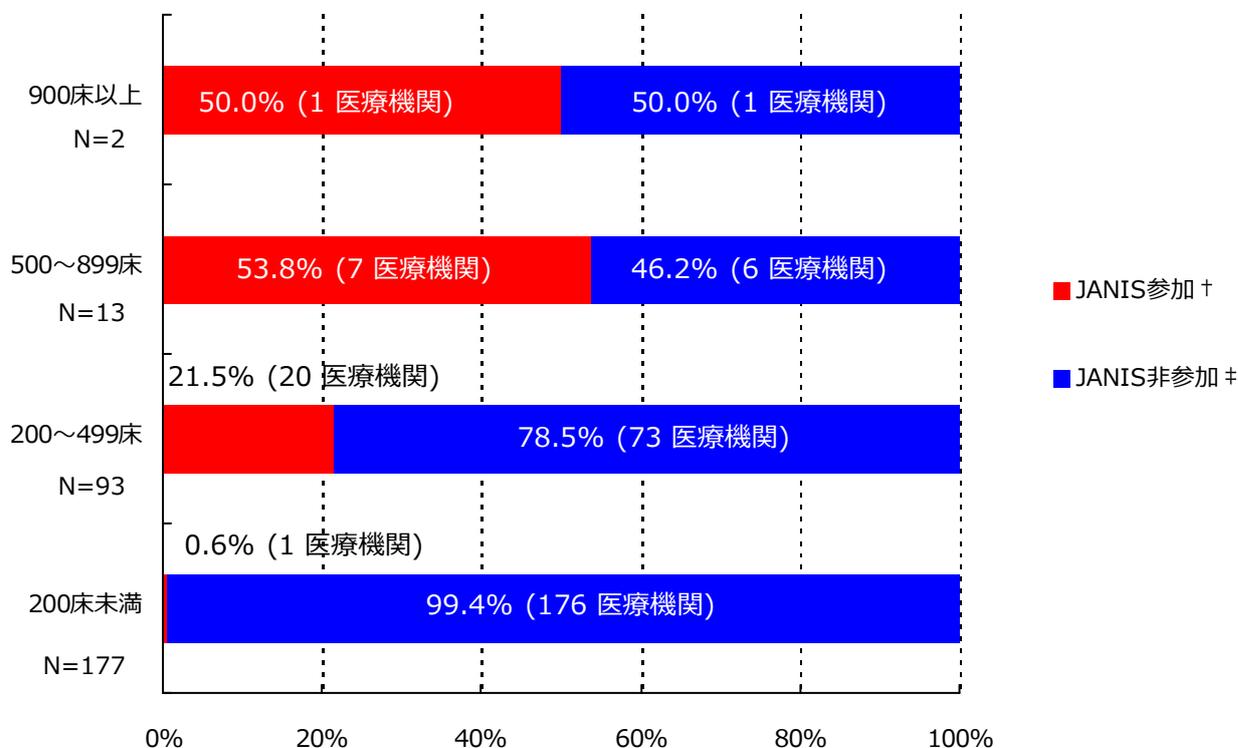
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(29医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	13	7 (53.8%)
200～499床	93	20 (21.5%)
200床未満	177	1 (0.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	285	29 (10.2%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(千葉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

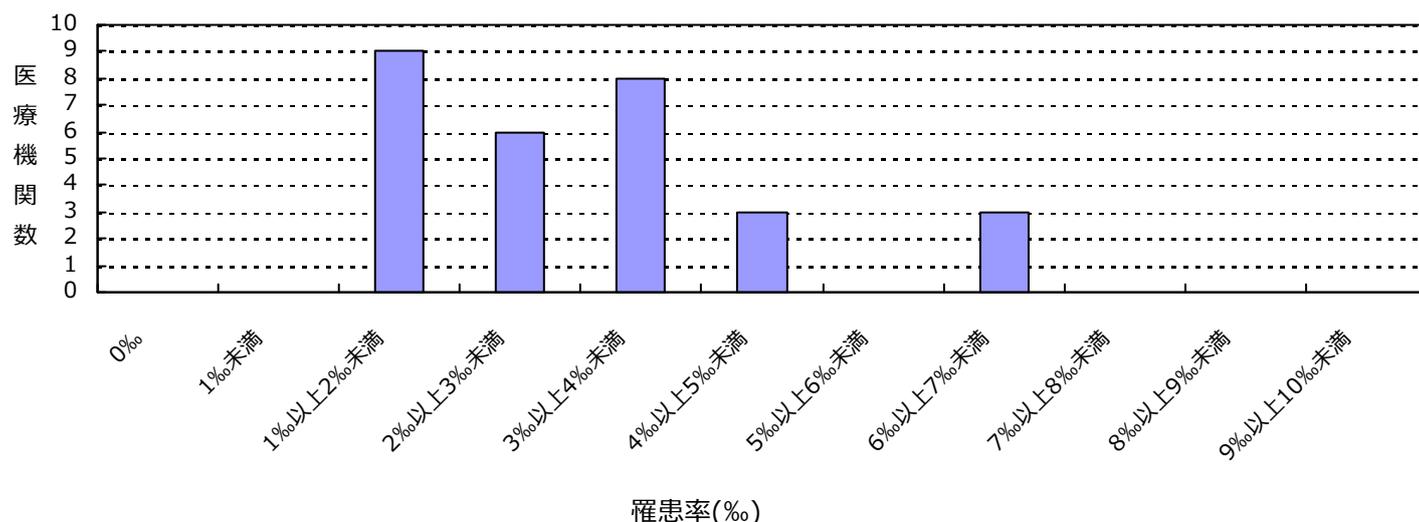


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	236,325	11	710	3.00%	1.05 2.68 6.68

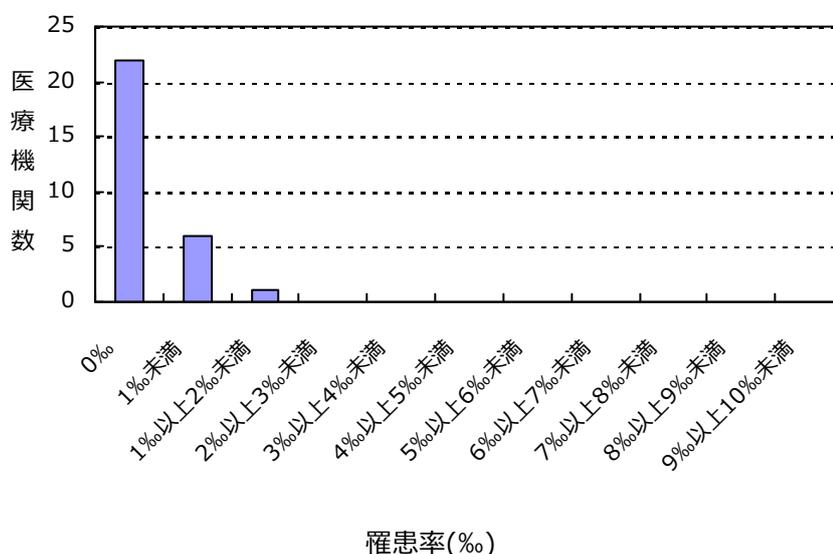
集計対象医療機関の罹患率(N=29)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	236,325	0	38	0.16%	0.00 0.00 1.36

集計対象医療機関の罹患率(N=29)



(千葉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

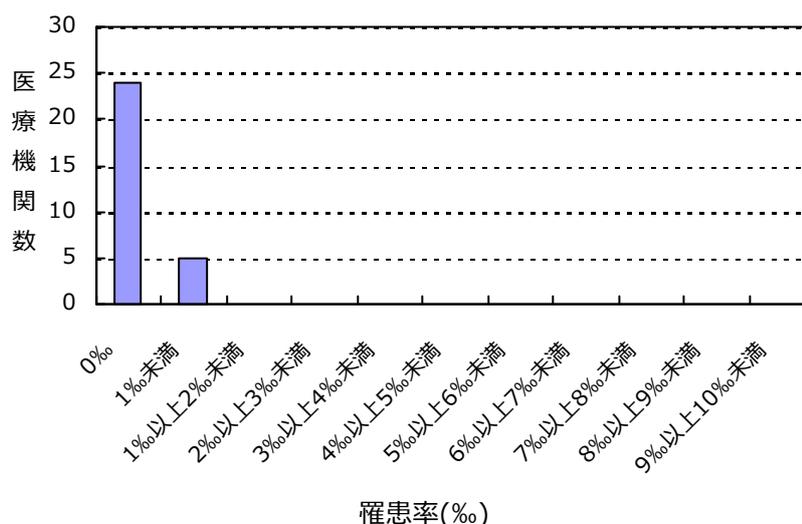


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	236,325	0	8	0.03%	0.00 0.00 0.25

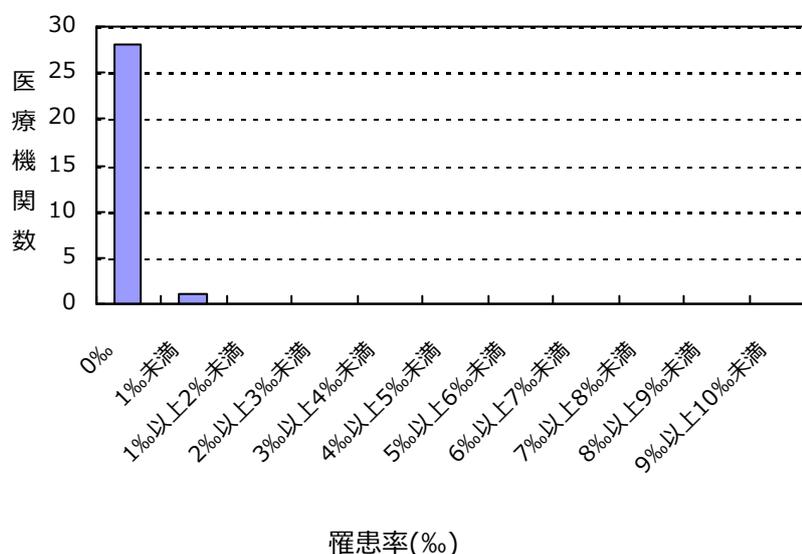
集計対象医療機関の罹患率(N=29)



多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRA	236,325	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.05

集計対象医療機関の罹患率(N=29)



(千葉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

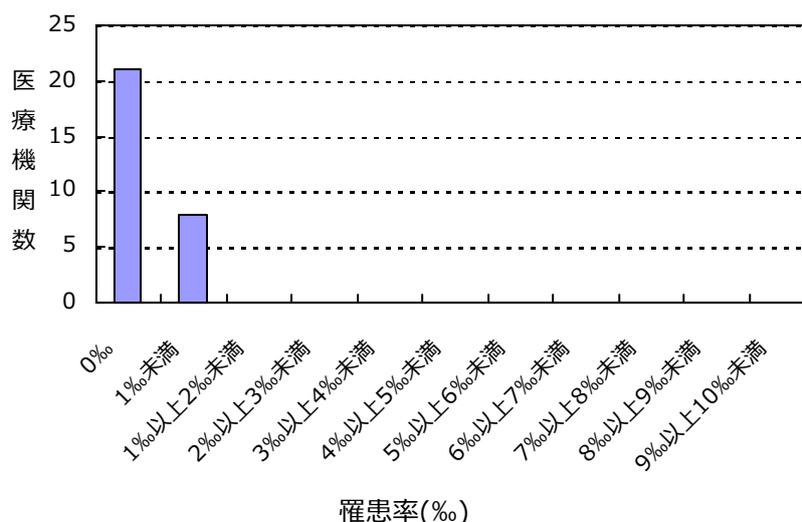


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	236,325	0	19	0.08%	0.00 0.00 0.44

集計対象医療機関の罹患率(N=29)



(千葉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

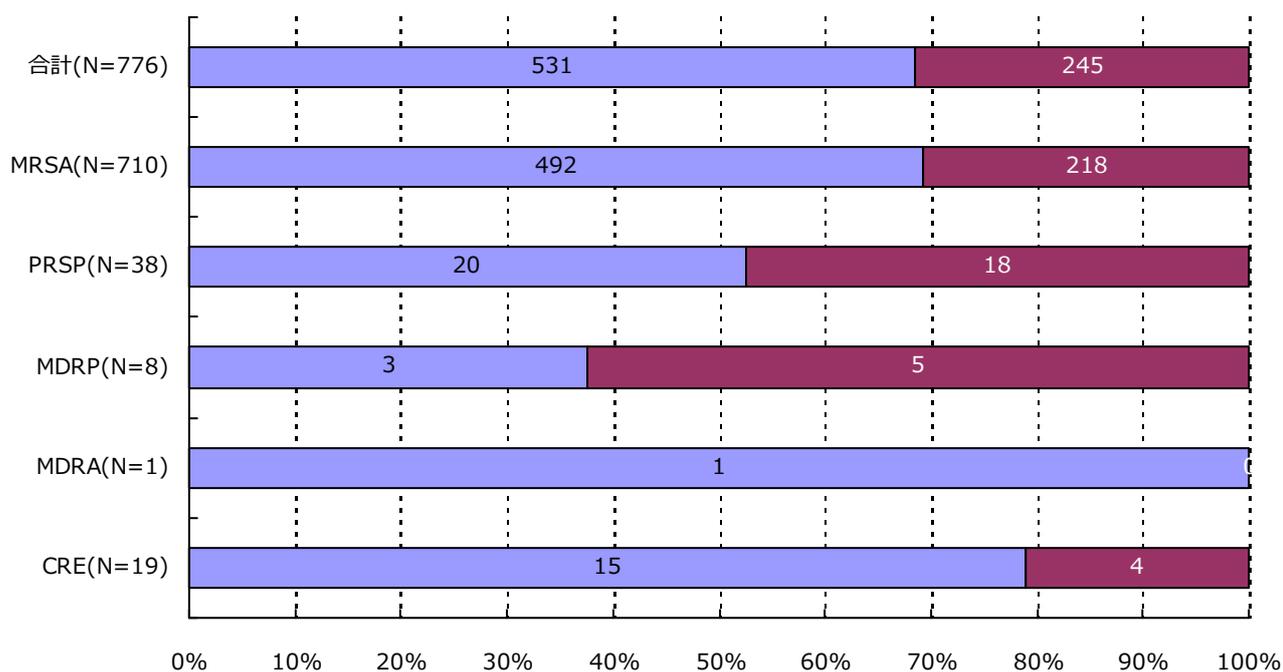
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	531 (68.4%)	492 (69.3%)	0 (-)	0 (-)	20 (52.6%)	3 (37.5%)	1 (100.0%)	15 (78.9%)
女	245 (31.6%)	218 (30.7%)	0 (-)	0 (-)	18 (47.4%)	5 (62.5%)	0 (-)	4 (21.1%)
合計	776	710	0	0	38	8	1	19

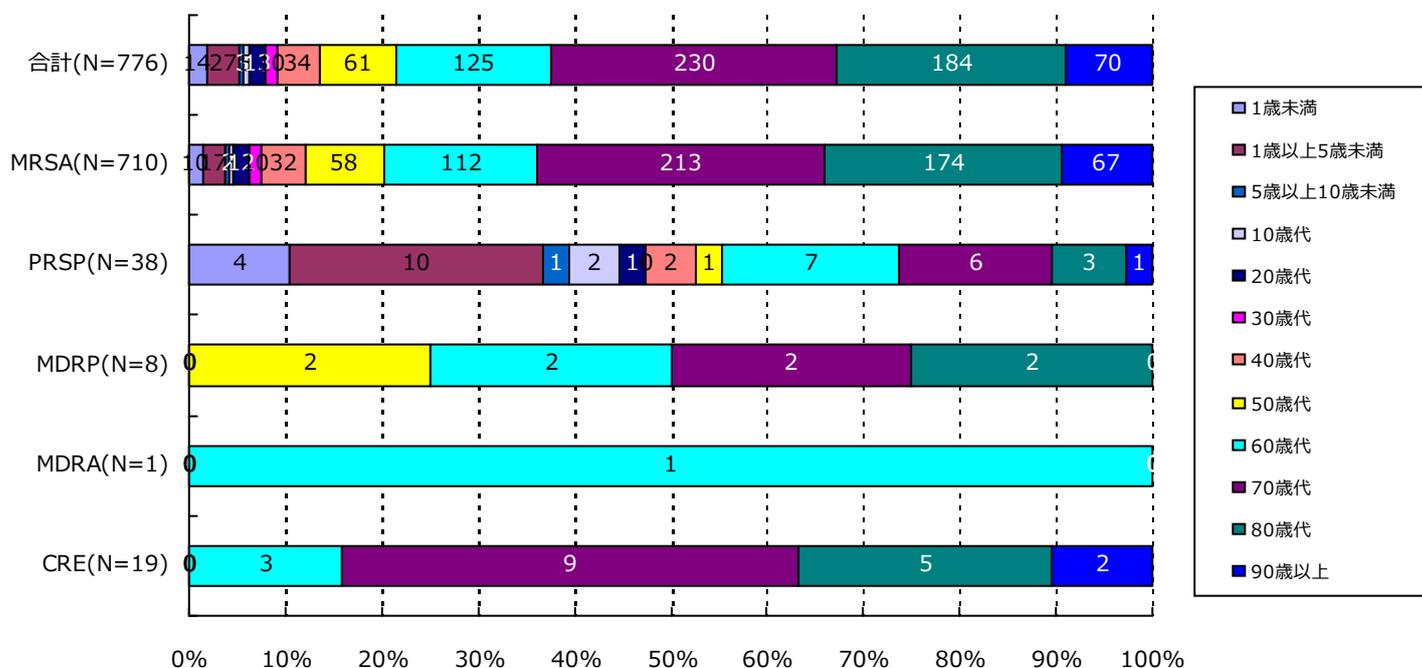
(千葉県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

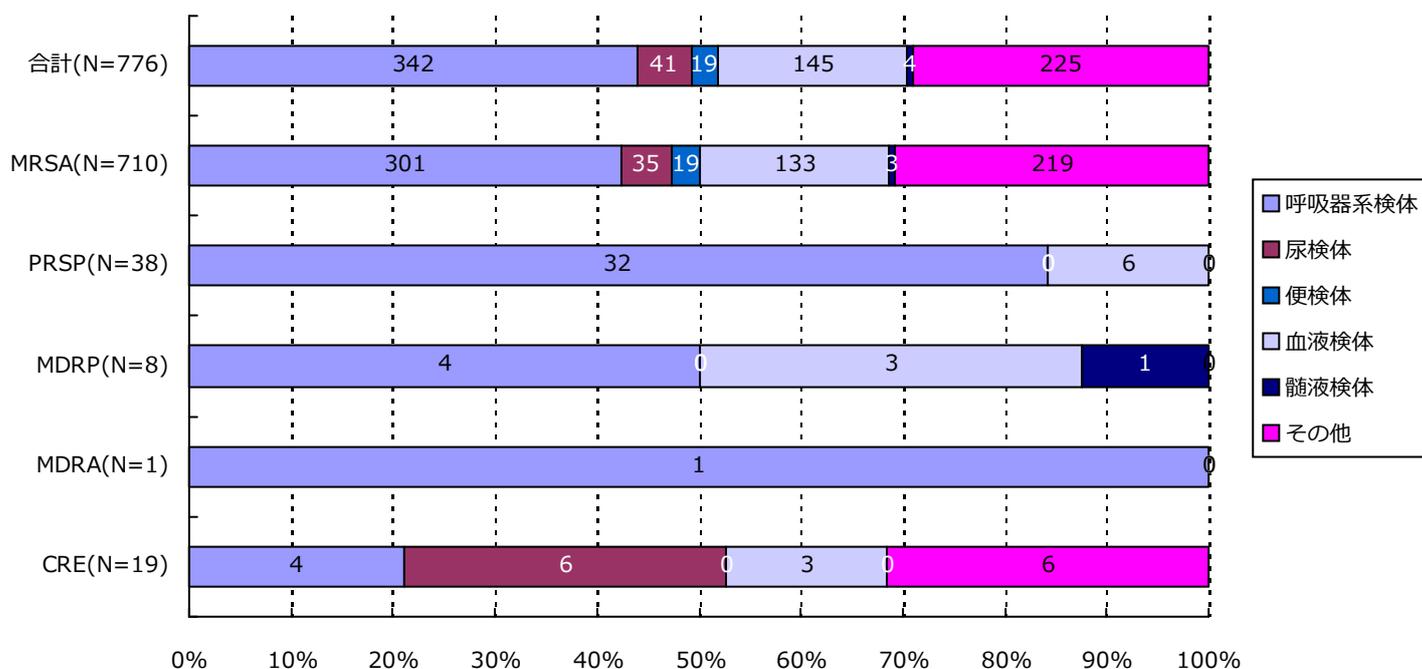


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	14(1.8%)	10(1.4%)	0(-)	0(-)	4(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	27(3.5%)	17(2.4%)	0(-)	0(-)	10(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.4%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	1(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	5(0.6%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	2(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	13(1.7%)	12(1.7%)	0(-)	0(-)	1(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	10(1.3%)	10(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	34(4.4%)	32(4.5%)	0(-)	0(-)	2(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	61(7.9%)	58(8.2%)	0(-)	0(-)	1(2.6%)	2(25.0%)	0(-)	0(-)
60歳代	125(16.1%)	112(15.8%)	0(-)	0(-)	7(18.4%)	2(25.0%)	1(100.0%)	3(15.8%)
70歳代	230(29.6%)	213(30.0%)	0(-)	0(-)	6(15.8%)	2(25.0%)	0(-)	9(47.4%)
80歳代	184(23.7%)	174(24.5%)	0(-)	0(-)	3(7.9%)	2(25.0%)	0(-)	5(26.3%)
90歳以上	70(9.0%)	67(9.4%)	0(-)	0(-)	1(2.6%)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
合計	776	710	0	0	38	8	1	19

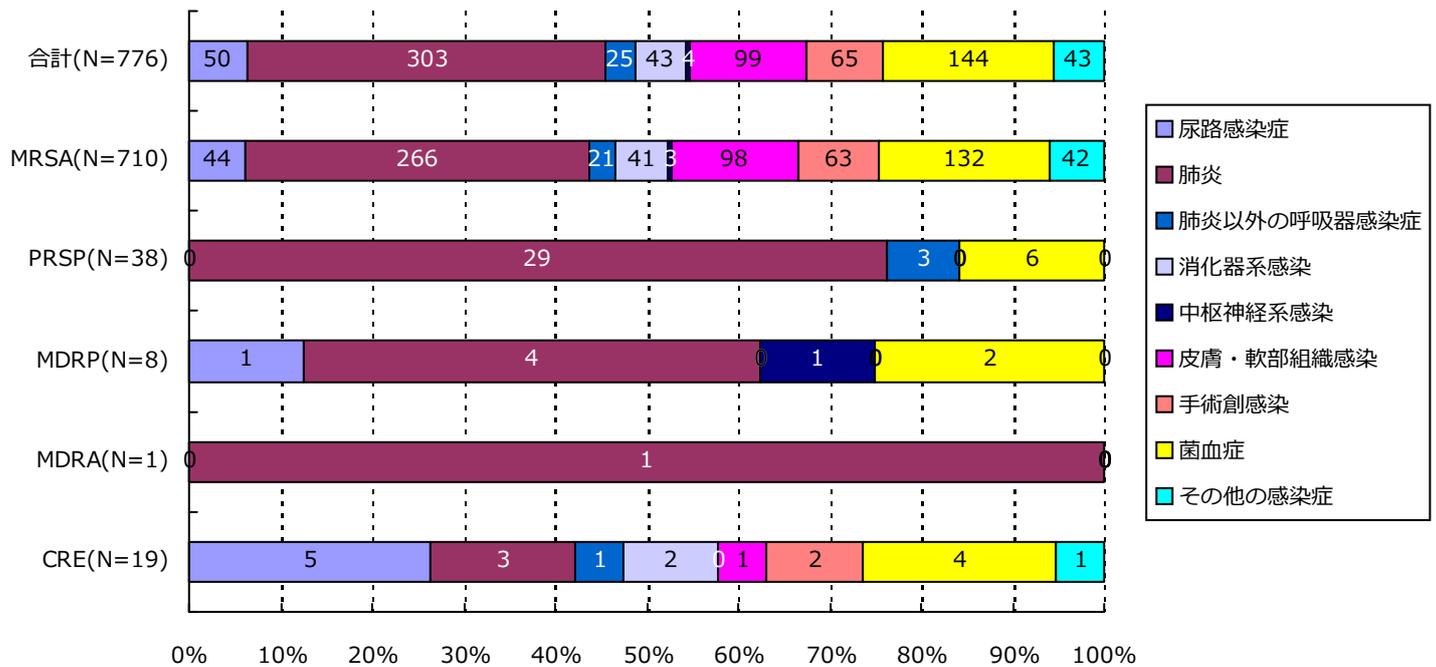
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	342(44.1%)	301(42.4%)	0(-)	0(-)	32(84.2%)	4(50.0%)	1(100.0%)	4(21.1%)
尿検体	41(5.3%)	35(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
便検体	19(2.4%)	19(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	145(18.7%)	133(18.7%)	0(-)	0(-)	6(15.8%)	3(37.5%)	0(-)	3(15.8%)
髄液検体	4(0.5%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)
その他	225(29.0%)	219(30.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
合計	776	710	0	0	38	8	1	19

*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	50(6.4%)	44(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	5(26.3%)
肺炎	303(39.0%)	266(37.5%)	0(-)	0(-)	29(76.3%)	4(50.0%)	1(100.0%)	3(15.8%)
肺炎以外	25(3.2%)	21(3.0%)	0(-)	0(-)	3(7.9%)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
消化器系	43(5.5%)	41(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
中枢神経系	4(0.5%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	99(12.8%)	98(13.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
手術創	65(8.4%)	63(8.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
菌血症	144(18.6%)	132(18.6%)	0(-)	0(-)	6(15.8%)	2(25.0%)	0(-)	4(21.1%)
その他	43(5.5%)	42(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
合計	776	710	0	0	38	8	1	19

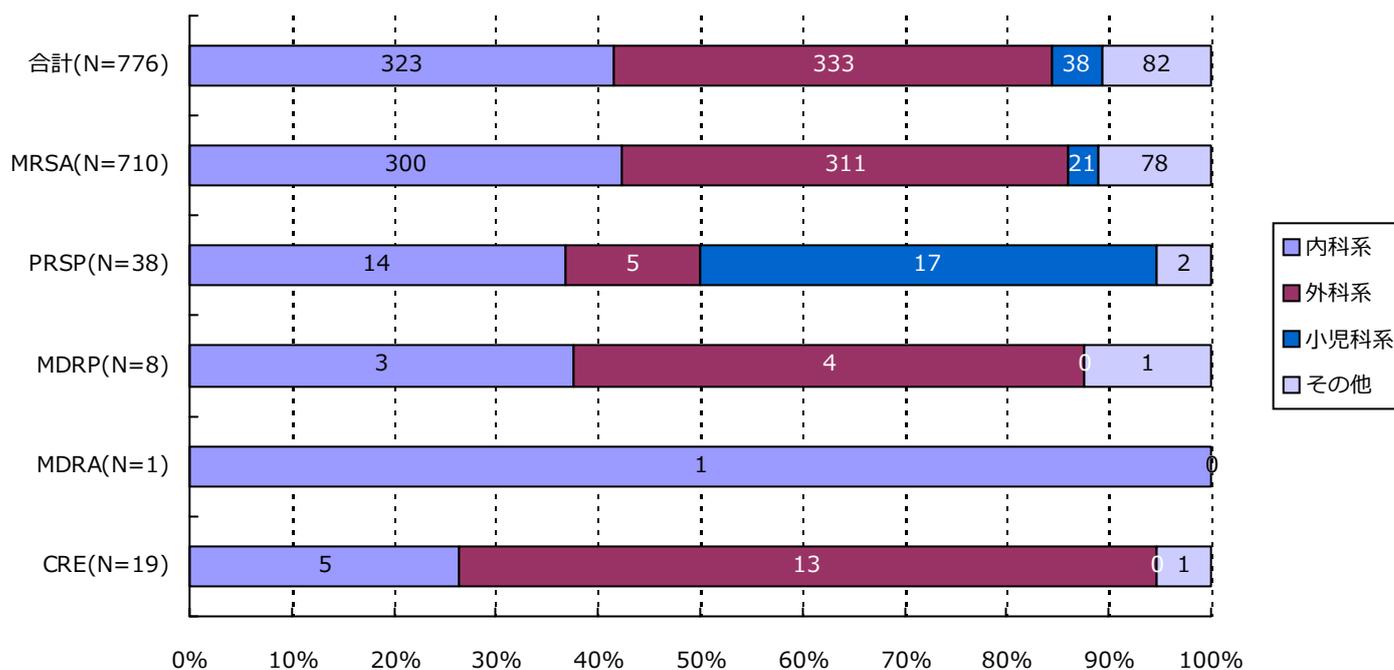
(千葉県)

公開情報 2016年1月~12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	323(41.6%)	300(42.3%)	0(-)	0(-)	14(36.8%)	3(37.5%)	1(100.0%)	5(26.3%)
外科系	333(42.9%)	311(43.8%)	0(-)	0(-)	5(13.2%)	4(50.0%)	0(-)	13(68.4%)
小児科系	38(4.9%)	21(3.0%)	0(-)	0(-)	17(44.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	82(10.6%)	78(11.0%)	0(-)	0(-)	2(5.3%)	1(12.5%)	0(-)	1(5.3%)
合計	776	710	0	0	38	8	1	19

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

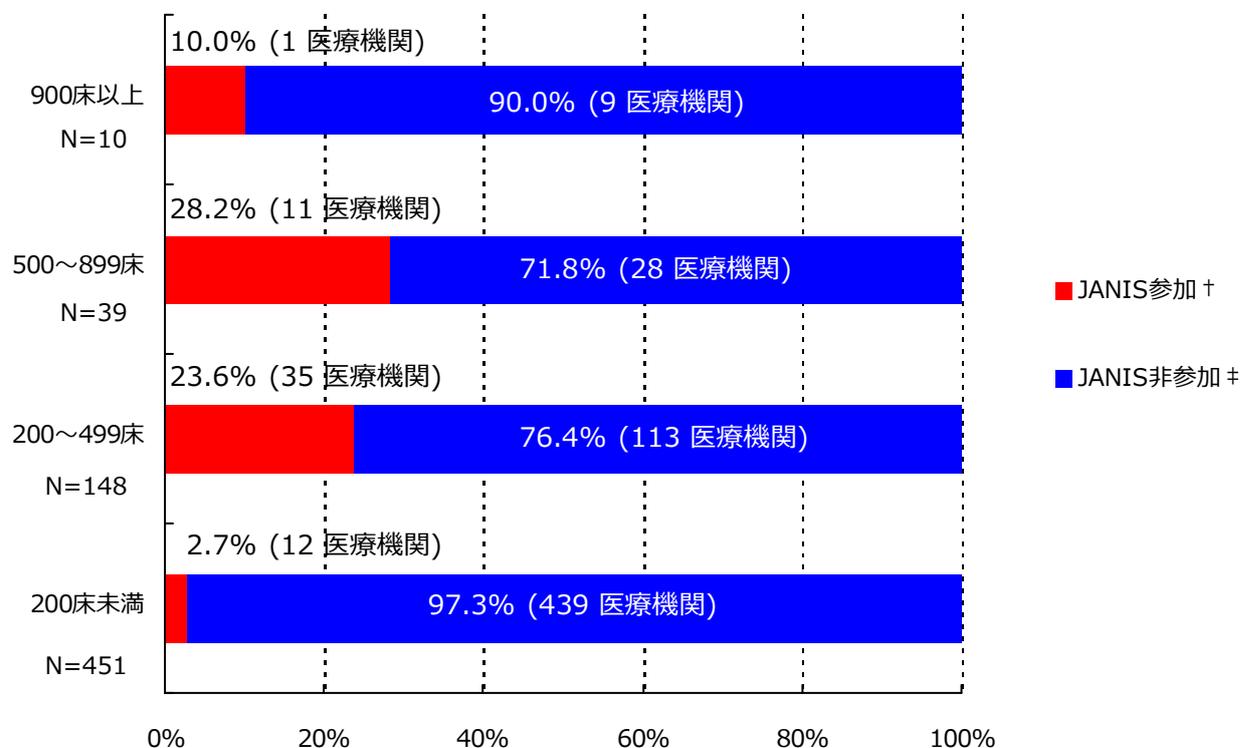
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(59医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	10	1 (10%)
500～899床	39	11 (28.2%)
200～499床	148	35 (23.6%)
200床未満	451	12 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	648	59 (9.1%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(東京都)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

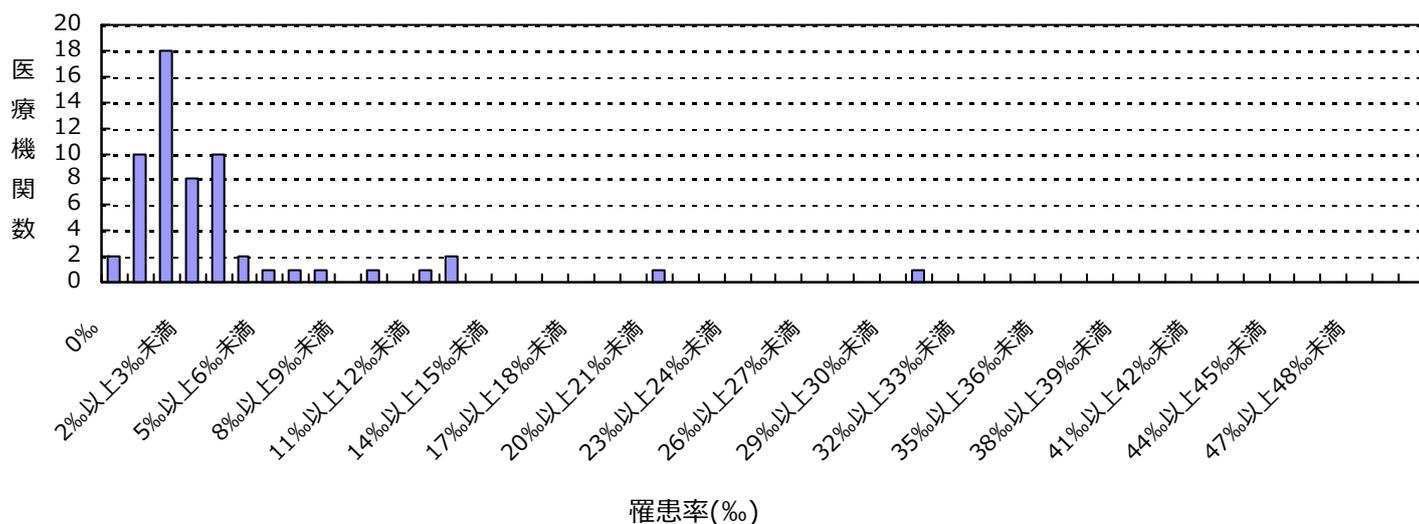


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	439,037	31	1,064	2.42%	0.00 1.84 30.10 -----

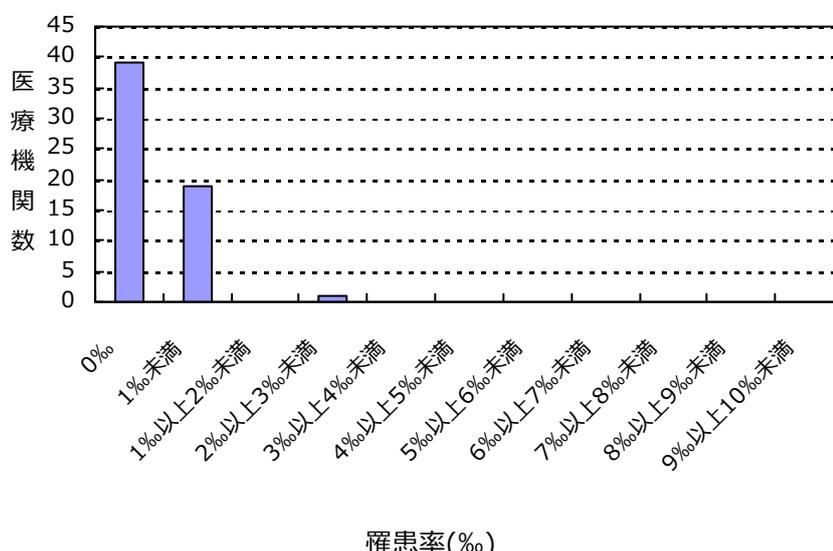
集計対象医療機関の罹患率(N=59)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	439,037	0	55	0.13%	0.00 0.00 2.11 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=59)



(東京都)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

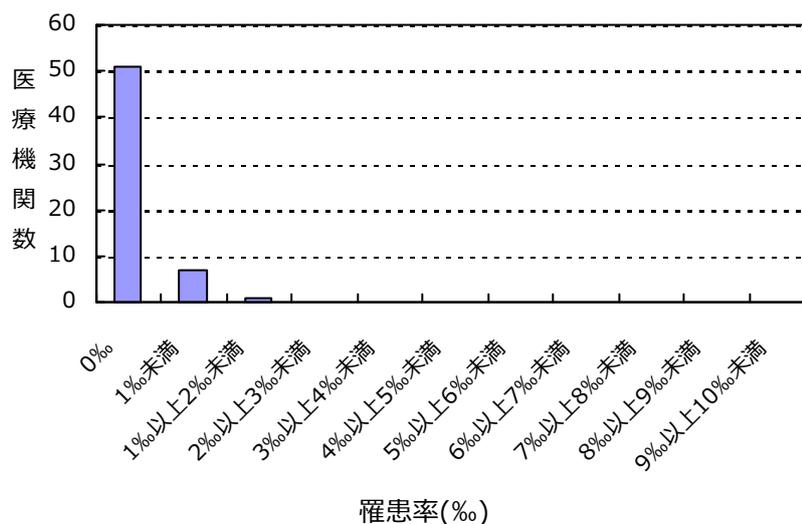


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	439,037	0	16	0.04%	0.00 0.00 1.94

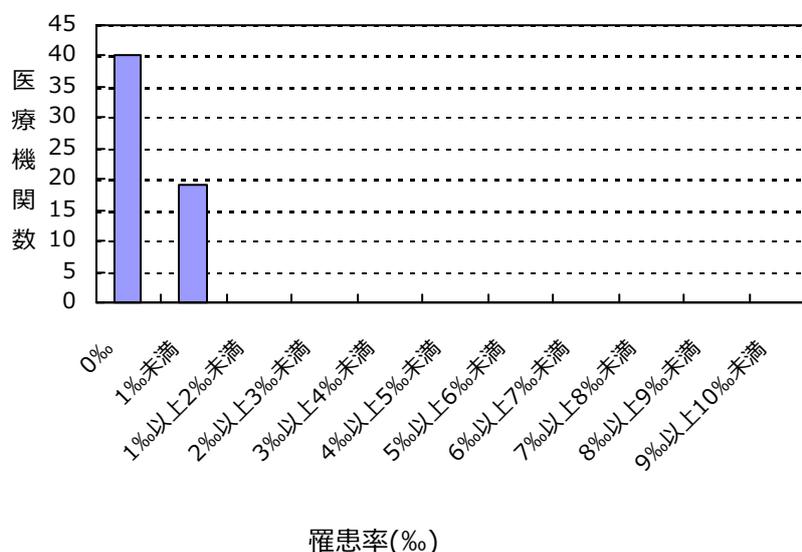
集計対象医療機関の罹患率(N=59)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	439,037	1	44	0.10%	0.00 0.00 0.64

集計対象医療機関の罹患率(N=59)



(東京都)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

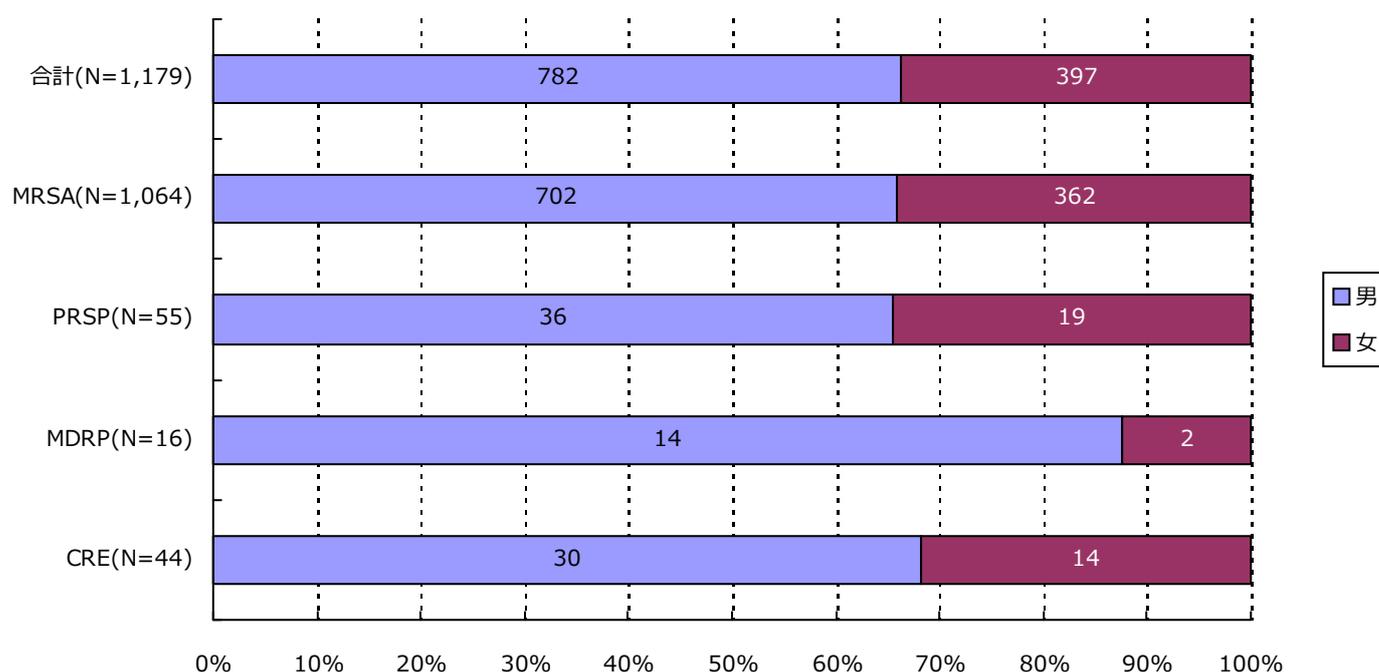
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

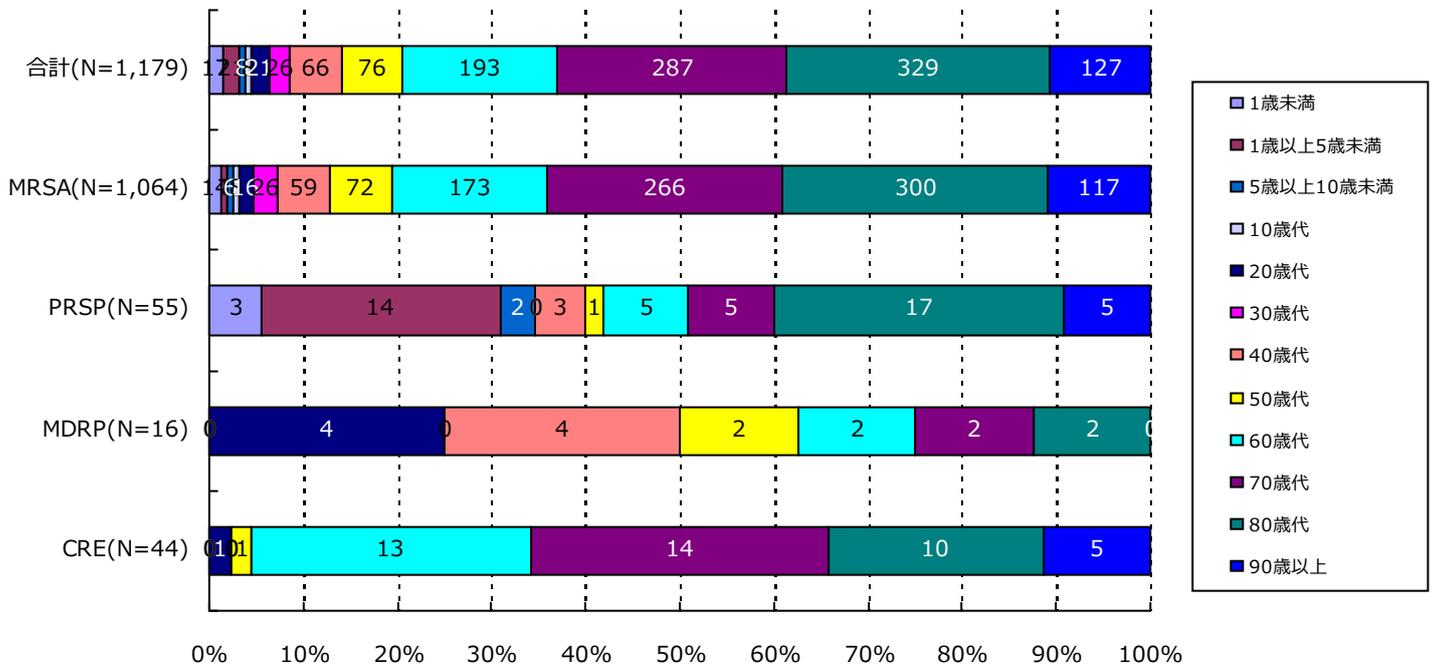
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	782 (66.3%)	702 (66.0%)	0 (-)	0 (-)	36 (65.5%)	14 (87.5%)	0 (-)	30 (68.2%)
女	397 (33.7%)	362 (34.0%)	0 (-)	0 (-)	19 (34.5%)	2 (12.5%)	0 (-)	14 (31.8%)
合計	1,179	1,064	0	0	55	16	0	44

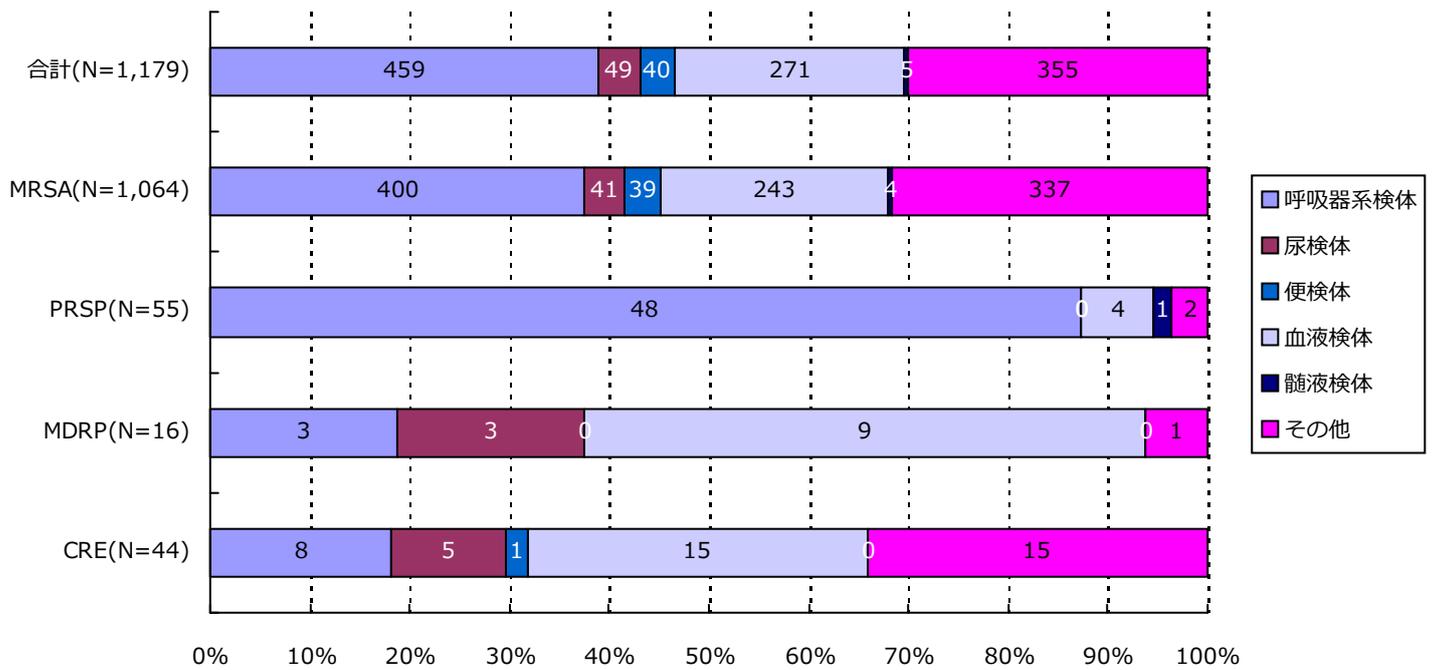


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	17(1.4%)	14(1.3%)	0(-)	0(-)	3(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	21(1.8%)	7(0.7%)	0(-)	0(-)	14(25.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	8(0.7%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	2(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	8(0.7%)	8(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	21(1.8%)	16(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(25.0%)	0(-)	1(2.3%)
30歳代	26(2.2%)	26(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	66(5.6%)	59(5.5%)	0(-)	0(-)	3(5.5%)	4(25.0%)	0(-)	0(-)
50歳代	76(6.4%)	72(6.8%)	0(-)	0(-)	1(1.8%)	2(12.5%)	0(-)	1(2.3%)
60歳代	193(16.4%)	173(16.3%)	0(-)	0(-)	5(9.1%)	2(12.5%)	0(-)	13(29.5%)
70歳代	287(24.3%)	266(25.0%)	0(-)	0(-)	5(9.1%)	2(12.5%)	0(-)	14(31.8%)
80歳代	329(27.9%)	300(28.2%)	0(-)	0(-)	17(30.9%)	2(12.5%)	0(-)	10(22.7%)
90歳以上	127(10.8%)	117(11.0%)	0(-)	0(-)	5(9.1%)	0(-)	0(-)	5(11.4%)
合計	1,179	1,064	0	0	55	16	0	44

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	459(38.9%)	400(37.6%)	0(-)	0(-)	48(87.3%)	3(18.8%)	0(-)	8(18.2%)
尿検体	49(4.2%)	41(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(18.8%)	0(-)	5(11.4%)
便検体	40(3.4%)	39(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.3%)
血液検体	271(23.0%)	243(22.8%)	0(-)	0(-)	4(7.3%)	9(56.3%)	0(-)	15(34.1%)
髄液検体	5(0.4%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	1(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	355(30.1%)	337(31.7%)	0(-)	0(-)	2(3.6%)	1(6.3%)	0(-)	15(34.1%)
合計	1,179	1,064	0	0	55	16	0	44

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

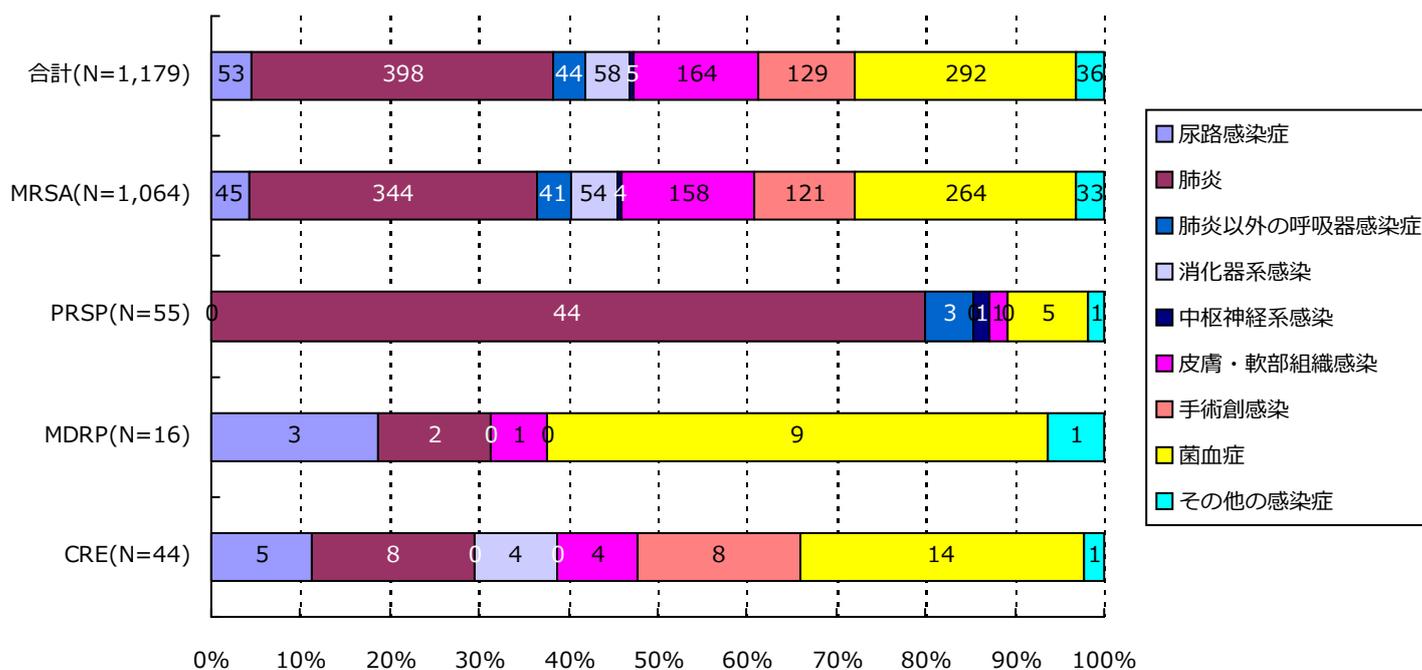
(東京都)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

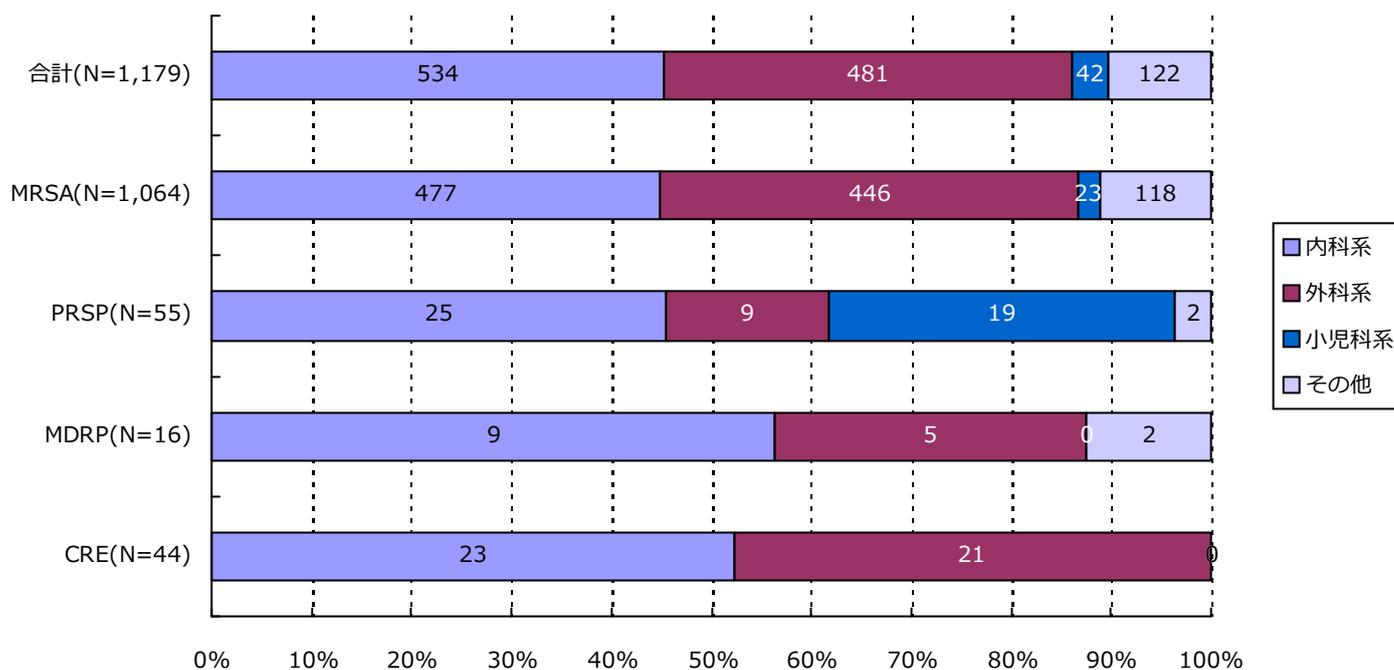


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	53(4.5%)	45(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(18.8%)	0(-)	5(11.4%)
肺炎	398(33.8%)	344(32.3%)	0(-)	0(-)	44(80.0%)	2(12.5%)	0(-)	8(18.2%)
肺炎以外	44(3.7%)	41(3.9%)	0(-)	0(-)	3(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	58(4.9%)	54(5.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(9.1%)
中枢神経系	5(0.4%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	1(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	164(13.9%)	158(14.8%)	0(-)	0(-)	1(1.8%)	1(6.3%)	0(-)	4(9.1%)
手術創	129(10.9%)	121(11.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(18.2%)
菌血症	292(24.8%)	264(24.8%)	0(-)	0(-)	5(9.1%)	9(56.3%)	0(-)	14(31.8%)
その他	36(3.1%)	33(3.1%)	0(-)	0(-)	1(1.8%)	1(6.3%)	0(-)	1(2.3%)
合計	1,179	1,064	0	0	55	16	0	44

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	534(45.3%)	477(44.8%)	0(-)	0(-)	25(45.5%)	9(56.3%)	0(-)	23(52.3%)
外科系	481(40.8%)	446(41.9%)	0(-)	0(-)	9(16.4%)	5(31.3%)	0(-)	21(47.7%)
小児科系	42(3.6%)	23(2.2%)	0(-)	0(-)	19(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	122(10.3%)	118(11.1%)	0(-)	0(-)	2(3.6%)	2(12.5%)	0(-)	0(-)
合計	1,179	1,064	0	0	55	16	0	44

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

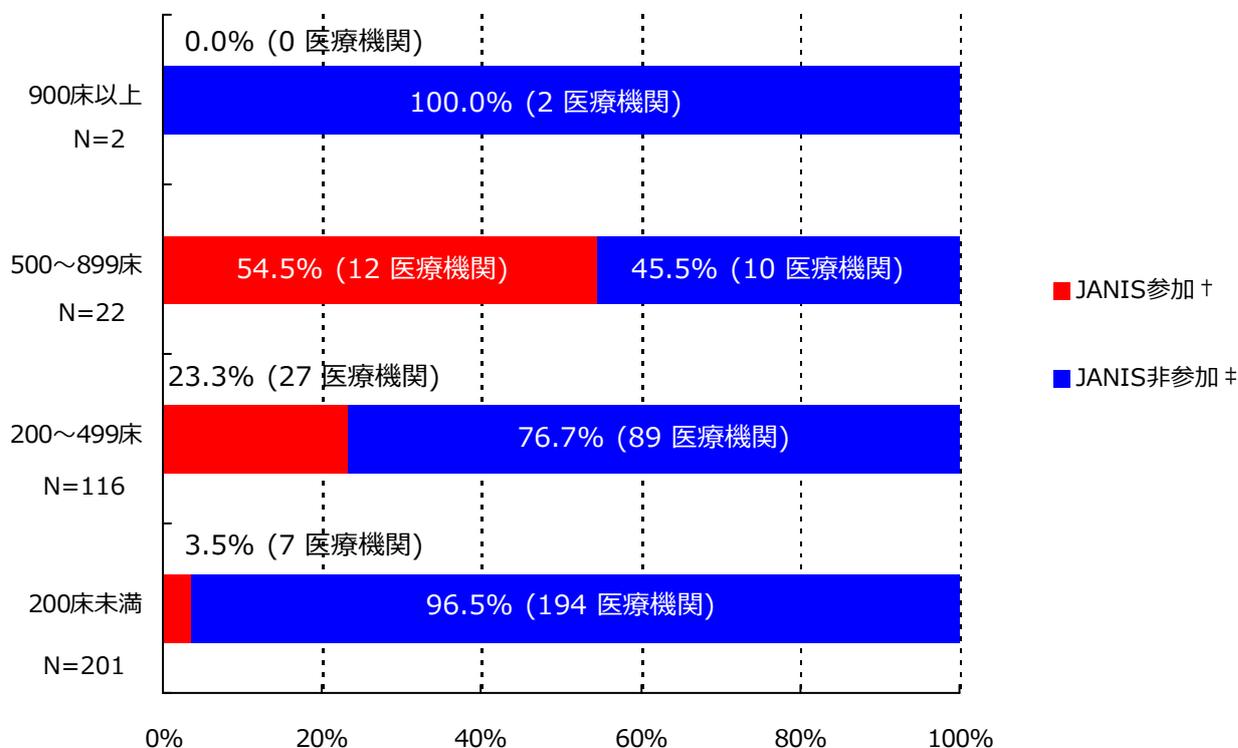
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠

[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(46医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0%)
500～899床	22	12 (54.5%)
200～499床	116	27 (23.3%)
200床未満	201	7 (3.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	341	46 (13.5%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(神奈川県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

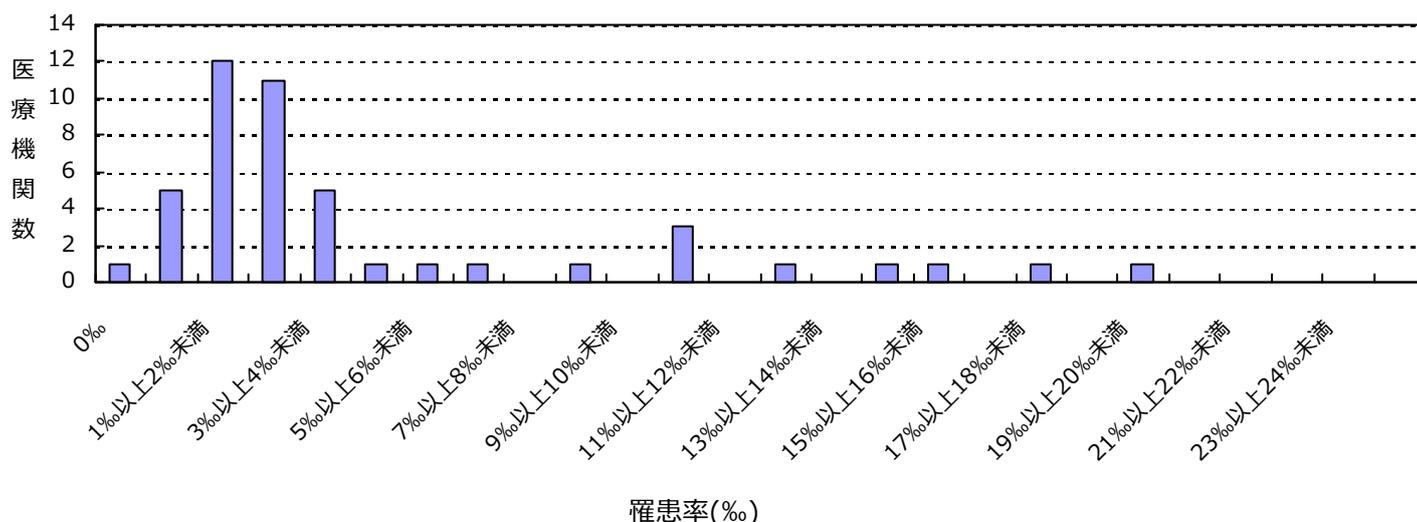


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	366,787	16	1,154	3.15%	0.00 2.37 19.09

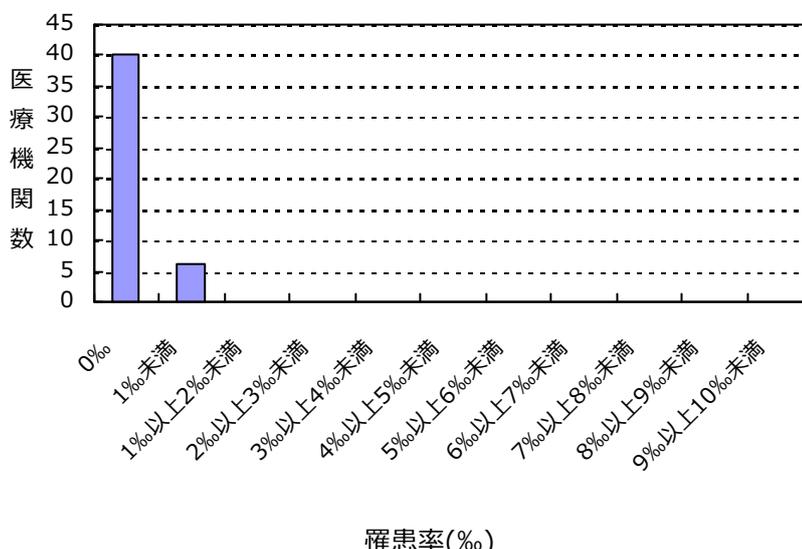
集計対象医療機関の罹患率(N=46)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	366,787	0	7	0.02%	0.00 0.00 0.37

集計対象医療機関の罹患率(N=46)

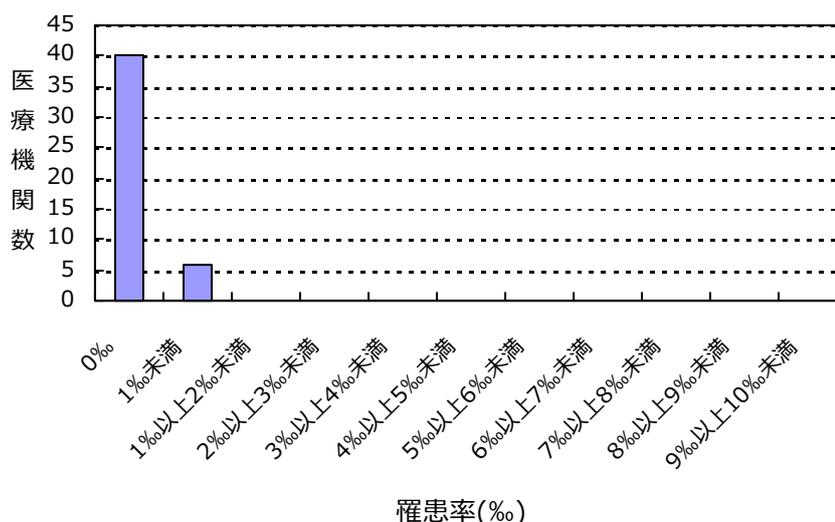


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	366,787	0	16	0.04%	0.00 0.00 0.74

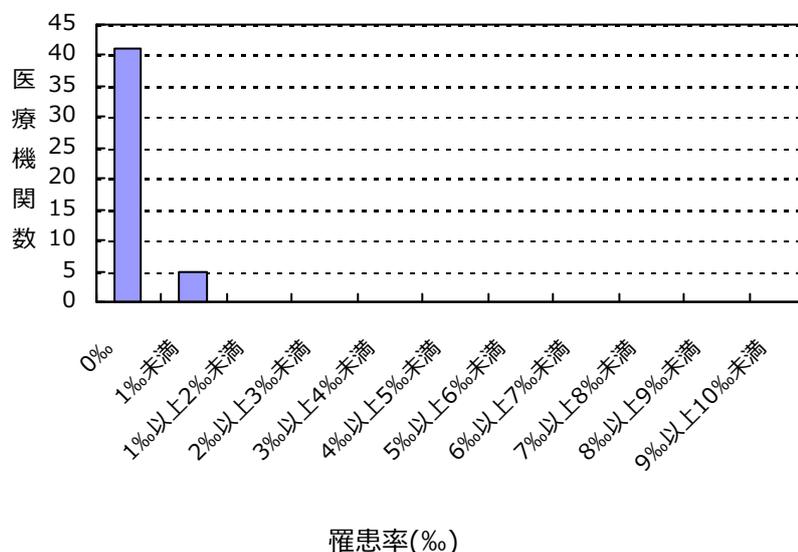
集計対象医療機関の罹患率(N=46)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	366,787	1	5	0.01%	0.00 0.00 0.30

集計対象医療機関の罹患率(N=46)



(神奈川県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

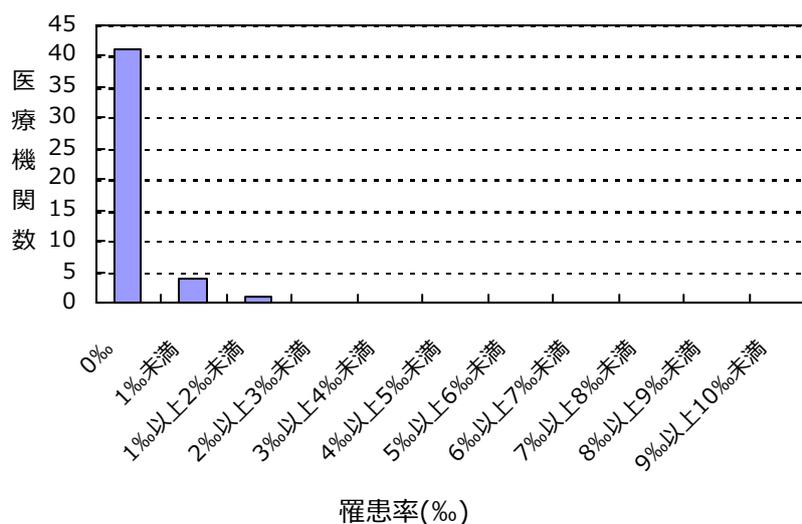


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	366,787	0	24	0.07%	0.00 0.00 1.11 H

集計対象医療機関の罹患率(N=46)



(神奈川県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

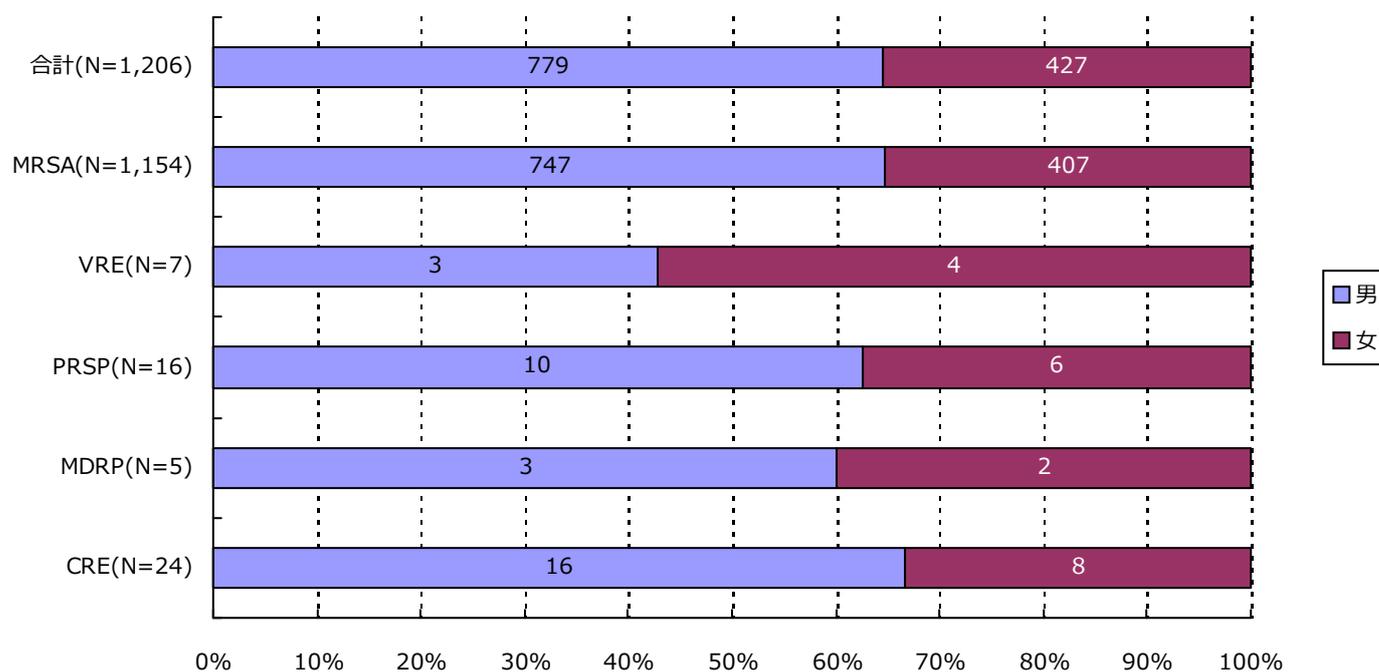
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

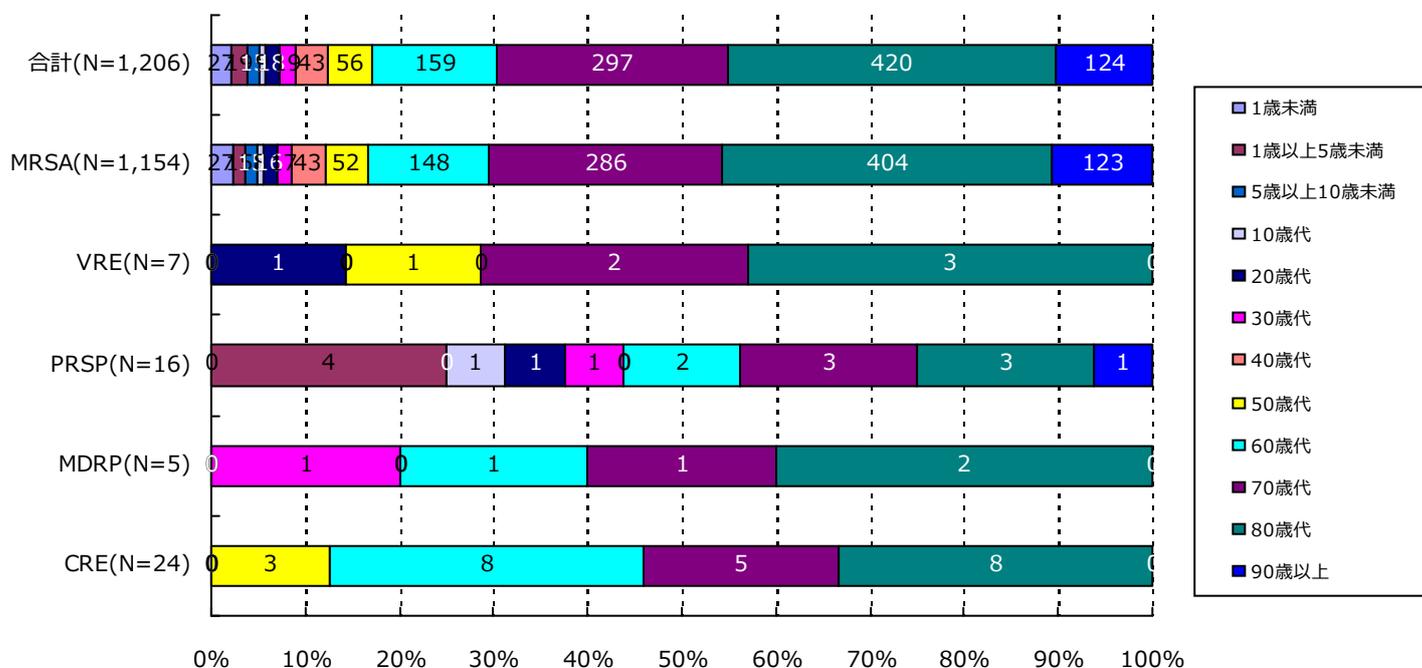
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



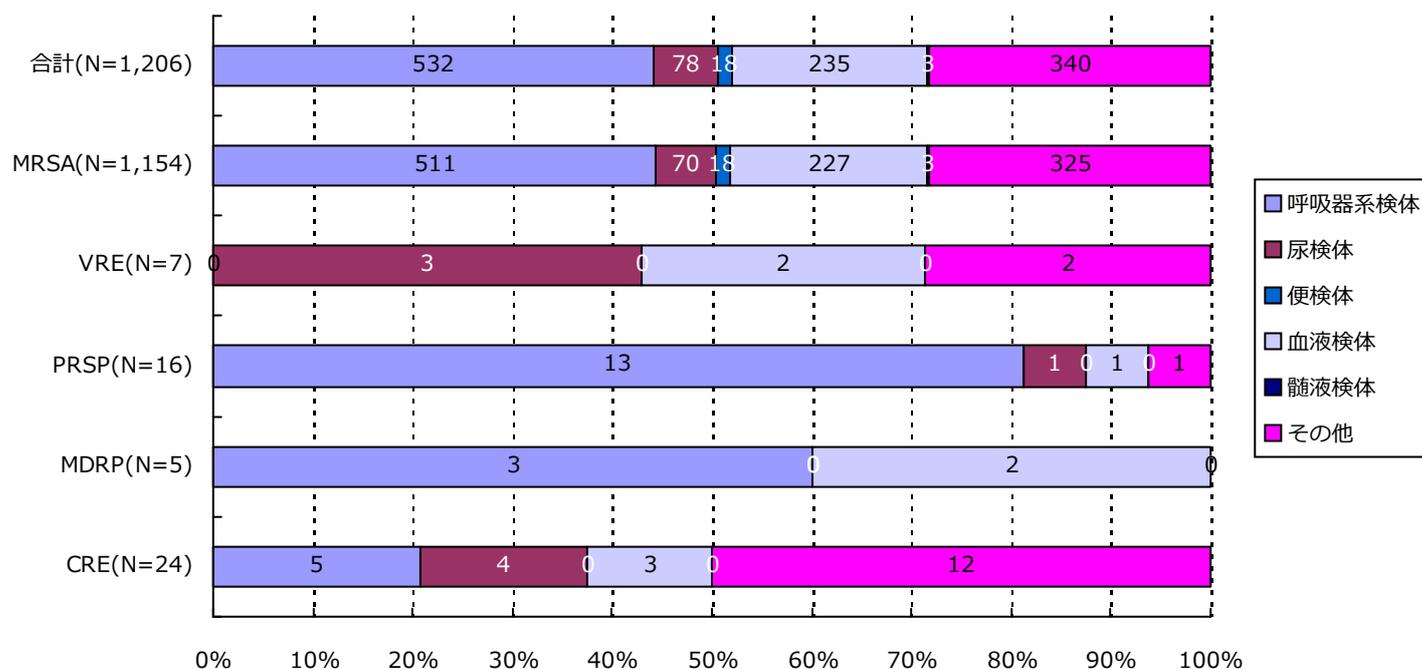
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	779 (64.6%)	747 (64.7%)	0 (-)	3 (42.9%)	10 (62.5%)	3 (60.0%)	0 (-)	16 (66.7%)
女	427 (35.4%)	407 (35.3%)	0 (-)	4 (57.1%)	6 (37.5%)	2 (40.0%)	0 (-)	8 (33.3%)
合計	1,206	1,154	0	7	16	5	0	24

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	27(2.2%)	27(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	19(1.6%)	15(1.3%)	0(-)	0(-)	4(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	15(1.2%)	15(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	9(0.7%)	8(0.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	18(1.5%)	16(1.4%)	0(-)	1(14.3%)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	19(1.6%)	17(1.5%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	1(20.0%)	0(-)	0(-)
40歳代	43(3.6%)	43(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	56(4.6%)	52(4.5%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(12.5%)
60歳代	159(13.2%)	148(12.8%)	0(-)	0(-)	2(12.5%)	1(20.0%)	0(-)	8(33.3%)
70歳代	297(24.6%)	286(24.8%)	0(-)	2(28.6%)	3(18.8%)	1(20.0%)	0(-)	5(20.8%)
80歳代	420(34.8%)	404(35.0%)	0(-)	3(42.9%)	3(18.8%)	2(40.0%)	0(-)	8(33.3%)
90歳以上	124(10.3%)	123(10.7%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,206	1,154	0	7	16	5	0	24

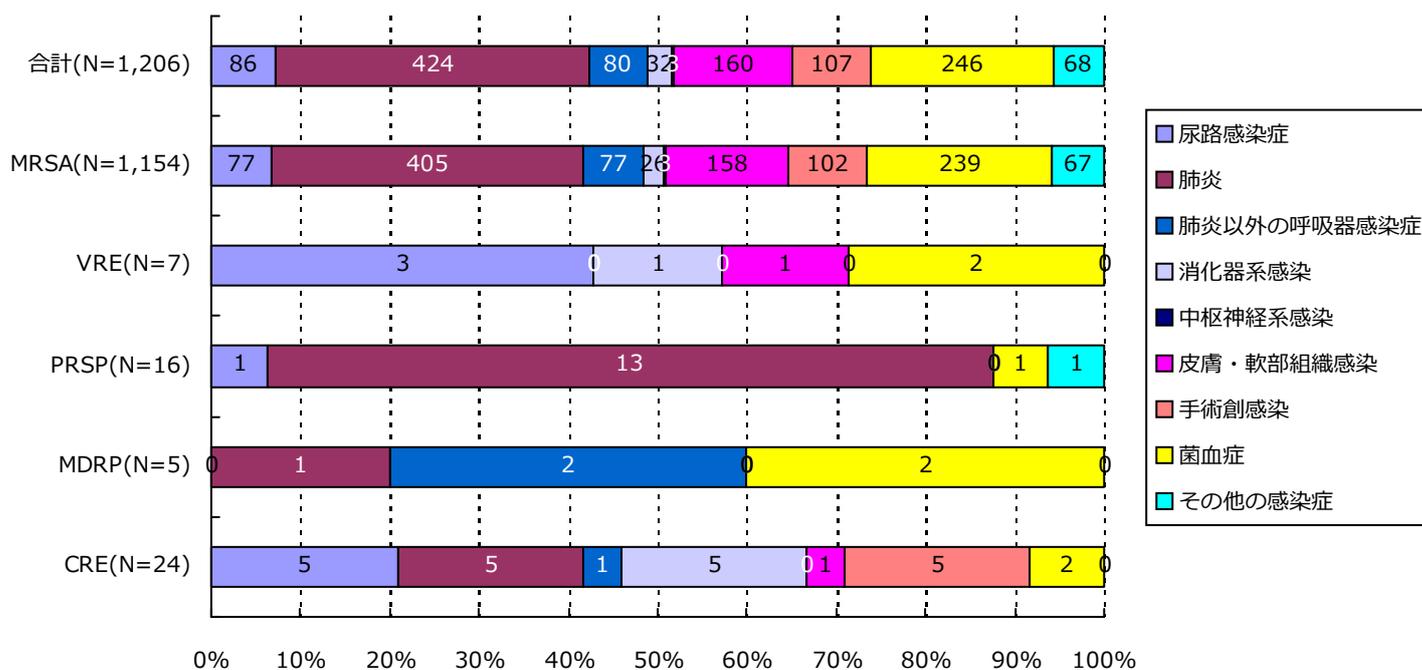
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	532(44.1%)	511(44.3%)	0(-)	0(-)	13(81.3%)	3(60.0%)	0(-)	5(20.8%)
尿検体	78(6.5%)	70(6.1%)	0(-)	3(42.9%)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	4(16.7%)
便検体	18(1.5%)	18(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	235(19.5%)	227(19.7%)	0(-)	2(28.6%)	1(6.3%)	2(40.0%)	0(-)	3(12.5%)
髄液検体	3(0.2%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	340(28.2%)	325(28.2%)	0(-)	2(28.6%)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	12(50.0%)
合計	1,206	1,154	0	7	16	5	0	24

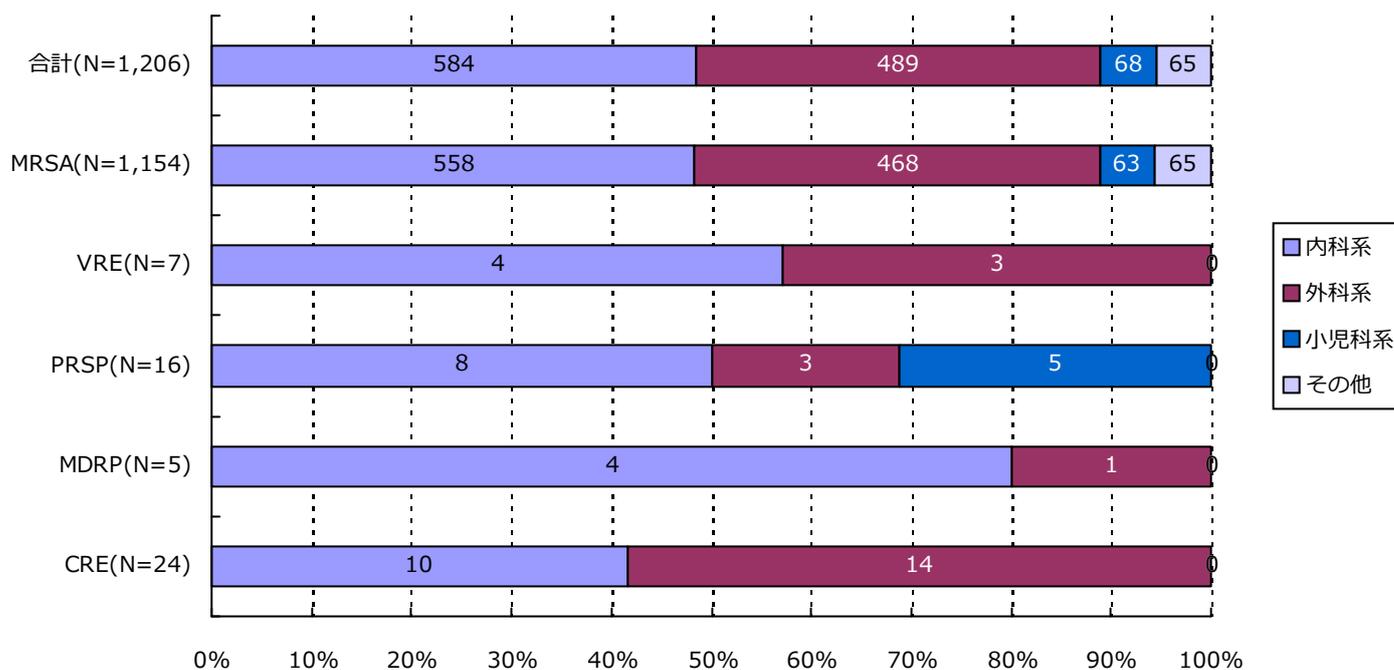
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	86(7.1%)	77(6.7%)	0(-)	3(42.9%)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	5(20.8%)
肺炎	424(35.2%)	405(35.1%)	0(-)	0(-)	13(81.3%)	1(20.0%)	0(-)	5(20.8%)
肺炎以外	80(6.6%)	77(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	1(4.2%)
消化器系	32(2.7%)	26(2.3%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(20.8%)
中枢神経系	3(0.2%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	160(13.3%)	158(13.7%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.2%)
手術創	107(8.9%)	102(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(20.8%)
菌血症	246(20.4%)	239(20.7%)	0(-)	2(28.6%)	1(6.3%)	2(40.0%)	0(-)	2(8.3%)
その他	68(5.6%)	67(5.8%)	0(-)	0(-)	1(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,206	1,154	0	7	16	5	0	24

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	584(48.4%)	558(48.4%)	0(-)	4(57.1%)	8(50.0%)	4(80.0%)	0(-)	10(41.7%)
外科系	489(40.5%)	468(40.6%)	0(-)	3(42.9%)	3(18.8%)	1(20.0%)	0(-)	14(58.3%)
小児科系	68(5.6%)	63(5.5%)	0(-)	0(-)	5(31.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	65(5.4%)	65(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,206	1,154	0	7	16	5	0	24

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

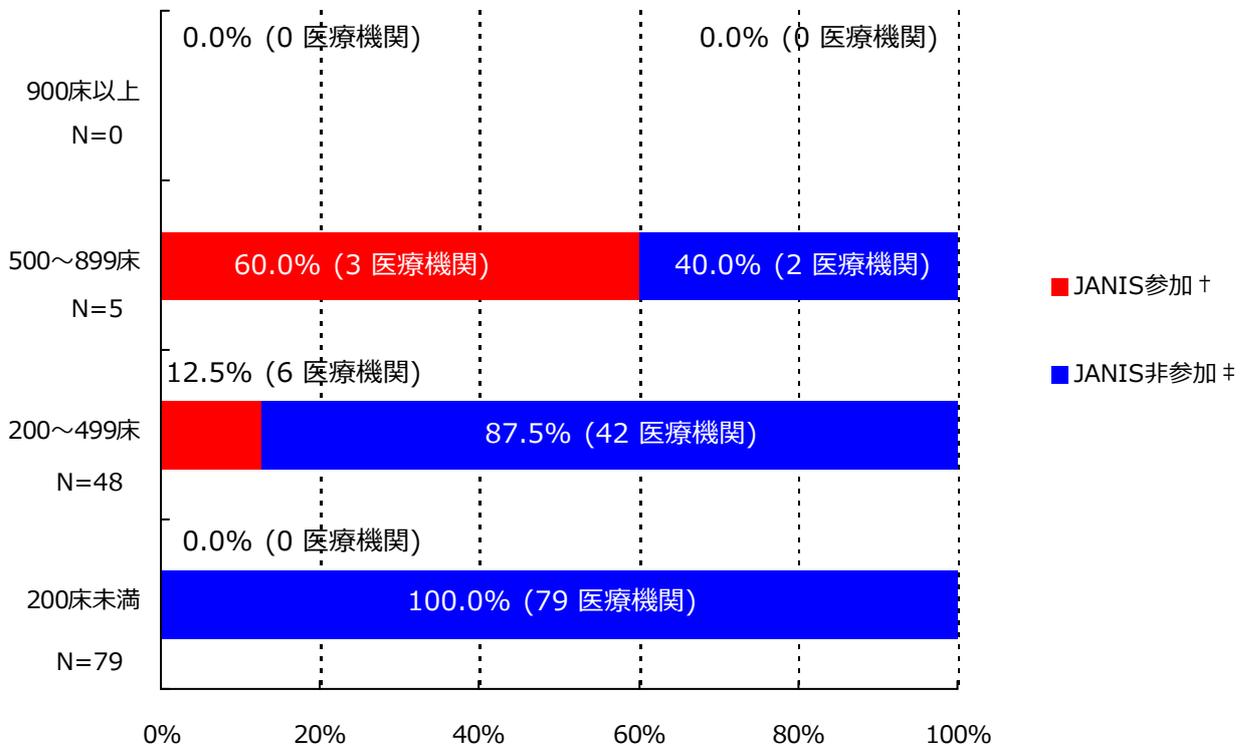
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(9医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	5	3 (60%)
200～499床	48	6 (12.5%)
200床未満	79	0 (0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	132	9 (6.8%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(新潟県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

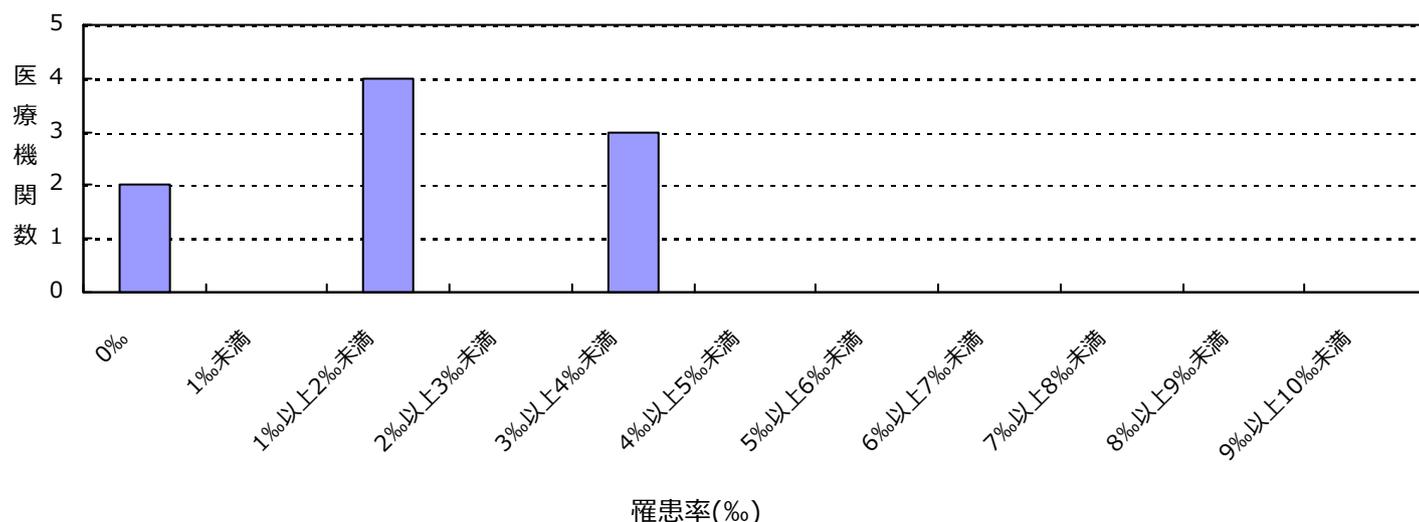


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	74,517	5	171	2.29%	0.00 1.54 3.72

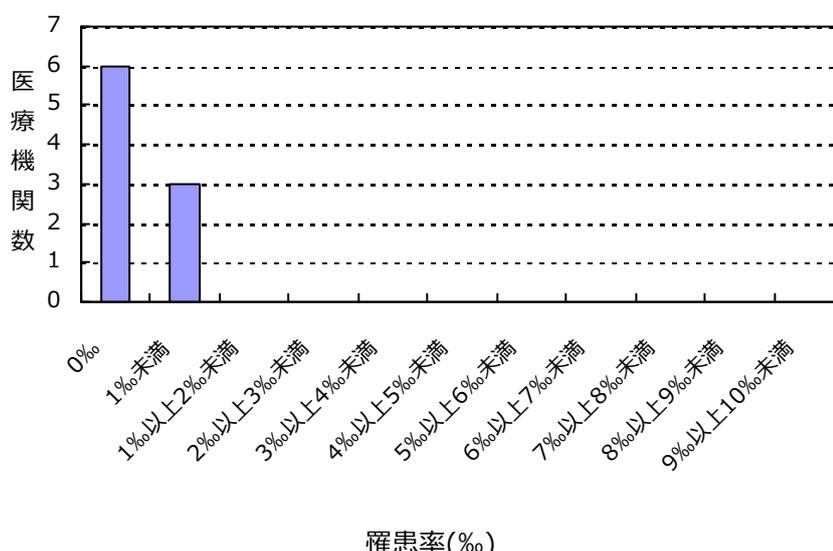
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	74,517	0	8	0.11%	0.00 0.00 0.28

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

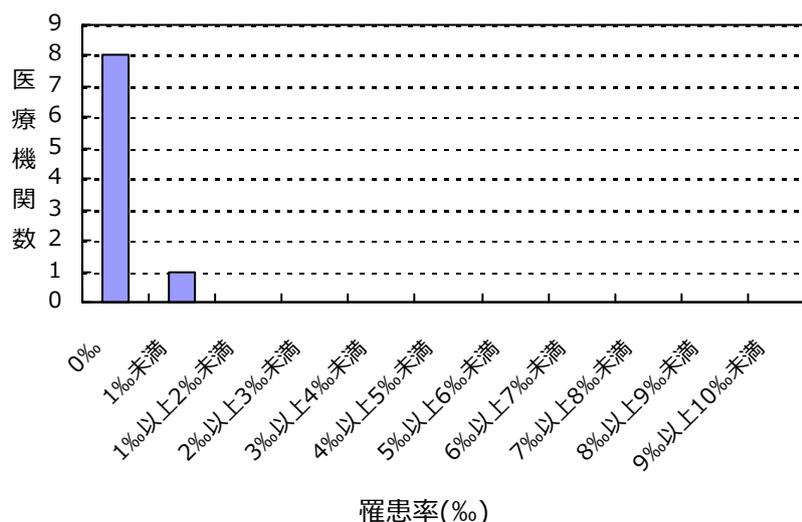


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	74,517	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.09

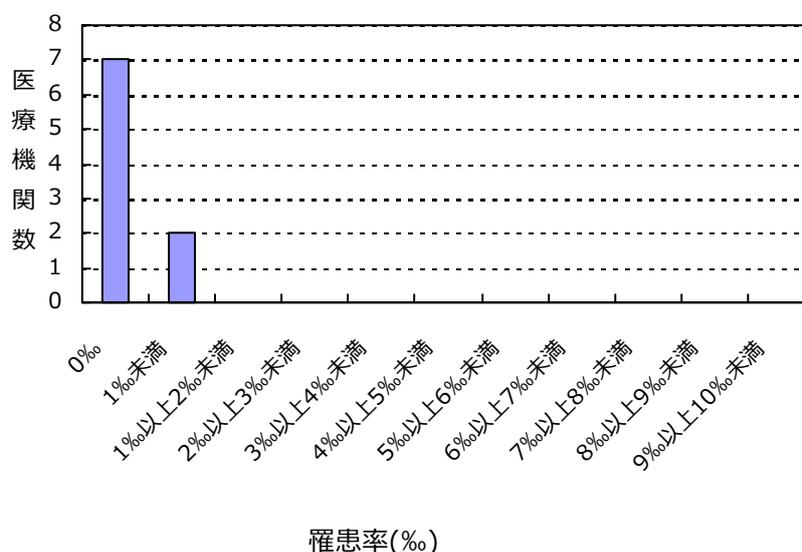
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	74,517	0	4	0.05%	0.00 0.00 0.21

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

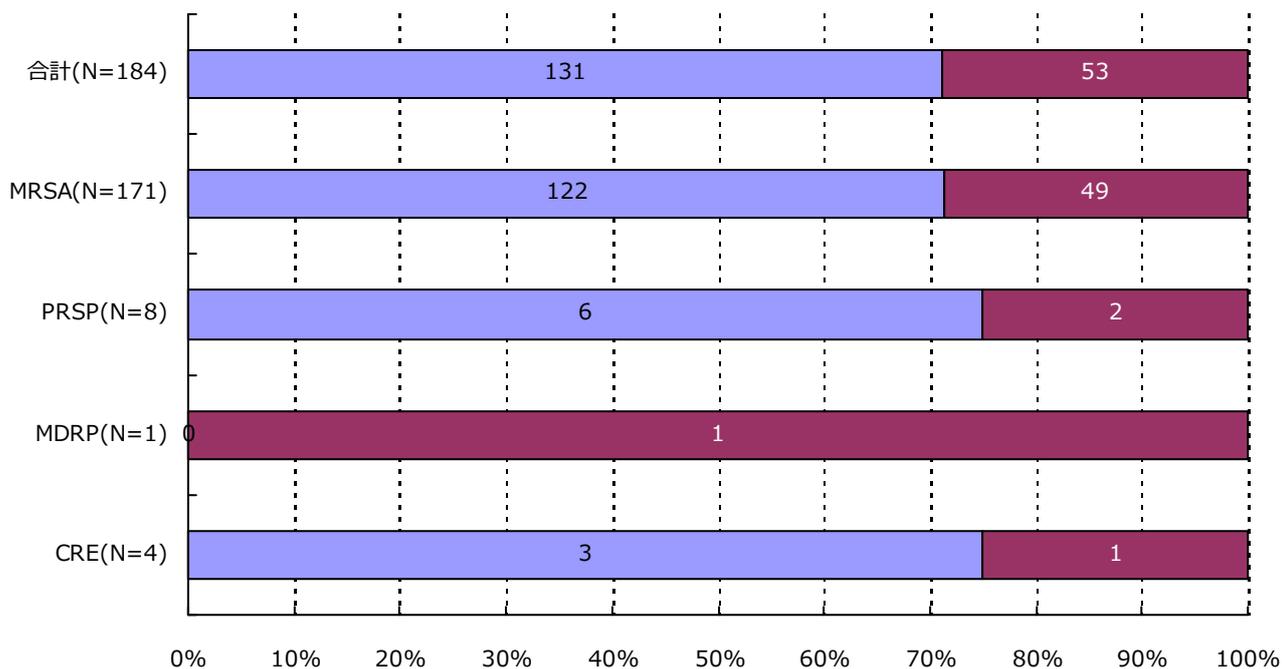
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	131 (71.2%)	122 (71.3%)	0 (-)	0 (-)	6 (75.0%)	0 (-)	0 (-)	3 (75.0%)
女	53 (28.8%)	49 (28.7%)	0 (-)	0 (-)	2 (25.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (25.0%)
合計	184	171	0	0	8	1	0	4

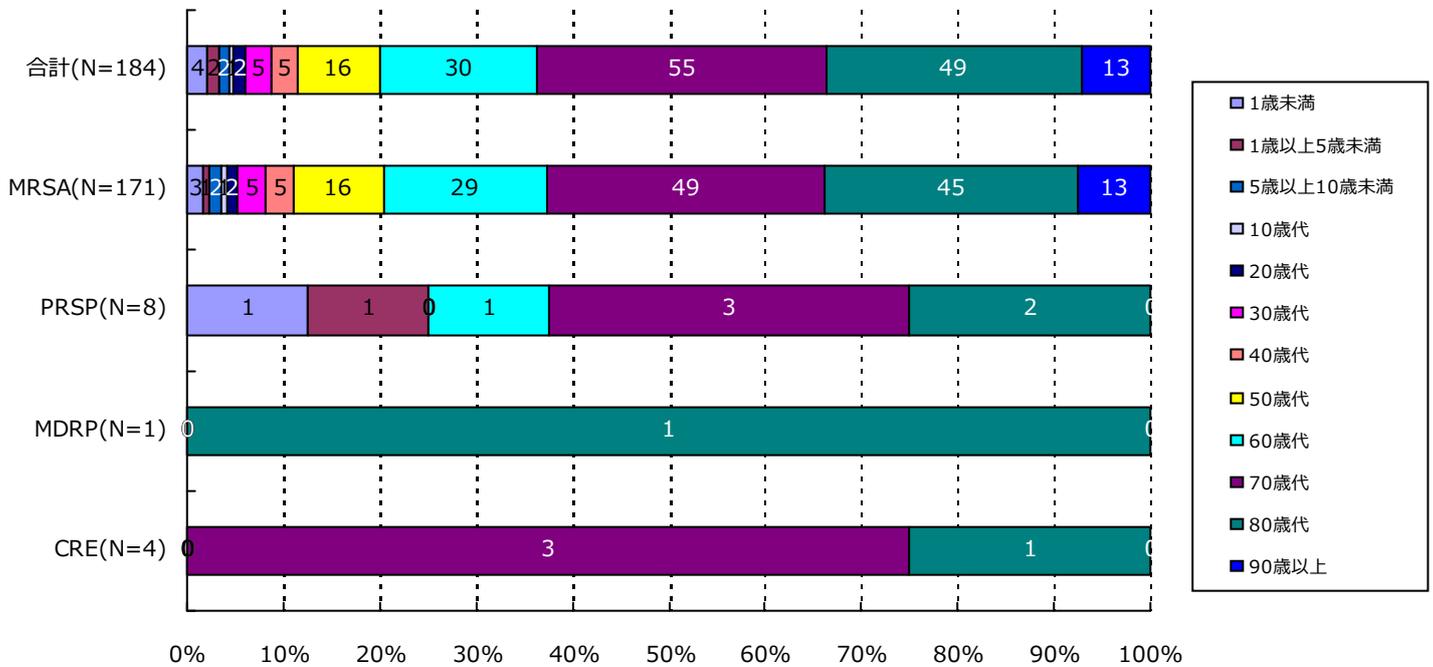
(新潟県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

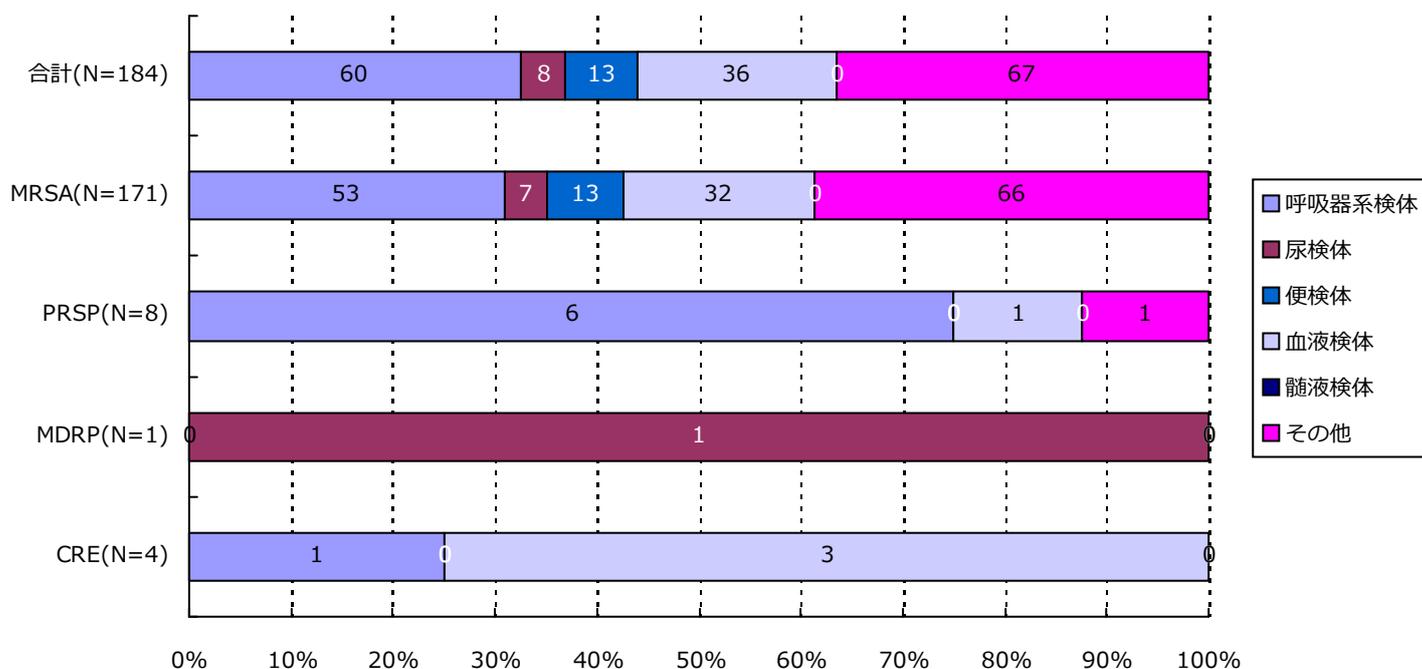


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(2.2%)	3(1.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.1%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(2.7%)	5(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(2.7%)	5(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	16(8.7%)	16(9.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	30(16.3%)	29(17.0%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	55(29.9%)	49(28.7%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
80歳代	49(26.6%)	45(26.3%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
90歳以上	13(7.1%)	13(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	184	171	0	0	8	1	0	4

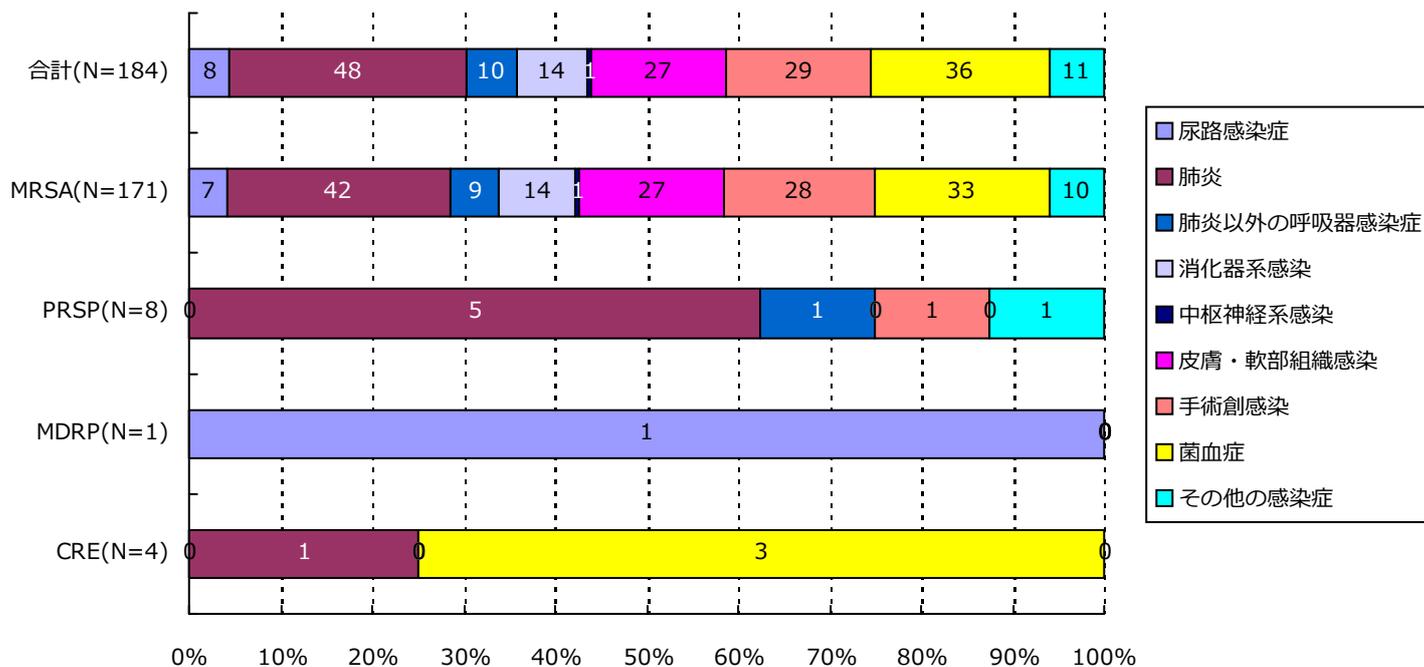
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	60(32.6%)	53(31.0%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
尿検体	8(4.3%)	7(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
便検体	13(7.1%)	13(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	36(19.6%)	32(18.7%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	67(36.4%)	66(38.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	184	171	0	0	8	1	0	4

*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	8(4.3%)	7(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	48(26.1%)	42(24.6%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
肺炎以外	10(5.4%)	9(5.3%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	14(7.6%)	14(8.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	27(14.7%)	27(15.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	29(15.8%)	28(16.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	36(19.6%)	33(19.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
その他	11(6.0%)	10(5.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	184	171	0	0	8	1	0	4

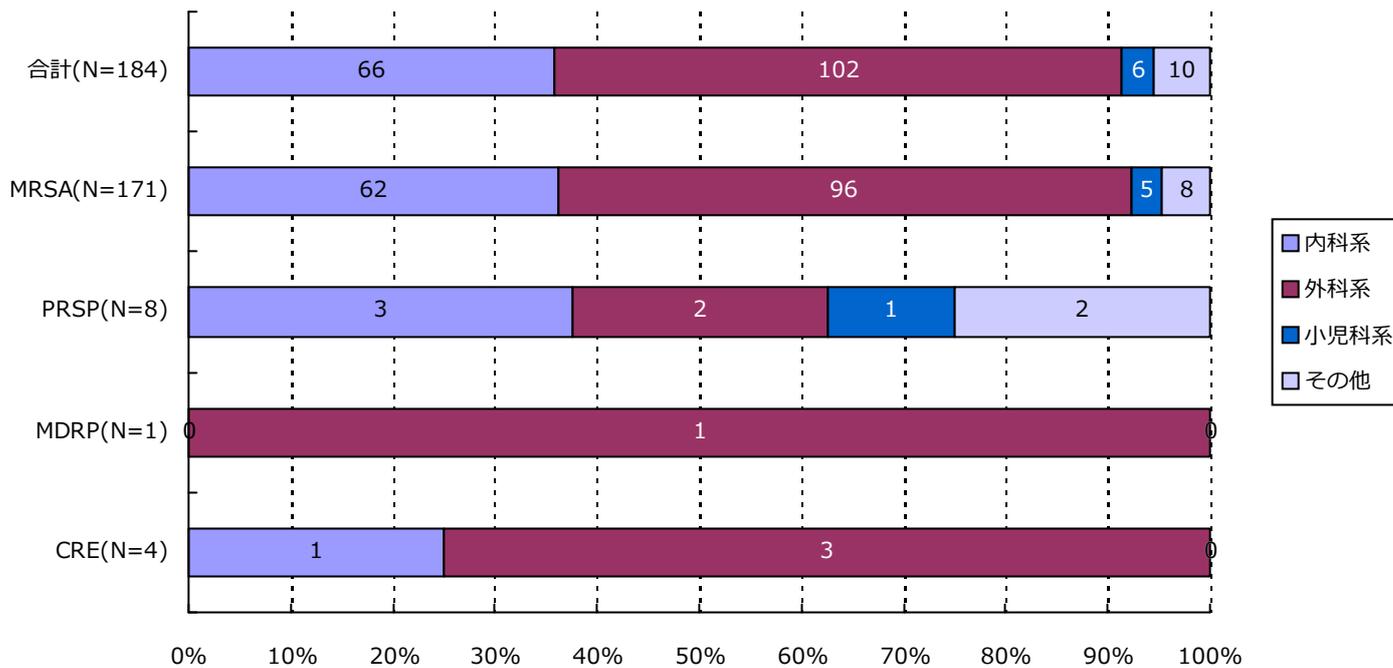
(新潟県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	66(35.9%)	62(36.3%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
外科系	102(55.4%)	96(56.1%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(100.0%)	0(-)	3(75.0%)
小児科系	6(3.3%)	5(2.9%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(5.4%)	8(4.7%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	184	171	0	0	8	1	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他	新生児集中治療部(NICU)			
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

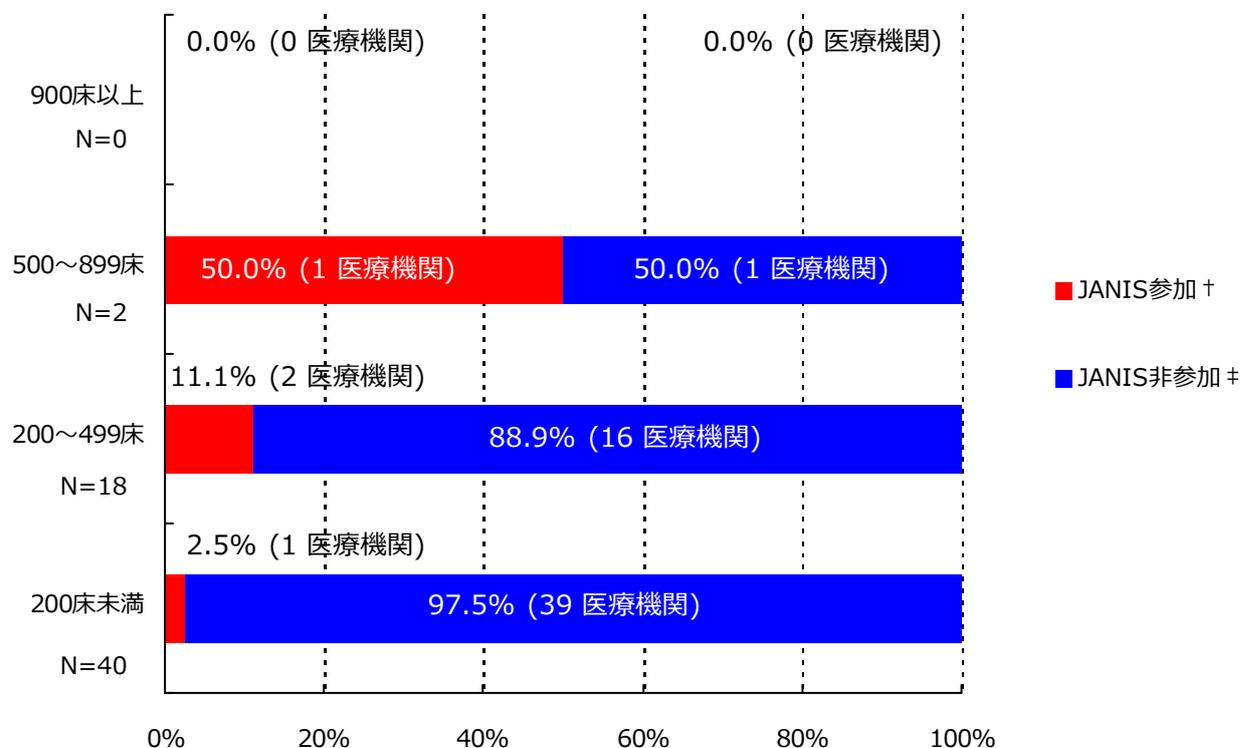
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠

[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(4医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	18	2 (11.1%)
200床未満	40	1 (2.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	60	4 (6.7%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(山梨県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

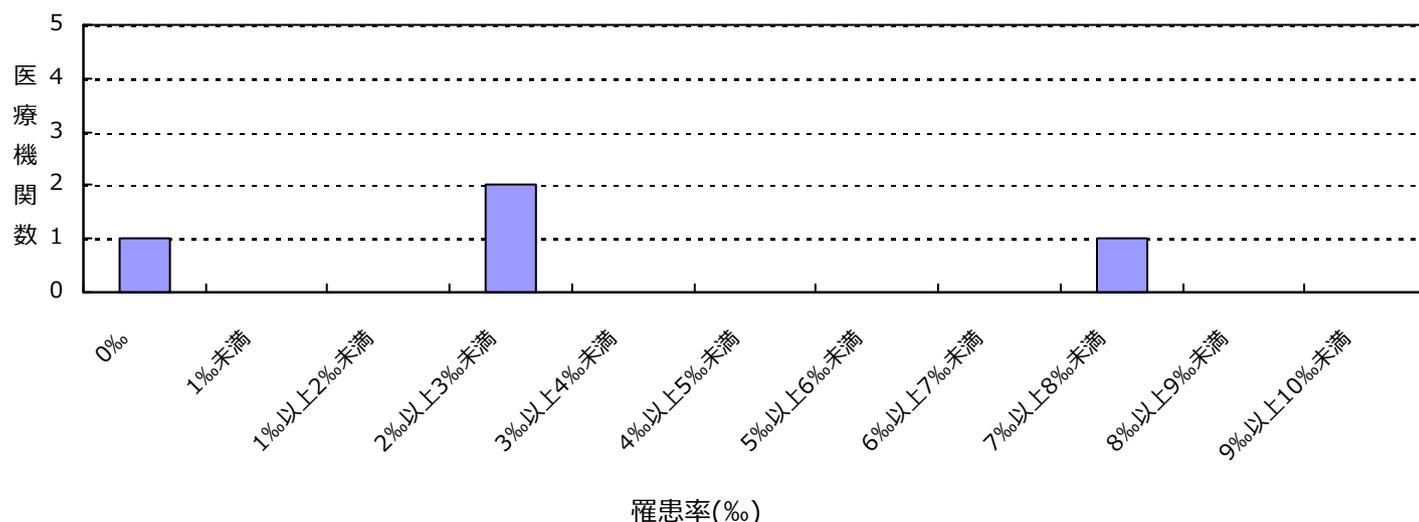


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	25,256	2	86	3.41%	0.00 2.13 7.82

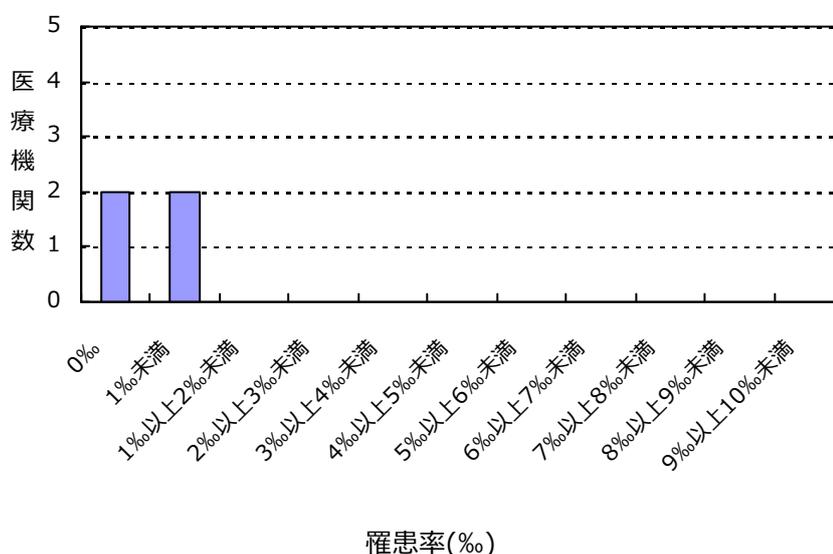
集計対象医療機関の罹患率(N=4)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	25,256	0	5	0.20%	0.00 0.09 0.63

集計対象医療機関の罹患率(N=4)



(山梨県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

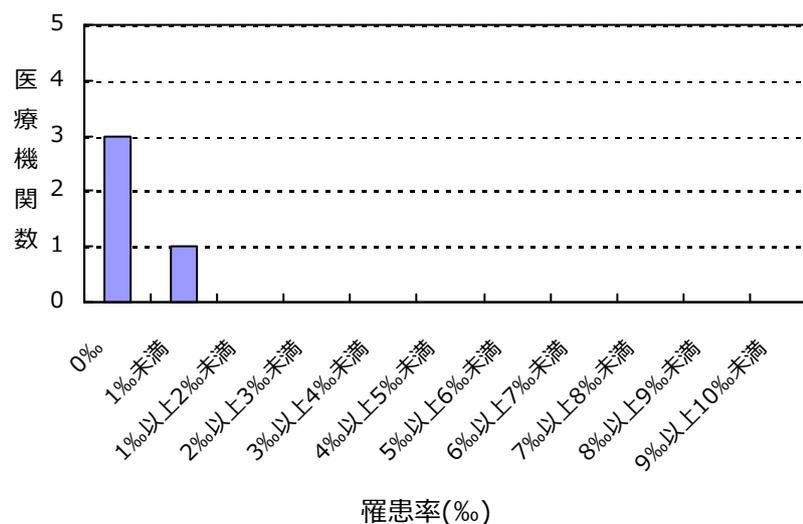


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	25,256	0	1	0.04%	0.00 0.00 0.16

集計対象医療機関の罹患率(N=4)



(山梨県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

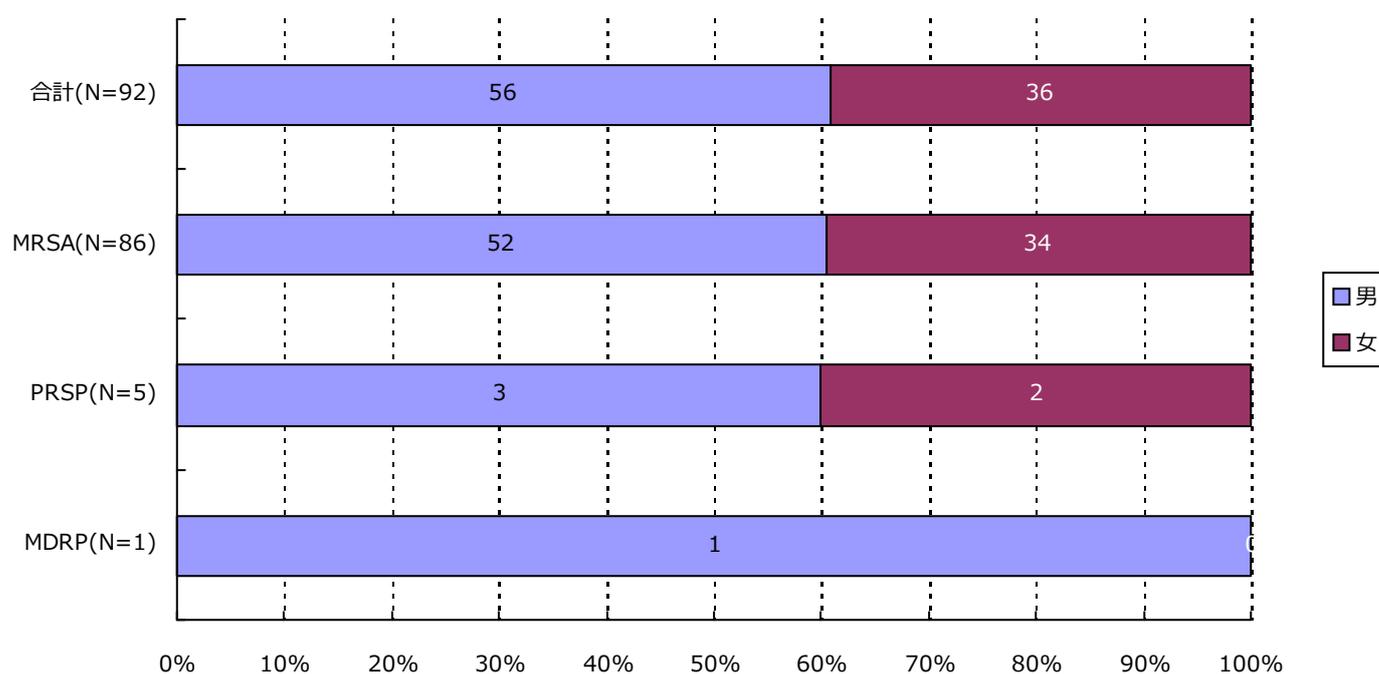
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

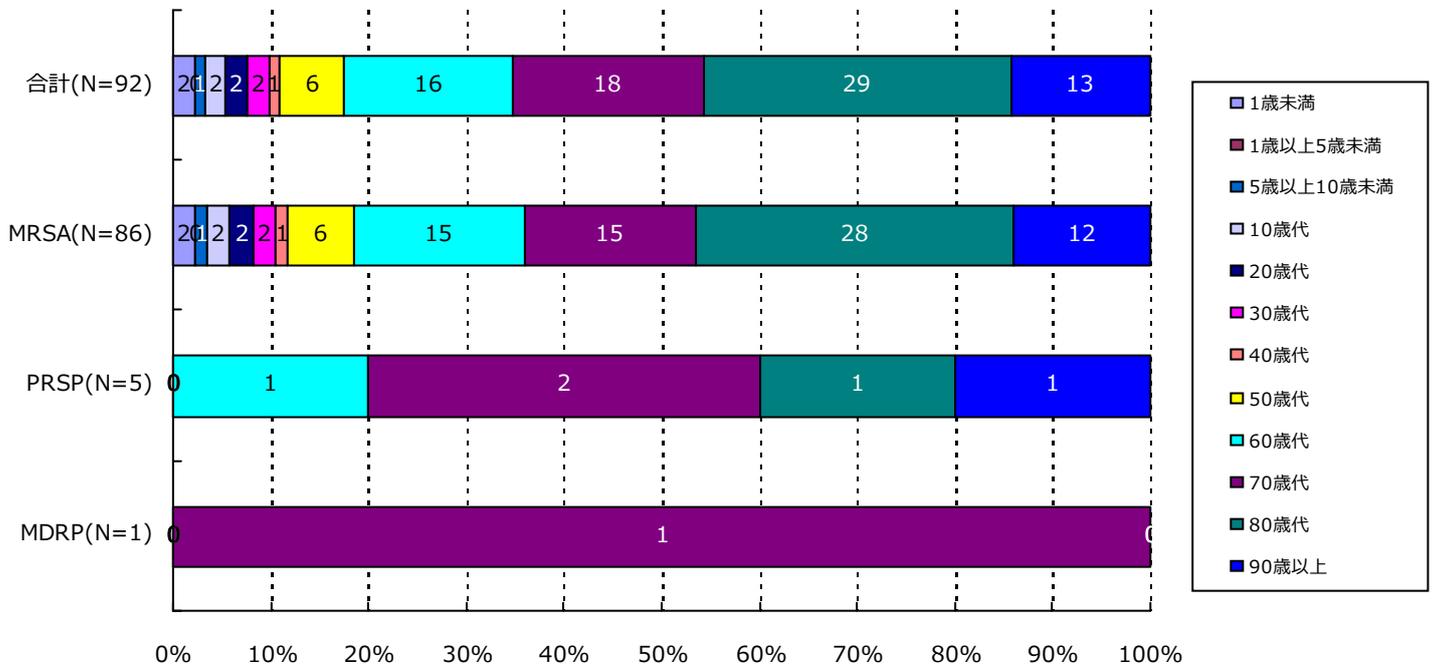
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	56 (60.9%)	52 (60.5%)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)
女	36 (39.1%)	34 (39.5%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	92	86	0	0	5	1	0	0

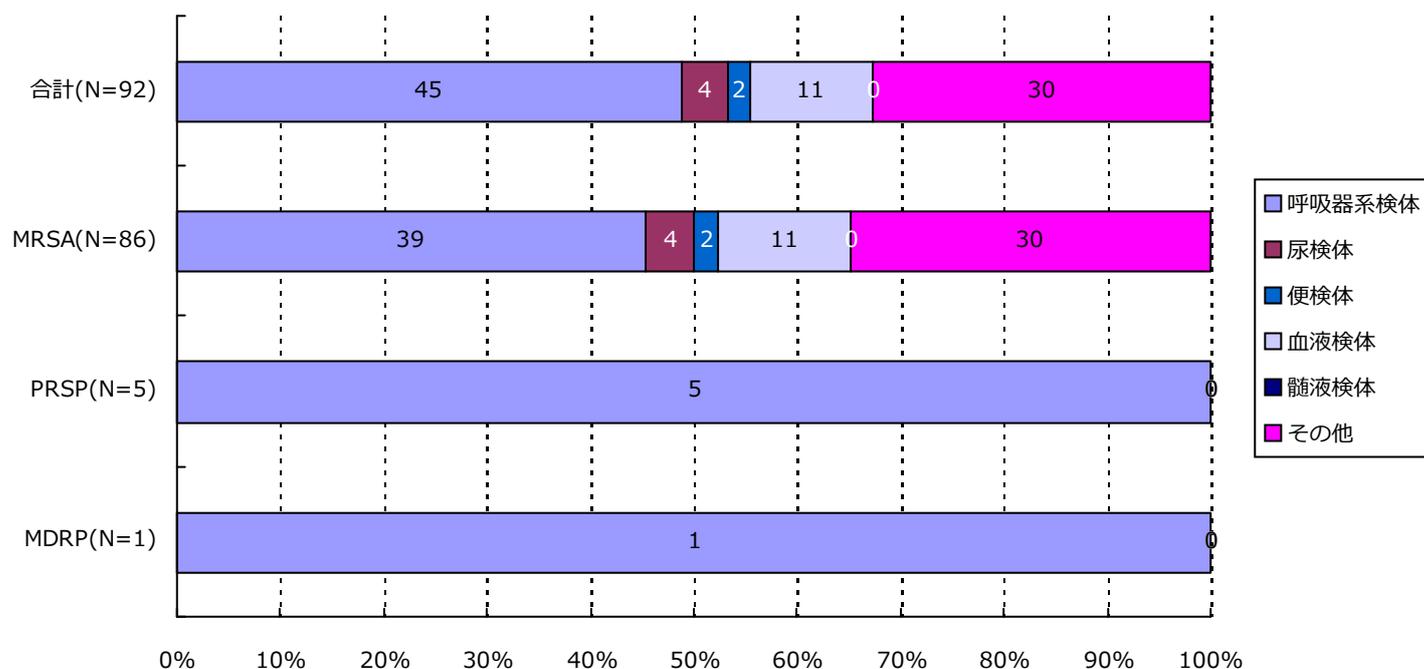


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	6(6.5%)	6(7.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	16(17.4%)	15(17.4%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	18(19.6%)	15(17.4%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	29(31.5%)	28(32.6%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	13(14.1%)	12(14.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	86	0	0	5	1	0	0

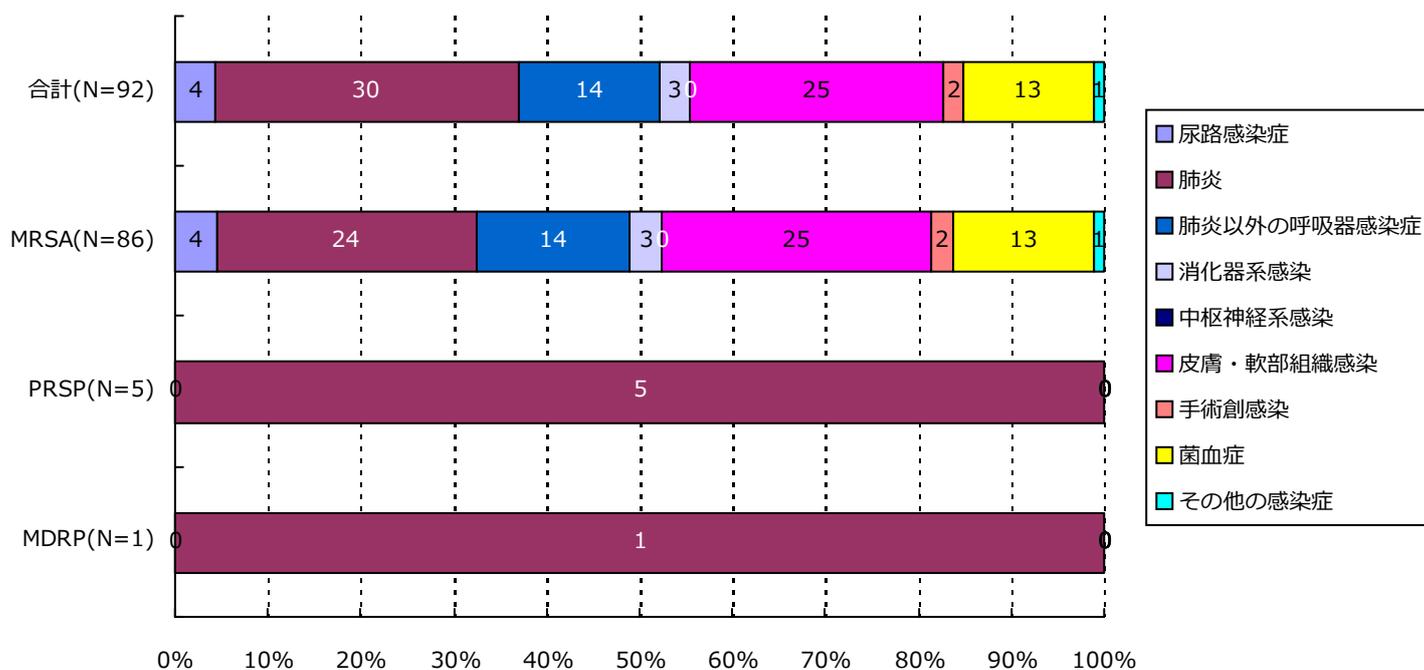
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	45(48.9%)	39(45.3%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	4(4.3%)	4(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	11(12.0%)	11(12.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	30(32.6%)	30(34.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	86	0	0	5	1	0	0

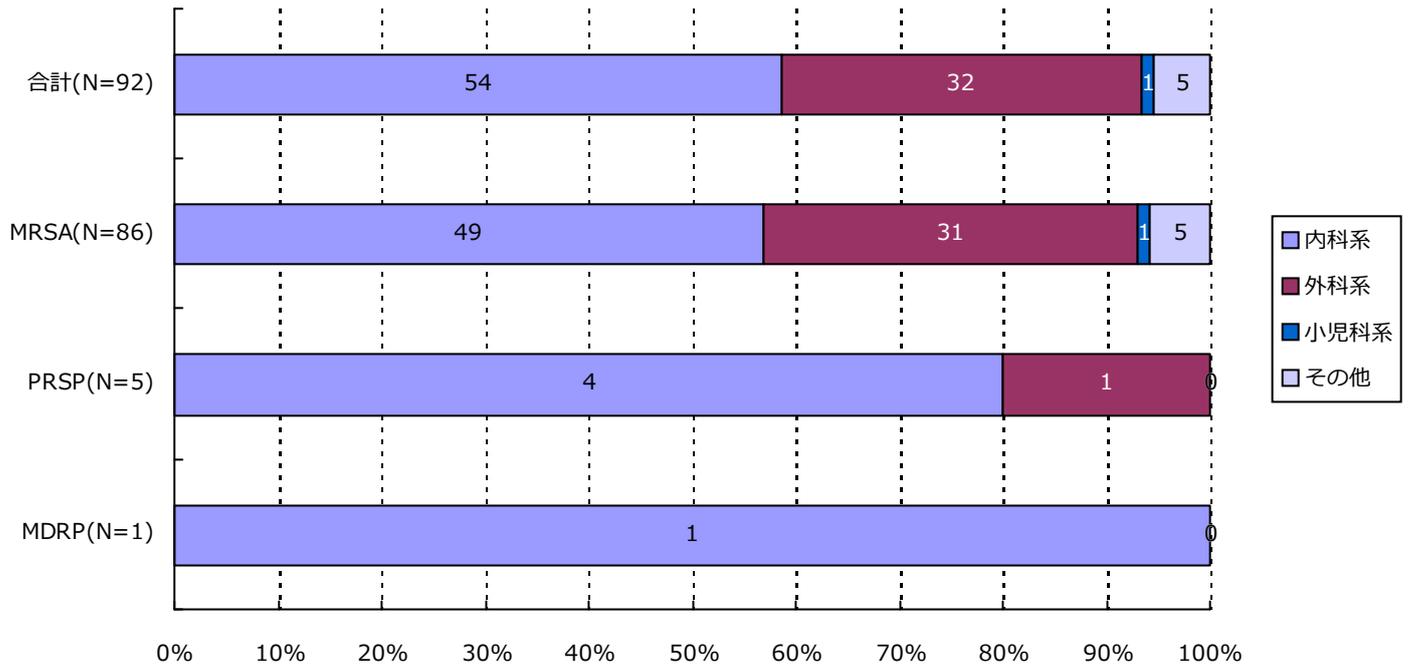
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	4(4.3%)	4(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	30(32.6%)	24(27.9%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	14(15.2%)	14(16.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	3(3.3%)	3(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	25(27.2%)	25(29.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	13(14.1%)	13(15.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	86	0	0	5	1	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	54(58.7%)	49(57.0%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
外科系	32(34.8%)	31(36.0%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	5(5.4%)	5(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	92	86	0	0	5	1	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

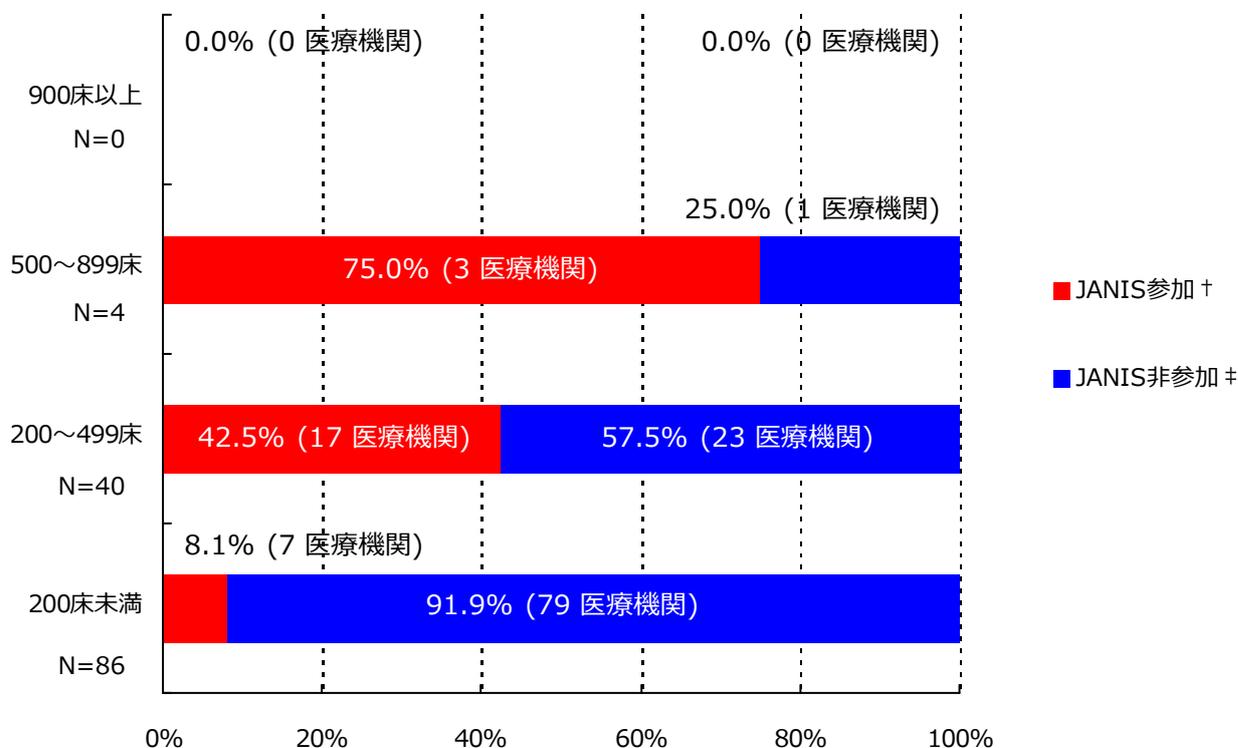
資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(27医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2016年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2015年 都道府県別医療機関数¶) - (2016年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2015年 都道府県別医療機関数¶	2016年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	40	17 (42.5%)
200床未満	86	7 (8.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	130	27 (20.8%)

¶平成27年医療施設（動態）調査を参照した。

(長野県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

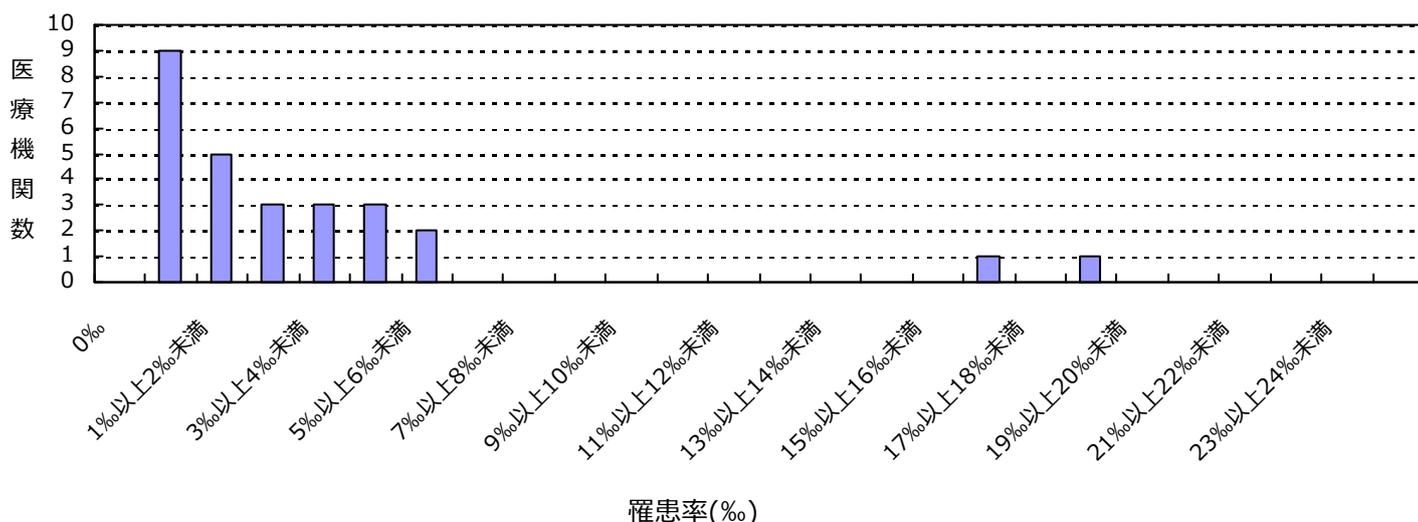


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	156,881	7	340	2.17%	0.23 1.84 18.30

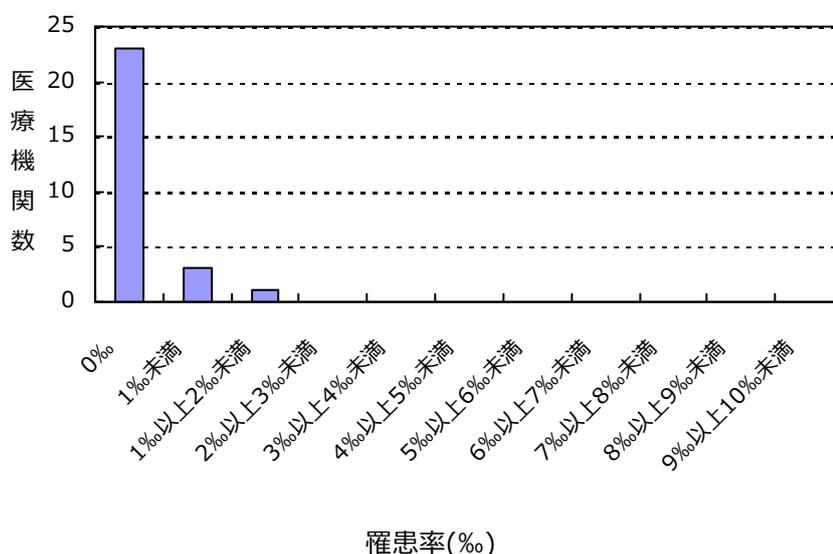
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	156,881	0	22	0.14%	0.00 0.00 1.16

集計対象医療機関の罹患率(N=27)



(長野県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

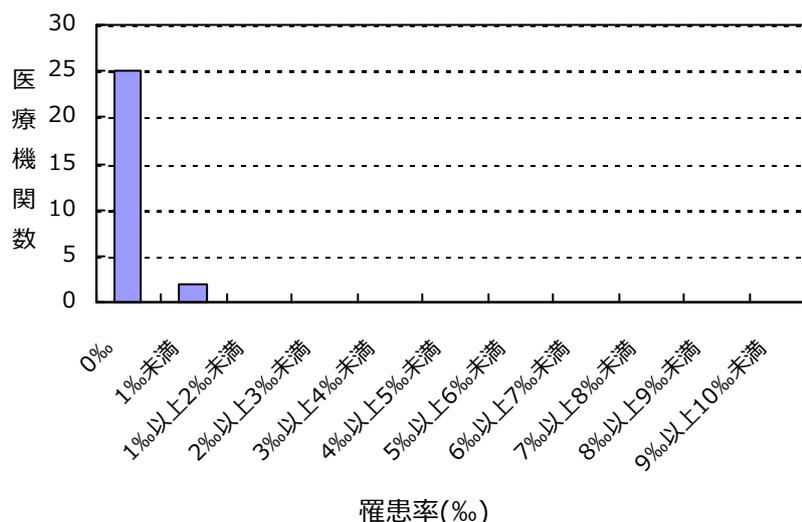


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	156,881	0	3	0.02%	0.00 0.00 0.65

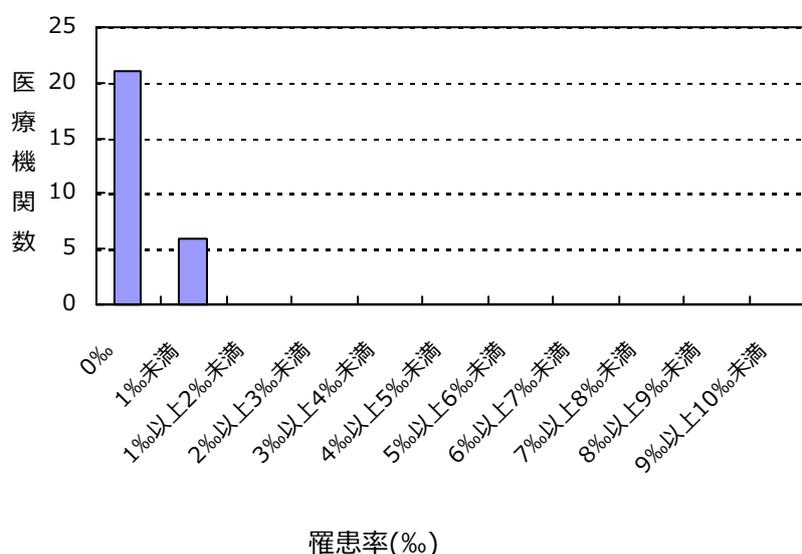
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	156,881	0	15	0.10%	0.00 0.00 0.81

集計対象医療機関の罹患率(N=27)



(長野県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

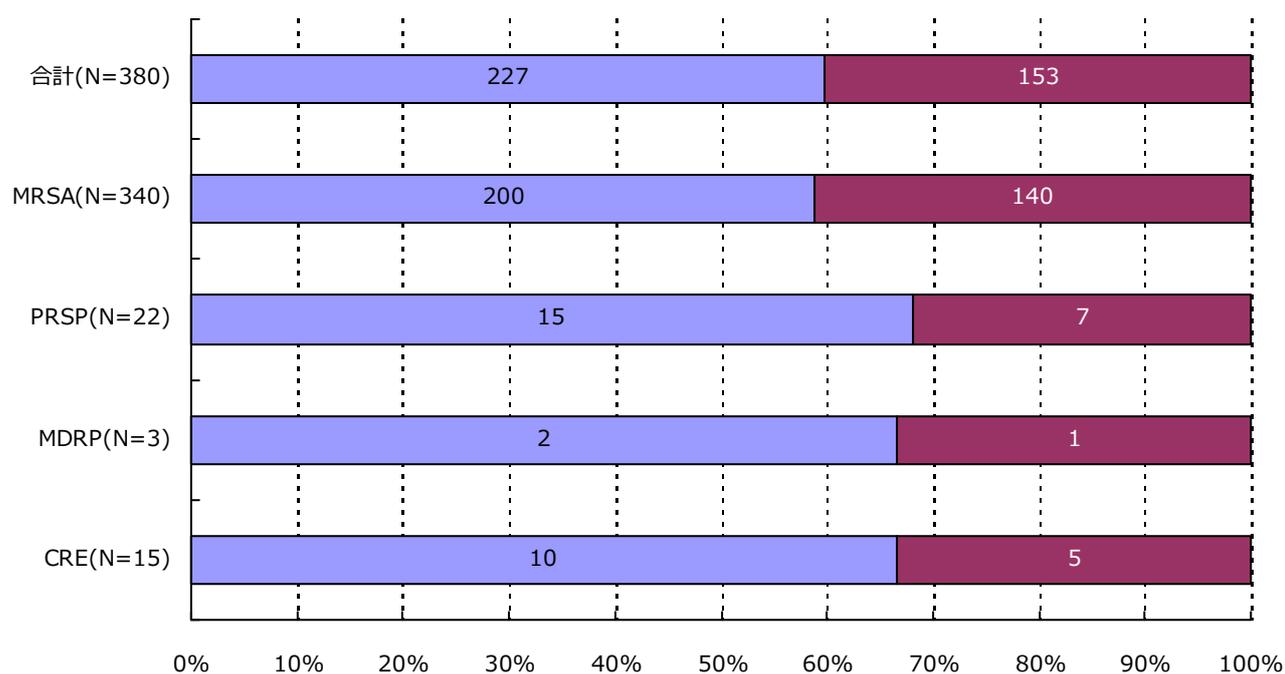
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	227 (59.7%)	200 (58.8%)	0 (-)	0 (-)	15 (68.2%)	2 (66.7%)	0 (-)	10 (66.7%)
女	153 (40.3%)	140 (41.2%)	0 (-)	0 (-)	7 (31.8%)	1 (33.3%)	0 (-)	5 (33.3%)
合計	380	340	0	0	22	3	0	15

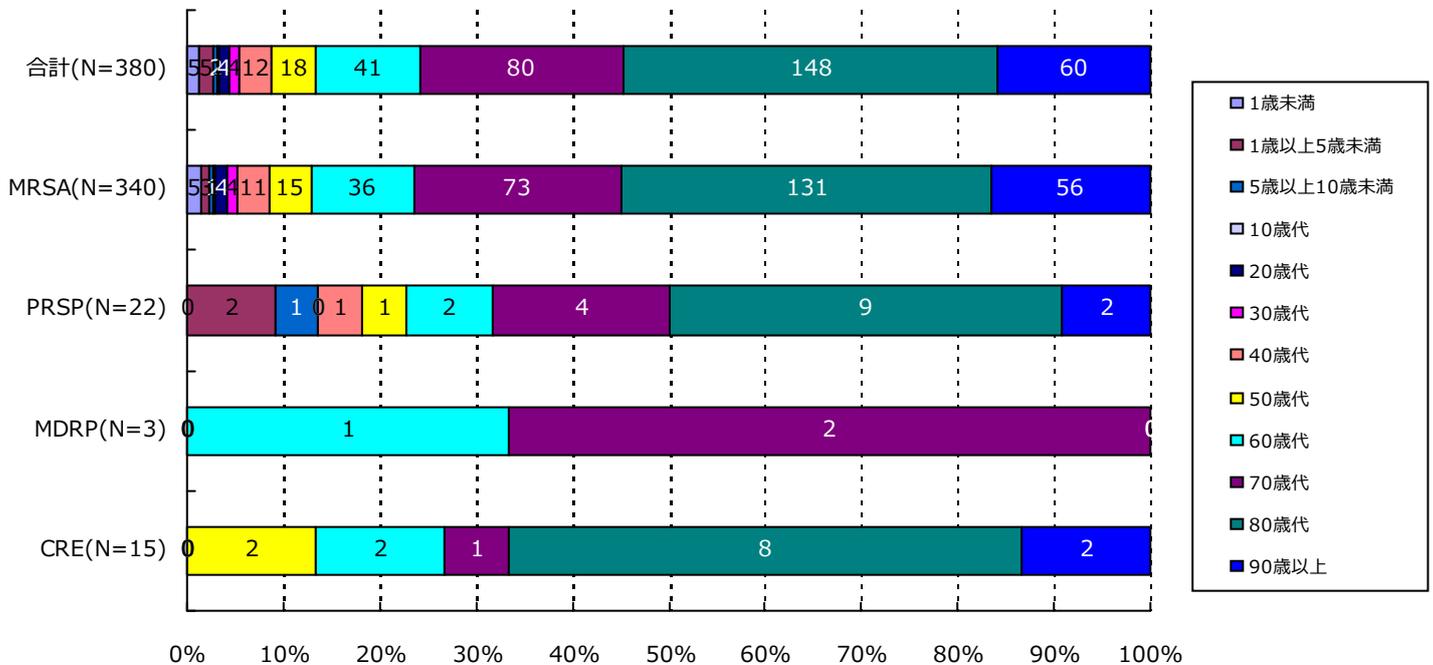
(長野県)

公開情報 2016年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

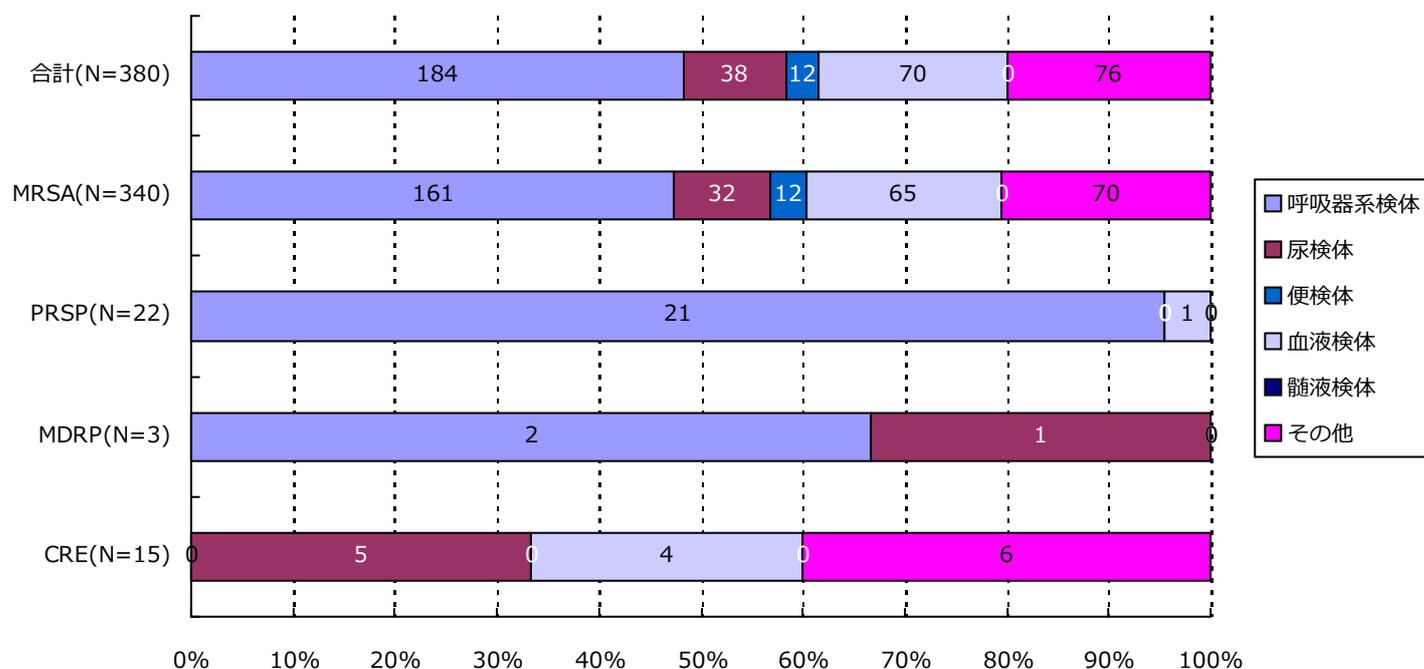


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(1.3%)	5(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(1.3%)	3(0.9%)	0(-)	0(-)	2(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.5%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	4(1.1%)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(1.1%)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	12(3.2%)	11(3.2%)	0(-)	0(-)	1(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	18(4.7%)	15(4.4%)	0(-)	0(-)	1(4.5%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)
60歳代	41(10.8%)	36(10.6%)	0(-)	0(-)	2(9.1%)	1(33.3%)	0(-)	2(13.3%)
70歳代	80(21.1%)	73(21.5%)	0(-)	0(-)	4(18.2%)	2(66.7%)	0(-)	1(6.7%)
80歳代	148(38.9%)	131(38.5%)	0(-)	0(-)	9(40.9%)	0(-)	0(-)	8(53.3%)
90歳以上	60(15.8%)	56(16.5%)	0(-)	0(-)	2(9.1%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)
合計	380	340	0	0	22	3	0	15

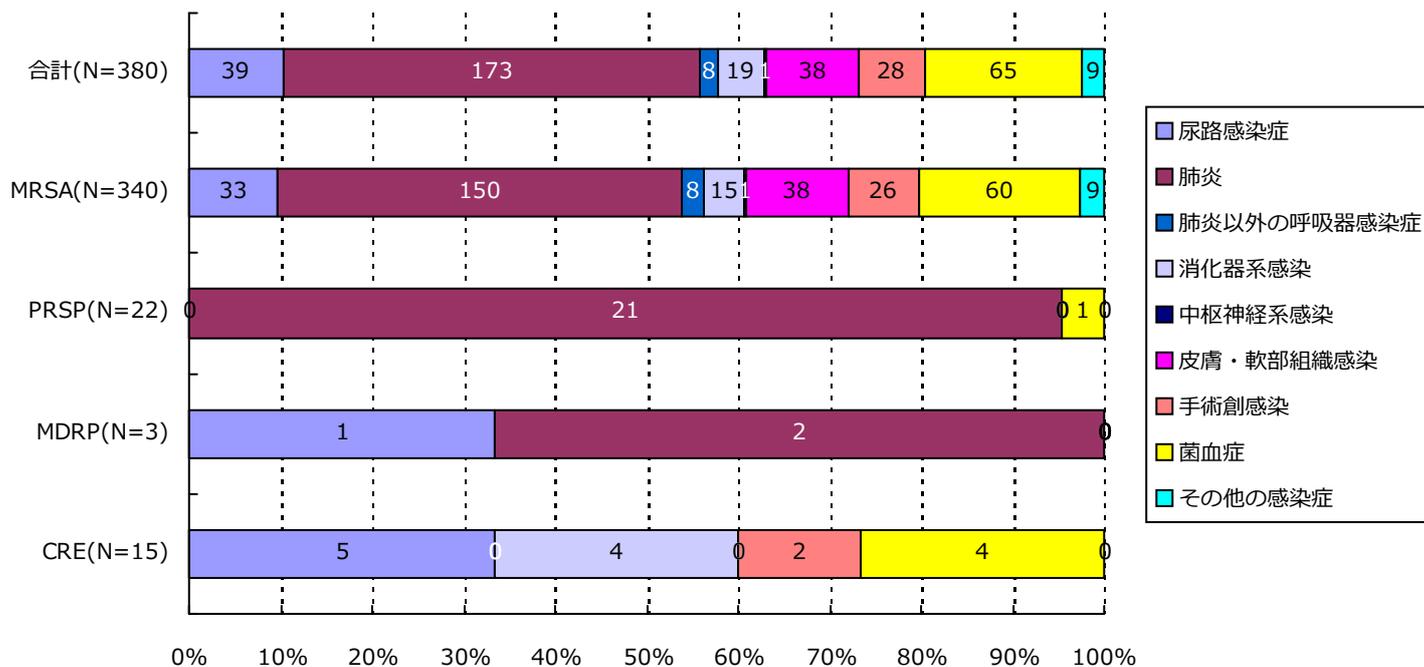
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	184(48.4%)	161(47.4%)	0(-)	0(-)	21(95.5%)	2(66.7%)	0(-)	0(-)
尿検体	38(10.0%)	32(9.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	5(33.3%)
便検体	12(3.2%)	12(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	70(18.4%)	65(19.1%)	0(-)	0(-)	1(4.5%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	76(20.0%)	70(20.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(40.0%)
合計	380	340	0	0	22	3	0	15

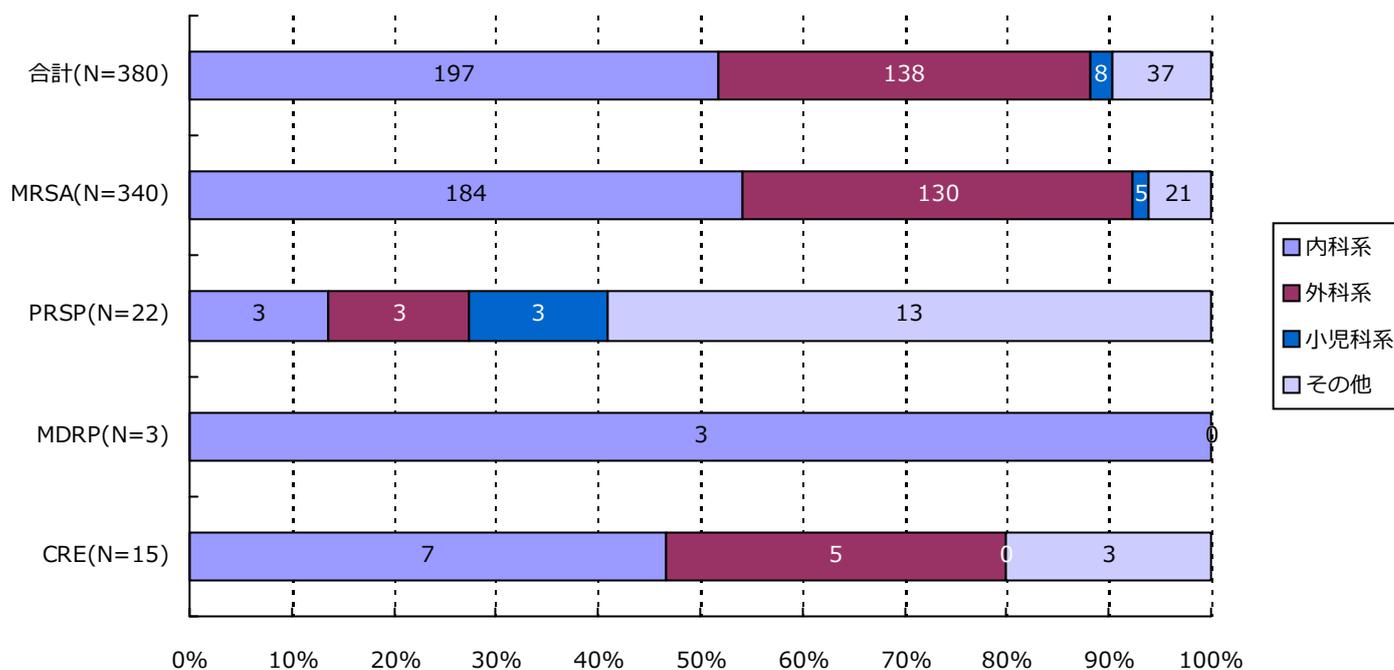
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	39(10.3%)	33(9.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	5(33.3%)
肺炎	173(45.5%)	150(44.1%)	0(-)	0(-)	21(95.5%)	2(66.7%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	8(2.1%)	8(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(5.0%)	15(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(26.7%)
中枢神経系	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	38(10.0%)	38(11.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	28(7.4%)	26(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(13.3%)
菌血症	65(17.1%)	60(17.6%)	0(-)	0(-)	1(4.5%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)
その他	9(2.4%)	9(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	380	340	0	0	22	3	0	15

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	197(51.8%)	184(54.1%)	0(-)	0(-)	3(13.6%)	3(100.0%)	0(-)	7(46.7%)
外科系	138(36.3%)	130(38.2%)	0(-)	0(-)	3(13.6%)	0(-)	0(-)	5(33.3%)
小児科系	8(2.1%)	5(1.5%)	0(-)	0(-)	3(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	37(9.7%)	21(6.2%)	0(-)	0(-)	13(59.1%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)
合計	380	340	0	0	22	3	0	15

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
			精神科	皮膚・泌尿器科
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用